本書の構成

詳しいもくじは次のページにあります。

1　ご使用の前に

2　ネットワークへの接続

3　設定ユーティリティのインストール

4　TCP/IP の設定

5　Windows95/98 印刷

6　WindowsNT 印刷

7　AppleTalk 印刷

8　NetWare 印刷

9　OS/2 印刷

10　設定ユーティリティの各機能

11　EpsonNet WebManager について

12　付録

もくじ

1　ご使用の前に

機能の概要 2

動作環境 3

対応 OS とプロトコル....................3

作業の進め方....................................4

2　ネットワークへの接続

各部の名称と機能..............................6

ネットワーク I/F 6

スイッチの機能 7

ネットワークへの接続........................8

ネットワークへの接続 8

ネットワークステータスシート について 9

3　設定ユーティリティのインストール

動作環境 14

動作環境.................................. 14

インストールの条件 15

EpsonNet WinAssist の インストール....................... 16

EpsonNet MacAssist の インストール....................... 18

4　TCP/IP の設定

TCP/IP の組み込み.......................... 20

Windows95/98 20

WindowsNT4.0 21

WindowsNT3.51 22

Macintosh (Open Transport 使用) 23

Macintosh（旧ネットワーク ソフト使用）........................ 24

IP アドレスの設定 / 変更................. 25

プリンタの操作パネルから.......... 25

EpsonNet WinAssist/MacAssist から 28

ARP/PING コマンドから............ 31

EpsonNet WebAssist から 33

第 5 章　Windows95/98 印刷

TCP/IP 印刷.................................... 38

EpsonNet Direct Print について.. 38

EpsonNet Direct Print の インストール....................... 38

プリンタの設定 40

EpsonNet Direct Print の削除..... 42

NetBEUI 印刷................................. 43

クライアントとプロトコルの 組み込み.............................. 43

NetBEUI の設定 44

プリンタの設定（クライアント）.. 48

6　WindowsNT 印刷

TCP/IP 印刷.................................... 50

LPR Port での接続..................... 50

NetBEUI 印刷................................. 55

NetBEUI プロトコルの組み込み ... 55

NetBEUI の設定 57

プリンタの設定（クライアント）.. 61

NET USE コマンド..................... 62

7　AppleTalk 印刷

AppleTalk の設定............................ 64

EpsonNetMacAssist から 64

EpsonNet WinAssist から........... 67

EpsonNet WebAssist から 69

8　NetWare 印刷

使用上の注意 74

モードについて 74

使用上の注意............................. 75

バインダリプリントサーバ印刷 (NetWare3.xJ/4.1xJ) 77

ネットワーク I/F の設定............. 77

NDS プリントサーバ印刷 (NetWare4.1xJ/5J) 82

ネットワーク I/F の設定............. 82

リモートプリンタ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J）............................87
プリンタ環境の設定（PCONSOLE から）.................88
プリンタ環境の設定（バインダリ）..........................90
プリンタ環境の設定（NWADMIN から）..................95
ネットワーク I/F の設定..............99
NDPS ゲートウェイ印刷（NetWare5J）.................... 102
設定の流れ 102
接続方法の決定と環境設定 103
NDPS マネージャの作成........... 104
NDPS プリンタエージェントの作成.................................. 105
ネットワーク I/F への設定（[リモート（IPX 上で rprinter）] 選択時)......... 112
プリンタ設定（クライアント）.. 115
EpsonNetWebAssist からの設定 116
ダイヤルアップネットワーク使用時の注意.................................. 120
各モードでの使用について 120
ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合............... 121
ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合............... 123

9 OS/2 印刷

TCP/IP 印刷 126
NetBEUI 印刷 128

10 設定ユーティリティの各機能

EpsonNet WinAssist..................... 130
リスト画面とメニュー............. 130
設定画面 134
EpsonNet MacAssist 140
リスト画面とオプション........... 140
設定画面 142
EpsonNet WebAssist.................... 144
オープニング画面 144
情報 - プリンタ......................... 146
情報 - ネットワーク 148
設定 - プリンタ......................... 148
設定 - ネットワーク 163
設定 - オプション 167

11 EpsonNet WebManager について

はじめに 170
EpsonNet WebManager について............................. 170
動作環境.................................. 171
EpsonNet WebManager で管理できるデバイス 172
EpsonNet WebManager の使用形態............................. 176
インストール................................ 177
EpsonNet WebManager の起動...... 178
起動方法.................................. 178
起動時の画面について 179
オンラインマニュアルの見方 180
EpsonNet WebManager の削除...... 181
Windows95/98/NT4.0 181
WindowsNT3.51 181

12 付録

EpsonNet WinAssist の削除........... 184
ネットワーク I/F の初期化.............. 185
困ったときは................................ 186
全 OS 共通 186
NetWare 環境 188
Macintosh 環境........................ 189
Windows95/98 環境 189
WindowsNT 環境 190
用語集.. 191
索引... 196

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は必ずお読みください。

それぞれのマークには、次のような意味があります。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）、知っておいていただきたいことを記載しています。

Windowsの表記について

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version 4.0 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version 3.51 日本語版

本文中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0 と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT3.51、WindowsNT4.0を総称する場合は、「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows95/98/NT」のように、Windowsの表記を省略することがあります。

第 1 章

ご使用の前に

ここでは、ネットワーク I/F の概要や、ネットワーク I/F を使用するための設定の概要を説明します。
ネットワークの設定を行う前に、本章をよくお読みください。

機能の概要......................................2 ページ

動作環境..3 ページ

作業の進め方 ....4 ページ

機能の概要

・ ネットワーク I/F は、10BASE-T/100BASE-TX 用 RJ-45 コネクタを装備しています。コネクタは自動選択されます。（手動での選択はできません。）

・ 各種ネットワーク OS・プロトコルに対応しています。設定ユーティリティとして以下の 3 つがあります。

EpsonNet WinAssist
Windows から TCP/IP、NetWare、NetBEUI、AppleTalk 情報を設定できます。

EpsonNet MacAssist
Macintosh から TCP/IP、AppleTalk 情報を設定できます。

EpsonNet WebAssist
ネットワーク I/F に IP アドレスを設定すると、Web ブラウザから NetWare、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI、SNMP 情報を設定できます。

・ EpsonNet WebAssist からは、プリンタの状態（用紙残量、消耗品残量など）の確認とプリンタに関する各種設定ができます。

・ 本機は SNMP、プリンタ MIB に対応しており、EpsonNet WebManager によりプリンタの管理ができます。また、EpsonNet WebAssist からは、SNMP のコミュニティ、トラップ、管理者情報を設定できます。

動作環境

対応 OS とプロトコル

OS	バージョン	対応プロトコル
Windows95/98	--	・TCP/IP（ユーティリティ EpsonNet Direct Print 使用） ・NetBEUI
WindowsNT	・4.0 ・3.51	・TCP/IP（LPR） ・NetBEUI
Macintosh	・漢字 Talk7.5.x ・MacOS 7.6.x/ 8.x	・AppleTalk
NetWare	・3.xJ	・バインダリモード
	・4.1xJ ・IntranetWare-J	・NDS モード ・バインダリエミュレーションモード
	・5J	・NDS モード ・キューベースプリントシステム ・NDPS
OS/2 Warp (OS/2 WarpConnect, OS/2 Warp Server)	・V3 ・V4	・TCP/IP（Warp 付属の lprportd） ・NetBEUI

ポイント

- NetWare5J の NDPS にある [自動ドライバインストール] には対応していません。
- WindowsNT は、WindowsNT（Intel 版）にのみ対応しています。
- EpsonNetWinAssist/MacAssist/WebAssist についての詳細は、第 3 章をご覧ください。

作業の進め方

次の手順で、ネットワークへの接続からプリンタ設定までを行います。詳しくは参照ページをご覧ください。

1　ネットワークへの接続をする

第２章　ネットワークへの接続　5 ページ

2　設定ユーティリティをインストールする

第３章　設定ユーティリティのインストール　13 ページ

TCP/IP を使って印刷する場合や、EpsonNet WebAssist を使う場合

3　ネットワーク I/F の設定に使う OS へ TCP/IP を組み込んで、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定する

第４章　TCP/IP の設定　19 ページ

4　次の中から印刷に使用する OS を選び、ネットワーク I/F の設定をする

OS	印刷方法
Windows95/98	EPSON TCP/IP 印刷 NetBEUI 印刷
WindowsNT	TCP/IP(LPR) 印刷 NetBEUI 印刷
Macintosh	AppleTalk 印刷
NetWare	バインダリプリントサーバ印刷 NDS プリントサーバ印刷 リモートプリンタ印刷 NDPS 印刷
OS/2	TCP/IP(lprportd) 印刷 NetBEUI 印刷

第５章　Windows95/98 印刷　37 ページ
第６章　WindowsNT 印刷　49 ページ
第７章　AppleTalk 印刷　63 ページ
第８章　NetWare 印刷　73 ページ
第９章　OS/2 印刷　125 ページ

第2章

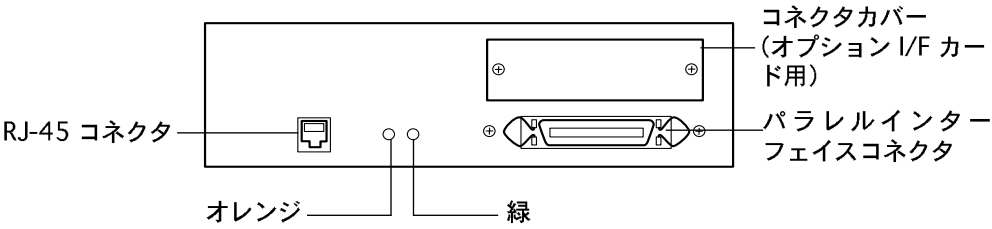
ネットワークへの接続

ここではネットワークI/Fの各部の名称と、ネットワークへの接続について説明します。
ネットワークへの接続は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してから行ってください。

各部の名称と機能................................6 ページ
ネットワークへの接続 ....8 ページ

各部の名称と機能

ネットワーク I/F

ネットワーク I/F の各部の名称と機能を説明します。
プリンタ背面には、ネットワーク I/F 使用時のプリンタの状態を表すステータス LED があります。

緑

データ通信の状態を示します。

緑	状態
点灯	正常待機時
点滅	プリンタがデータを受け取ったとき

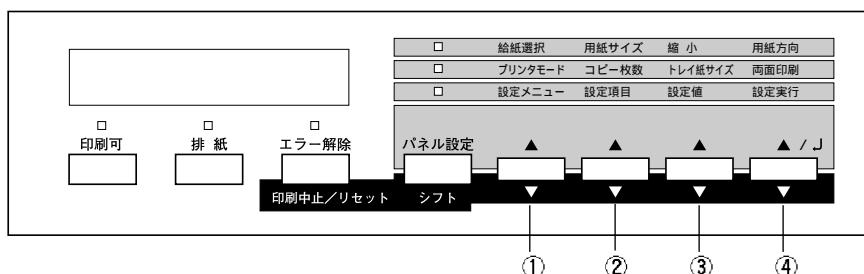
オレンジ

コネクタの接続状態を示します。

オレンジ	状態
点灯	100BASE-TX で接続されている場合
消灯	10BASE-T で接続されている場合

Ethernet ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。

スイッチの機能

操作パネルで各種の設定やステータスシート印刷を行う場合、各スイッチを押して設定メニューや設定項目を切り替えます。
この場合の各スイッチの機能は次のとおりです。

スイッチ	設定内容
①設定メニュー	液晶ディスプレイに表示される設定メニューの名前を切り替えます。
②設定項目	[設定メニュー] スイッチで選択した設定メニューに含まれる設定項目を切り替えます。
③設定値	[設定項目] スイッチで選択した設定項目の設定値を切り替えます。 ステータスシート印刷など、設定値の変更ではなく [設定項目] で選択した項目の処理を実行する場合、本スイッチは操作しません。
④設定実行	[設定値] スイッチで選択した設定値を有効にします。 ステータスシート印刷など、設定値の変更ではなく [設定項目] で選択した項目の処理を実行する場合、[設定値] スイッチは操作せず、本スイッチを押すと処理が実行されます。

- ［設定メニュー］スイッチ、［設定項目］スイッチ、［設定値］スイッチは、1 回押すごとに液晶パネルの表示が切り替わり、現在選択されている内容が確認できます。
- 各スイッチを押し続けると、液晶ディスプレイの表示が自動的に切り替わります。
- ［シフト］スイッチを押しながら各スイッチを押すと、各スイッチを押したときと逆の順番に液晶ディスプレイの表示が切り替わります。

ネットワークへの接続

プリンタをネットワークに接続します。プリンタの電源を切ってから行ってください。

ネットワークへの接続

ネットワークへの接続

プリンタの電源をオフにして、本ネットワーク I/F の RJ-45 コネクタとネットワークを、ネットワークケーブルで接続します。

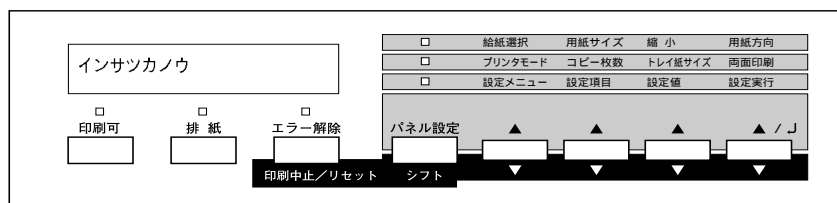
ポイント

- ネットワークケーブルは、市販の Ethernet インターフェイスケーブルが必要です。シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。
- 本ネットワーク I/F の IP アドレスは、初期値にプライベートアドレス [192.168.192.168] が設定されています。お使いのネットワーク環境に、これと重複する IP アドレスがないことを確認してください。重複する IP アドレスがある場合は、ネットワーク管理者に確認の上、重複している機器の電源をオフにして、ネットワーク I/F の IP アドレスを変更してください。設定の方法は「IP アドレスの設定 / 変更」（25 ページ）をご覧ください。
- 本製品は、クロスケーブルによるコンピュータとの直接接続には対応していません。必ず HUB を介して接続してください。
- プリンタの電源をオンにした状態で、ケーブルの抜き差しをしないでください。
- ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX のどちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の最速ネットワークをネットワーク負荷の軽い環境で使うことをお薦めします。

用紙セット

プリンタの電源をオンにして、プリンタの用紙トレイまたは用紙カセット 1 に用紙をセットします。

プリンタの起動

プリンタの電源をオンにして、操作パネルの液晶ディスプレイに [インサツカノウ] と表示されるまで待ちます。

ネットワークステータスシートの印刷

① 操作パネルで［設定実行］スイッチを押します。液晶ディスプレイに [ステータスシート] と表示されます。

② ［設定項目］スイッチを 1 回押します。液晶ディスプレイに [ネットワークジョウホウ] と表示されます。

③ ［設定実行］スイッチを 1 回押します。ネットワークステータスシートが印刷されます。なお、ネットワークステータスシートの印刷がはじまるまでに数秒の時間がかかります。

プリンタの操作パネルの詳細については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

ネットワークステータスシートについて

ネットワーク I/F の設定を始める前に、ネットワークステータスシートの印刷をしてください。
ネットワークステータスシートには、ネットワーク I/F の現在の設定や、MAC アドレスなどの重要な情報が載っています。次ページの印刷例をご覧ください。

ネットワークステータスシートの印刷例

EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Network Status Sheet 1 of 2

		関連ページ
<General Information>		
Card Type	Built-in	
MAC Address	00:00:48:xx:xx:xx	→第 4～第 10 章
Hardware	Ver.	
Software	Ver.	
<Diagnostics Report>		
Network Link Status	100BASE-TX, Half Duplex	
<NetWare>	Enable	→「第 8 章 NetWare 印刷」
Mode	Standby	
Primary Frame Type	Auto	
IPX Network Node	XXXXXXXX (Ethernet_802.2)	
	XXXXXXXX (Ethernet_802.3)	
	XXXXXXXX (Ethernet_II)	
	XXXXXXXX (Ethernet_SNAP)	
Print Server Name	LP-9600S-xxxxxx	
Polling Interval	5	
Primary File Server Name		
NDS Tree		
NDS Context		
Primary Print Server Name	LP-9600S-XXXXXX	
Print Port Number	0	
<TCP/IP>		→「第 4 章 TCP/IP の設定」
IP Address	192.168.192.168	
Subnet Mask	255.255.255.0	
Default Gateway	255.255.255.255	
Get IPAddress	Panel	
<AppleTalk>	Enable	→「第 7 章 AppleTalk 印刷」
Printer Name	LP-9600S-xxxxxx	
Zone Name	*	
Network Number Set	Auto	
Network Number	8-8	
Node ID	128	
Entity Type #1		
.		
.		
<NetBEUI>	Enable	→「第5章Windows95/98印刷」
NetBIOS Name	EPxxxxxx	「第 6 章 WindowsNT 印刷」
Workgroup Name	WORKGROUP	
Device Name	EPSON	

```
+ ------------------------------------------------------------------------ +
|     EPSON  Built-in 10Base-T/100Base-TX Network Status Sheet 2 of 2      |
+ ------------------------------------------------------------------------ +

<SNMP>
Read Community          public
IP Trap 1               Disable
IP Trap Address 1       0.0.0.0
IP Trap Community 1
IP Trap 2               Disable
IP Trap Address 2       0.0.0.0
IP Trap Community 2
IPX Trap 1              Disable
IPX Trap Address 1      00000000:000000000000
IPX Trap Community 1
IPX Trap 2              Disable
IPX Trap Address 2      00000000:000000000000
IPX Trap Community 2
+ ------------------------------------------------------------------------ +
```

関連ページ
→「第 10 章設定ユーティリティの各機能」

第３章

設定ユーティリティのインストール

プリンタをネットワークに接続したら、次にネットワークI/F設定ユーティリティ EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssistをインストールします。
ユーティリティの機能については、各章にあるEpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssistからの設定のページ、および「第10章　設定ユーティリティの各機能」（129ページ）をご覧ください。

動作環境 14ページ

EpsonNet WinAssistのインストール........ 16ページ

EpsonNet MacAssistのインストール 18ページ

動作環境

ネットワーク I/F の設定をするユーティリティ EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist の動作環境は次のとおりです。
EpsonNet WebAssist は、インストールの必要はありません。ネットワーク I/F に IP アドレスを設定することで使用できます。

動作環境

EpsonNet WinAssist		
対応機種	対応 OS	特長
・右の OS が動作する環境 ・IBM PC/AT 互換機、PC9801 シリーズ	・Windows95/98 ・WindowsNT4.0/3.51 Server&Workstation	ネットワーク I/F の TCP/IP、NetWare、NetBEUI、AppleTalk 情報を設定します。
EpsonNet MacAssist		
対応機種	対応 OS	特長
・右の OS が動作する環境 ・Apple 社 Macintosh シリーズ	・漢字 Talk 7.1/7.5.x ・MacOS 7.6.x/8.x	ネットワーク I/F の TCP/IP、AppleTalk 情報を設定します。
EpsonNet WebAssist		
対応機種	対応ブラウザ	特長
Windows95/98/NT4.0	・Internet Explorer Ver.4.01 以降 ・Netscape Navigator Ver.4.05 以降 ・NetscapeCommunicator 4.0 以降	ネットワーク I/F の NetWare、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI、SNMP 情報を設定します。

ポイント

- NetWare サーバがない環境や、NetWare サーバにログインしていない環境では、EpsonNet WinAssist による NetWare の設定はできません。
- EpsonNet WebAssist を使用するには、お使いのコンピュータにあらかじめ TCP/IP が組み込まれている必要があります。TCP/IP の確認は、「TCP/IP の組み込み」（20 ページ）を参照してください。
- EpsonNet WebAssist を使用する際は、Web ブラウザには、LAN を使用しての接続を設定してください。また、EpsonNetWebAssist の URL には、プロキシを使用しない設定をしてください。
- ネットワーク I/F を NetWare で使用しない場合は、EpsonNetWebAssist の NetWare 設定画面にある [NetWare] 欄で [Disable] を選択する必要があります。NetWare を使用しない場合に [Enable] を設定しておくと、ダイヤルアップルータを使用したときに余分な回線使用料のかかるおそれがあります。
初期値は [Enable] です。設定方法は、「EpsonNet WebAssist からの設定」（116 ページ）を参照してください。

インストールの条件

EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist をインストールするコンピュータの、ハードディスクの空き容量が 4MB 以上であることを確認してください。

ポイント

- 本ネットワーク I/F は、コンピュータとネットワーク I/F との間に HUB を介して、ストレートケーブルで接続した環境でお使いください。
- 本製品に同梱されている EPSON ESC/Page プリンタソフトウェア CD-ROM には、インターネットエクスプローラ Version5.0（Windows）/4.5（Macintosh）が収録されています。ご利用のコンピュータにインターネットエクスプローラ Version4.01 以降やネットスケープナビゲータ Version4.05 以降がインストールされていない場合は、以下のディレクトリからインターネットエクスプローラをインストールしてください。
  Windows95/98/NT4.0　[Msie]-[W9X_nt40]-[Ie]-[Ie5setup.exe]
  WindowsNT3.51　[Msie]-[Winnt351]-[Setup.exe]
- WindowsNT4.0 をご利用の場合、NT のバージョンが ServicePack3 以降にアップグレードされている必要があります。お使いの WindowsNT4.0 をアップグレードしていない場合は、[Msie]-[W9X_nt40]-[Nt4sp3] フォルダ内の Readme ファイルを参照してアップグレードしてください。

EpsonNet WinAssist のインストール

Windows95 の画面で説明します。

注 意

- EpsonNet WinAssist のインストール後に、OS でプロトコルやサービスを追加または削除すると、EpsonNet WinAssist が正常に動作しなくなることがあります。その場合は、EpsonNet WinAssist を削除してから、インストールし直してください。
- TCP/IP 印刷を行う場合や、EpsonNet WebAssist を使う場合は、「第 4 章 TCP/IP の設定」を参照して TCP/IP の組み込みと設定を行ってから、EpsonNet WinAssist をインストールしてください。
- EpsonNet WinAssist の削除方法は、「EpsonNet WinAssist の削除」(184 ページ)を参照してください。

1 インストール画面の起動

同梱のプリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。

2 インストール

① CD-ROMをセットすると、自動的に[EPSONインストールプログラム]が起動します。
[ネットワークユーティリティのインストール]を選択した後、[EpsonNet WinAssist のインストール]を選択して、画面右の[次へ]ボタンをクリックします。

② この後は、画面の指示に従ってインストールします。

ポイント

- WindowsNT3.51 をご利用の場合は、[プログラムマネージャ]を開き[アイコン]メニューの[ファイル名を指定して実行]をクリックして以下のコマンドを半角で入力し、[OK]ボタンをクリックします。
例)D:¥EPSETUP (D ドライブに CD-ROM をセットした場合)
- Windows95/98/NT4.0 をご利用の場合で[EPSON インストールプログラム]が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

ポイント

EpsonNet WinAssist 以外に Windows で使用できるユーティリティは、次のとおりです。

・ ネットワーク上のデバイスを Web ブラウザから管理する EpsonNet WebManager
（「第 11 章 EpsonNet WebManager について」（169 ページ）参照）
・ Windows95/98 で TCP/IP 印刷をするときに使用する EpsonNet Direct Print
（「第 5 章 Windows95/98 印刷」（37 ページ）参照）
・ ご利用のコンピュータからプリンタの状態をモニタできる EPSON プリンタウィンドウ !3（インストールは「セットアップガイド」を、使用方法は「ユーザーズガイド」を参照）

これでインストールは終了です。次のケースに該当する方は、続いて EpsonNet WinAssist を使って、ネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。「第 4 章 TCP/IP の設定」（19 ページ）をご覧ください。

・ EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
・ NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
・ Windows95/98 で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
・ WindowsNT で TCP/IP（LPR Port）印刷をする
・ EpsonNet WebManager を使って、プリンタを TCP/IP で管理する

EpsonNet MacAssist のインストール

インストール画面の起動

同梱のプリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をドライブにセットします。

インストール

① [EpsonNetMacAssist] フォルダをダブルクリックして開きます。

② EpsonNet MacAssist のアイコンをドラッグし、ハードディスクにコピーします。

これでインストールは終了です。次のケースに該当する方は、続いて EpsonNet MacAssist を使って、ネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。「第 4 章 TCP/IP の設定」（19 ページ）をご覧ください。

- EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
- EpsonNet WebManager を使って、プリンタを TCP/IP で管理する

第４章
TCP/IP の設定

ネットワークに接続したプリンタでTCP/IP印刷をする場合や、ネットワーク I/F の設定に EpsonNet WebAssist を使う場合は、この章をご覧になりネットワーク I/F に IP アドレスを設定してください。

TCP/IP の組み込み ....20 ページ
IP アドレスの設定 / 変更................25 ページ

次のケースに該当する方は、本章にある設定を行ってください。

- EpsonNet WebAssist（ネットワーク I/F に組み込まれているユーティリティ）を使用する
- NetWare5J で NDPS のリモート（IP 上で LPR）印刷をする
- Windows95/98 で EpsonNet Direct Print を使って TCP/IP 印刷をする
- WindowsNT で TCP/IP（LPR Port）印刷をする
- OS/2 Warp で TCP/IP（lprportd）印刷をする
- EpsonNet WebManager を使って、プリンタを TCP/IP で管理する

TCP/IP の組み込み

ネットワーク I/F に IP アドレスを設定するためには、まずお使いのコンピュータに TCP/IP を組み込みます。

Windows95/98

Windows95 の画面で説明します。

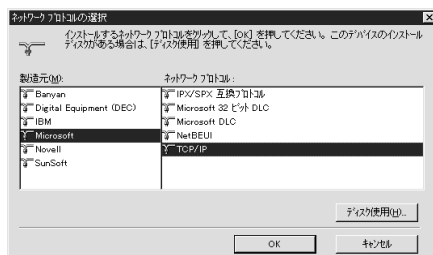
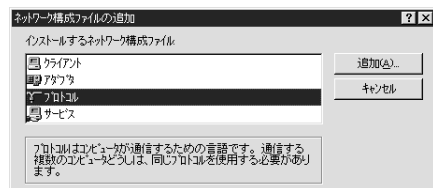
TCP/IP の確認

[マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[ネットワークの設定] 画面の [現在のネットワーク構成] に [TCP/IP] があることを確認します。

2 TCP/IP の追加

① [TCP/IP] が組み込まれていない場合は、手順 1 の画面で [追加] ボタンをクリックして [プロトコル] を選択し、[追加] ボタンをクリックします。

② [ネットワークプロトコルの選択] 画面が表示されます。製造元 : Microsoft、ネットワークプロトコル : TCP/IP をクリックして追加します。

③ 追加した TCP/IP をダブルクリックして [TCP/IP のプロパティ] を起動し、IP アドレスなどの必要事項を設定します。設定する IP アドレスについては「困ったときは」(186 ページ) を参照してください。

ポイント

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

WindowsNT4.0

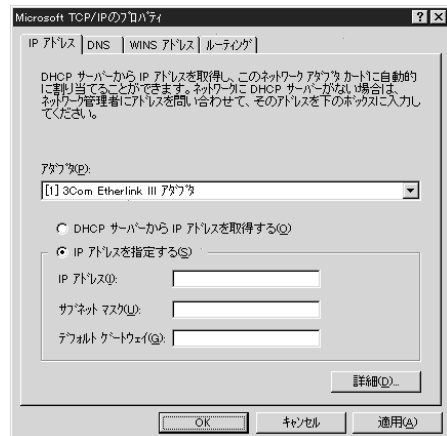
TCP/IP の確認

[マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[プロトコル] 画面で [TCP/IPプロトコル] が組み込まれていることを確認します。

TCP/IP の追加

① [TCP/IP プロトコル] が組み込まれていない場合は、手順 1 の画面で [追加] ボタンをクリックして、[TCP/IP プロトコル] を追加します。画面の指示に従ってください。
また、TCP/IP 印刷を行えるようにする場合は、手順 1 の画面で [サービス] タブをクリックし、表示される画面で [追加] ボタンをクリックして [Microsoft TCP/IP 印刷] を追加します。画面の指示に従ってください。

② インストールが終了してからネットワーク画面で [閉じる] ボタンをクリックすると、[Microsoft TCP/IP のプロパティ] 画面が開いて IP アドレスを設定できます。設定する IP アドレスについては「困ったときは」(186 ページ) を参照してください。

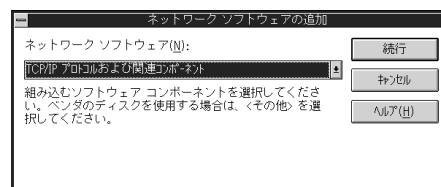
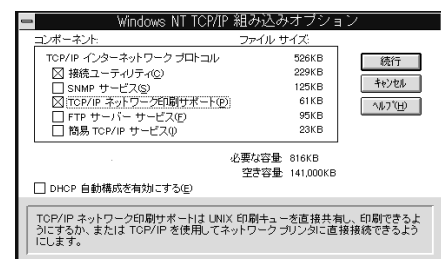
IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

③ インストールが完了したらIP アドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

WindowsNT3.51

TCP/IP の確認

[メイン] グループの[コントロールパネル] にある [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[TCP/IPプロトコル] が組み込まれていることを確認します。

TCP/IP の追加

① TCP/IP が組み込まれていない場合は、手順 1 の画面で [ソフトウェアの追加]ボタンをクリックして、[TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント] を選択します。

② [Windows NT TCP/IP 組み込みオプション] 画面が表示されるので、[接続ユーティリティ] と [TCP/IP ネットワーク印刷サポート] をチェックします。この後は画面の指示に従ってください。

③ インストールが終了して、[ネットワークの設定] 画面で [OK] ボタンをクリックすると、[TCP/IP の構成] 画面が開き IP アドレスなどの必要事項を設定できます。設定するIPアドレスについては「困ったときは」(186ページ)を参照してください。

ポイント

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

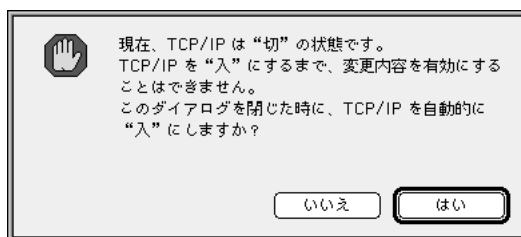
④ インストールが完了したら IP アドレスなどの必要な項目が正しく入力されていることを確認します。

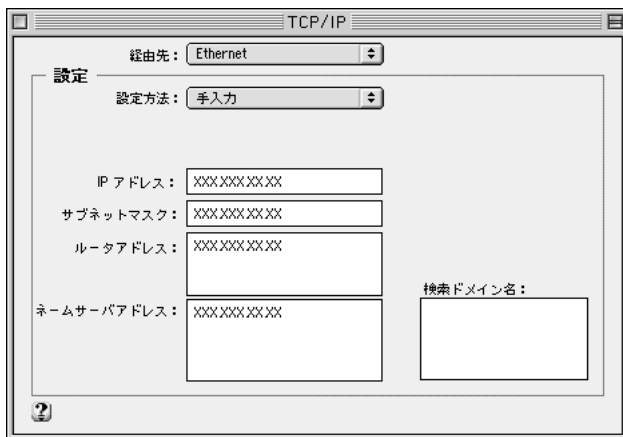
Macintosh（Open Transport 使用）

AppleTalk の経由先確認

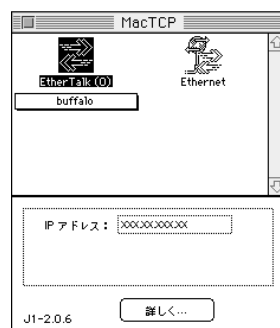
コントロールパネルで [AppleTalk] アイコンをダブルクリックし､経由先が [Ethernet] に設定されていることを確認します。

アドレスの設定

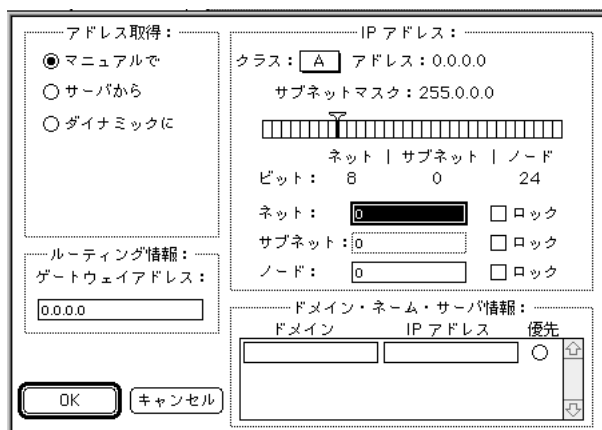
① コントロールパネルの [TCP/IP] をダブルクリックします。このとき次の画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。

② IP アドレスなどの必要事項を設定します。
設定する IP アドレスについては、「困ったときは」（186 ページ）を参照してください。

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

Macintosh（旧ネットワークソフト使用）

Ethernet の確認
コントロールパネルの [ネットワーク] を起動して、[EtherTalk] を選択します。

IP アドレスの確認
コントロールパネルで [MacTCP] アイコンをダブルクリックし、IP アドレスが設定されていることを確認します。

アドレスの設定
IPアドレスが設定されていない場合は [詳しく ...] ボタンをクリックして次の画面で必要事項を設定してから、手順 2 の画面で IP アドレスを設定してください。設定する IP アドレスについては、「困ったときは」（186 ページ）を参照してください。

ポイント

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

IP アドレスの設定 / 変更

コンピュータに TCP/IP を組み込んだら、次にネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。設定方法には次の 3 つがあります。

- プリンタの操作パネルから
- EpsonNet WinAssist/MacAssist から
- ARP/PING コマンドから

EpsonNet WebAssist は、上記の方法で設定したネットワーク I/F の IP アドレスを変更するときに使用できます。

- 本ネットワーク I/F の IP アドレスは、初期値に [192.168.192.168] というプライベートアドレスが設定されています。
  使用環境によっては、IP アドレスがこの値と重複する場合があります。その場合は、重複している機器の電源をオフにした状態で、ネットワーク I/F の IP アドレスを変更してください。
  ネットワーク I/F の IP アドレスを変更するときは、必ずネットワーク管理者に確認してください。
- OS/2 では EpsonNet WinAssist が使えません。OS/2 で IP アドレスを設定する場合は、プリンタの操作パネルまたは ARP/PING コマンド（31 ページ）を使用してください。

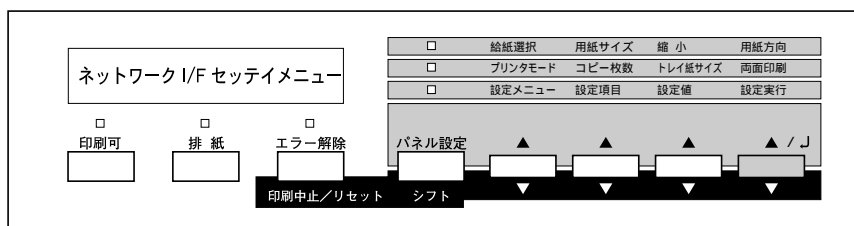
プリンタの操作パネルから

プリンタの操作パネルから設定する場合の手順を説明します。スイッチの機能については「スイッチの機能」（7 ページ）をご覧ください。

プリンタの起動

プリンタの電源をオンにして、操作パネルの液晶ディスプレイに [インサツカノウ] と表示されるまで待ちます。

設定メニューの表示

液晶ディスプレイに [ネットワーク I/F セッテイメニュー] と表示されるまで、[設定メニュー] スイッチを押します。

IP アドレスの取得方法の選択

① [設定項目] スイッチを 1 回押すと、[ネットワークセッテイ = シナイ] と表示されます。[設定値] スイッチを押して、[ネットワークセッテイ = スル] を選択し、[設定実行] スイッチを押して確定します。

ポイント

これは、操作パネルからの設定をするかしないかを選択するものです。ここで [シナイ] を選択した場合、次の手順にある [IP アドレスセッテイ] が表示されませんので、ここでは [スル] を選択し、次の手順へ進みます。
EpsonNetWinAssist/MacAssist から IP アドレスを設定する場合は、ここでの設定変更は必要ありません。

② [設定項目] スイッチを 1 回押して、液晶ディスプレイに [IP アドレスセッテイ = パネル] と表示されることを確認します。
[パネル] と表示されている場合、手順 4 へ進みます。
[パネル] 以外の内容が表示される場合、操作パネルからの IP アドレス設定は無効になります。次の③に従って、設定を変更します。

③ [設定値] スイッチを押して、液晶ディスプレイに [パネル] と表示されたら、[設定実行] スイッチを押します。

このとき、液晶ディスプレイの表示は [パネル][ジドウ][PING] の順番で切り替わります。それぞれ次の意味を持っています。

メニュー	意味
パネル	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用する。
ジドウ	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する。取得した値は、プリンタのリセットオールまたは電源オフの後、起動のたびにネットワークから取得する。
PING	ネットワークから、ARP コマンド、PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用する。設定した値は、プリンタのリセットオールまたは電源のオフ / オンを行うと有効になる。

ポイント

- [ジドウ] を使用するには、DHCP サーバが必要です。サーバのない環境では使用しないでください。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。
- [PING] は、PING コマンドから IP アドレスを設定する場合のみ、選択してください。

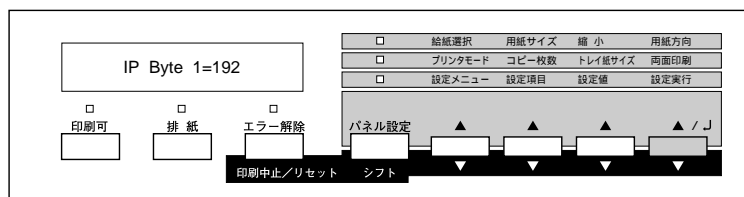
各アドレスの設定

[設定項目] スイッチを 1 回押すと、液晶ディスプレイに [IP Byte 1] と表示されます。これは、現在の設定項目が IP アドレスの 1 バイト目であることを示します。[設定項目] スイッチを押して設定項目を切り替え、各アドレスを設定してください。

表示される項目	各項目の意味
IP Byte 1/2/3/4	IP アドレスの 1/2/3/4 バイト目を設定します。
SM Byte 1/2/3/4	サブネットマスクの 1/2/3/4 バイト目を設定します。
GW Byte 1/2/3/4	ゲートウェイアドレスの 1/2/3/4 バイト目を設定します。

[設定値] スイッチを押して、アドレスを設定します。
[シフト] スイッチを押しながら [設定値] スイッチを押すと、設定値の表示が逆戻りになります。また、どちらの場合も、スイッチを押し続けることで、値を早く切りかえることができます。設定を行ったら、[設定実行] スイッチを押して設定を確定します。

例）IP アドレス 192.168.100.201 を設定する場合

① パネルに [IP Byte 1=0] と表示されたら、[192] が表示されるまで [設定値] スイッチを押します。

② [設定実行] スイッチを押して [192] を確定します。

③ [設定項目] スイッチを押して [IP Byte 2] をパネルに表示させ、[設定値] スイッチを押して [168] を設定します。

④ [設定実行] スイッチを押して [168] を確定します。

⑤ 残りの [100][201] も同様に確定します。

ポイント

プリンタの操作パネルの詳細については「ユーザーズガイド」をご覧ください。

設定の保存

設定した値は、プリンタの電源のオフ / オンを行うと有効になります。

ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートに、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

これで、ネットワーク I/F への IP アドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- Windows95/98 印刷　「第 5 章　Windows95/98 印刷」（37 ページ）
- WindowsNT 印刷　「第 6 章　WindowsNT 印刷」（49 ページ）
- AppleTalk 印刷　「第 7 章　AppleTalk 印刷」（63 ページ）
- NetWare 印刷　「第 8 章　NetWare 印刷」（73 ページ）
- OS/2 印刷　「第 9 章　OS/2 印刷」（125 ページ）

EpsonNet WinAssist/MacAssist から

EpsonNet WinAssist/MacAssist から IP アドレスを設定する場合の手順を説明します。

ここでは、EpsonNet WinAssist の画面を例に説明します。

プロトコルの確認

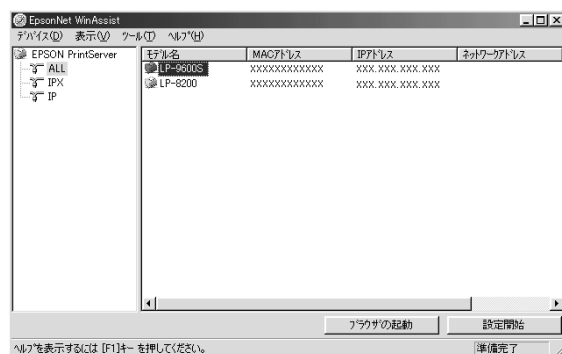
Windows95/98/NT をお使いの場合は、TCP/IP が組み込まれていることを確認します。

Macintosh をお使いの場合は、AppleTalkが組み込まれていることを確認します。

プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

EpsonNet WinAssist/MacAssist の起動

① Windows95/98/NT4.0 は、[スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。
WindowsNT3.51 は、[EpsonNet WinAssist（共通）] グループの [EpsonNet WinAssist] アイコンをダブルクリックして起動します。
Macintosh は、[EpsonNet MacAssist] のアイコンをダブルクリックして起動します。

② リスト画面で、設定するプリンタを選択して [**設定開始**] ボタンをクリックします。

- 設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます（「ネットワークステータスシートについて」9 ページ参照）。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション]（132 ページ、133 ページ）で設定すると、表示されます。

4 TCP/IP の設定

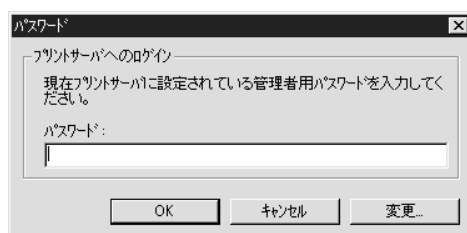
[TCP/IP] タブをクリックして、各項目を設定します。

設定項目	設定内容
IP アドレスの 取得方法	IP アドレスの取得方法を、自動 / 手動から選択します。[自動] を選択すると、DHCP が有効になります。 [手動] を選択したら、下の [IP アドレス] でアドレスを設定します。 ・DHCP を使用するには DHCP サーバが必要です。サーバのない環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。 ・IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。 ・DHCP で IP アドレスを取得する場合は、プリンタの電源を入れるたびに、プリンタドライバ上でプリンタポートの設定を変更する必要があります。 ・TCP/IP 印刷をする場合は、[IP アドレスの取得方法] で [手動] を選択して IP アドレスを設定することをお薦めします。 ・EpsonNet WebAssist を使用する場合は、ネットワーク I/F の IP アドレスが URL になります（「EpsonNet WebAssist から」33 ページ参照）。
PING による設定	ここでの設定はできません。 ネットワーク I/F の IP アドレスを ping コマンドから設定する場合は、操作パネルの [IP アドレスセッテイ] で [PING] を選択してから、ping での設定を行ってください。
IP アドレス	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。 ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。 設定するアドレスは、「困ったときは」（186 ページ）を参照してください。 初期値は [192.168.192.168] です。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は [255.255.255.0] です。
デフォルト ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は [255.255.255.255] です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

設定の保存

① ［OK］ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（134 ページ、142 ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートに、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

これで、ネットワーク I/F への IP アドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- Windows95/98 印刷　「第 5 章　Windows95/98 印刷」（37 ページ）
- WindowsNT 印刷　「第 6 章　WindowsNT 印刷」（49 ページ）
- AppleTalk 印刷　「第 7 章　AppleTalk 印刷」（63 ページ）
- NetWare 印刷　「第 8 章　NetWare 印刷」（73 ページ）
- OS/2 印刷　「第 9 章　OS/2 印刷」（125 ページ）

ARP/PING コマンドから

ネットワーク I/F の IP アドレスを、ARP/PING コマンドから設定する方法を説明します。OS/2 をお使いの場合は EpsonNet WinAssist が使用できませんので、ARP/PING コマンドでネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。
このコマンドは、Windows95/98/NT に TCP/IP が正常に組み込まれ、設定されている場合に使用できます。
この方法は、ネットワーク I/F と同じセグメント内のホストでのみ使用できます。

ポイント

次の操作の前に、操作パネルの [IP アドレスセッテイ] で [PING] が選択されていることを確認してください（「プリンタの操作パネルから」25 ページ参照）。[PING] が選択されていない場合は、ARP/PING コマンドからの IP アドレス設定ができません。

ここでは、ネットワーク I/F の IP アドレスを 192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合の設定例を説明します。

1 デフォルトゲートウェイアドレスの設定

「TCP/IP の組み込み」（20 ページ）の説明を参照して、ARP/PING コマンドからの設定に使うコンピュータに、ゲートウェイアドレスを設定します。

・ ゲートウェイになるサーバやルータがある場合、そのサーバやルータのアドレスを入力します。

・ ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータの IP アドレスをゲートウェイアドレスに入力します。

2 プリンタと MS-DOS プロンプトの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにし、コンピュータで [MS-DOS プロンプト] を起動します。

3 最寄りのコンピュータへの ping コマンド実行

最寄りの動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあればそれらに対して ping コマンドを実行します。設定に使用しているコンピュータ以外の機器に対して、ping コマンドを実行してください。

書式）　ping_ 最寄りのコンピュータなどの IP アドレス（_ は半角スペース）

例 ）　IP アドレス 192.168.100.101 のコンピュータがある場合
C:¥>ping_192.168.100.101

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます (time などの値は変動します)。

arp コマンド実行

arp コマンドを実行して、ネットワーク I/F に設定したい IP アドレスを、ネットワーク I/F の MAC アドレスと関連付けます。

ポイント

- IP アドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。
- MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。

書式） arp_-s_ ネットワーク I/F に設定したい IP アドレス _ ネットワーク I/F の MAC アドレス（_ は半角スペース）

例） C:¥>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

ネットワーク I/F への ping コマンド実行

ping コマンドを実行して、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定します。

書式） ping_ 手順 4 でネットワーク I/F に設定した IP アドレス
（_ は半角スペース）

例） C:¥>ping_192.168.100.201

pingコマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201:bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。
ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。

ポイント

- ここで「time out」などのメッセージが表示された場合、IP アドレスは正しく登録されていません。手順 3 に戻って、再度設定をしてください。
- ping コマンドでは、サブネットマスクとデフォルトゲートウェイは変更できません。これらを変更する場合は、プリンタの操作パネル、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist のいずれかを使用してください。

ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートに、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

これで、ネットワーク I/F への IP アドレスの設定は終了です。この後は、次の章を参照して、お使いの環境にあった設定をしてください。

- Windows95/98 印刷　「第 5 章　Windows95/98 印刷」（37 ページ）
- WindowsNT 印刷　「第 6 章　WindowsNT 印刷」（49 ページ）
- AppleTalk 印刷　「第 7 章　AppleTalk 印刷」（63 ページ）
- NetWare 印刷　「第 8 章　NetWare 印刷」（73 ページ）
- OS/2 印刷　「第 9 章　OS/2 印刷」（125 ページ）

EpsonNet WebAssist から

このページは、EpsonNet WebAssist を使ってネットワーク I/F の TCP/IP 情報を変更する場合にのみご覧ください。
ネットワーク I/F の IP アドレスを変更する場合は、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist や ARP/PING コマンドのほかに、EpsonNet WebAssist を使うことができます。

ポイント

- お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください（「動作環境」14 ページ参照）。
- コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。
- EpsonNetWinAssist/MacAssist と EpsonNetWebAssist から、同時に同じネットワーク I/F に対して設定をしないでください。
- お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。
- お使いの Web ブラウザの設定を、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスに対してプロキシを使用しない設定にしてください。

プリンタの起動
ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

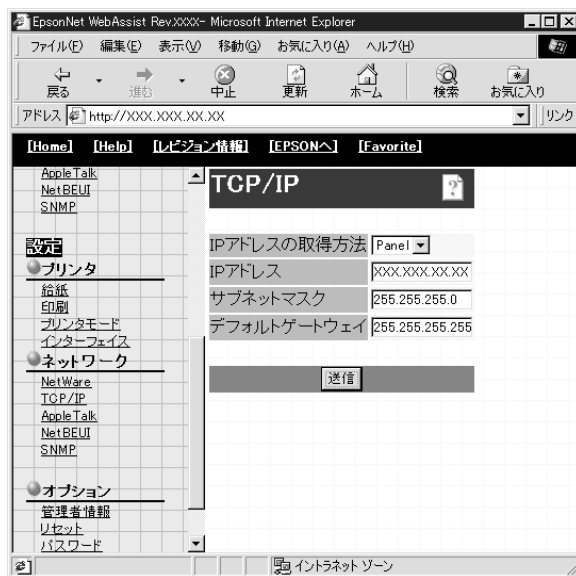
EpsonNet WebAssist の起動
EpsonNet WinAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

- EpsonNet WinAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。
- ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist は起動しないでください。
  書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /
  例）　http://192.168.100.201/

TCP/IP の設定

メニューの [設定]-[ネットワーク] にある [TCP/IP] をクリックして、各項目を設定します。

ポイント

IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者が値を確認してください。

設定項目	設定内容
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を、Panel/Auto から選択します。Auto を選択すると、DHCP が有効になります。ここでアドレスを設定する場合は、Panel を選択してください。DHCP を使用するには DHCP サーバが必要です。サーバのない環境では使用できません。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。
IP アドレス	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。設定するアドレスは、「困ったときは」（186 ページ）を参照してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。初期値は [255.255.255.0] です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。初期値は [255.255.255.255] です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

設定の保存

① ［送信］ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は、「パスワード」（168 ページ）をご覧ください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていませんので、以下の画面は表示されません。

② 「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、EpsonNetWebAssist を終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③ その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

ポイント

IP アドレスを変更した場合は、ここでリセットすると今回設定した IP アドレスが有効になります。引き続き EpsonNet WebAssist を使う場合は、EpsonNet WebAssist の再起動が必要です。設定した IP アドレスを URL に入力し、EpsonNet WebAssist を再起動してください。

以上で設定は終了です。

第 5 章

Windows95/98 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、Windows95/98 で使用する際の設定方法を説明します。

TCP/IP 印刷 ....38 ページ

NetBEUI 印刷................................43 ページ

対応するシステムは次のとおりです。

- EpsonNet Direct Print を使っての TCP/IP（LPR）印刷
- Microsoft Windows Network(NetBEUI)
  プリンタ共有による印刷に対応します。

TCP/IP 印刷

Windows95/98 は TCP/IP での LPR 印刷システムを持たないため、標準での TCP/IP 印刷はできませんが、本製品付属のユーティリティ、EpsonNet Direct Print を使ってエプソン製プリンタへの TCP/IP（LPR）直接印刷ができます。

EpsonNet Direct Print について

EpsonNet Direct Print は、Windows95/98 から TCP/IP（LPR）印刷を行うためのソフトウェアです。ソフトウェアをインストールして LPR プリンタを設定することにより、LPR 直接印刷が可能になります。

動作環境

- IBM PC/AT 互換機、NEC 製 PC-9801 シリーズおよびその互換機
- Windows95、Windows98

EpsonNet Direct Print のインストール

まず、EpsonNet Direct Print をインストールします。ネットワークに接続され、TCP/IP が正しく設定されているコンピュータにインストールしてください。TCP/IP の設定については「第４章　TCP/IP の設定」（19 ページ）をご覧ください。

インストール画面の起動
同梱のプリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をドライブにセットします。自動的に [EPSON インストールプログラム] が起動します。

[EPSON インストールプログラム] が自動的に起動しない場合は、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

インストール

① [ネットワークユーティリティのインストール] を選択した後、[EpsonNet Direct Print のインストール] を選択して、画面右の [次へ] ボタンをクリックします。

② この後は、画面の指示に従ってインストールします。

Windows の再起動

インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。
コンピュータを再起動すると、LPR 直接印刷機能が使えるようになります。続いて次ページを参照し、プリンタを設定してください。

プリンタの設定

LPR 印刷を行うプリンタを設定します。設定には、[ネットワークコンピュータ] からと、[プリンタの追加] からの 2 通りの方法があります。

- 「IP アドレスの設定 / 変更」（25 ページ）を参照して、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定しておいてください。IP アドレスが未設定および初期値（192.168.192.168）の場合は、[EPSON_LPR] で検索できません。
- 検索される LPR プリンタは、同一ネットワーク上にあるもののみです。
- ここで作成したプリンタは、Windows のプリンタフォルダ内でプリンタアイコンをダブルクリックしたときに表示される画面から、印刷の一時停止、印刷の中止、印刷中のジョブ削除をすることはできません。

ネットワークコンピュータから

EPSON プリンタ画面の起動

① Windows の [ネットワークコンピュータ] 画面を開きます。
EPSON の LPR ネットワークコンピュータのグループアイコン［Epson_lpr］が表示されます。

② [Epson_lpr] 画面を開くと、コンピュータと同一セグメントにある、TCP/IP の設定された EPSON プリンタが、次の形式で表示されます。
ネットワーク I/F の IP アドレス（プリンタ名）

プリンタの設定

① 印刷に使うプリンタを選択して、ダブルクリックします。

② プリンタウィザードが起動します。画面の指示に従って、プリンタドライバをインストールします。

[プリンタの追加] から -
ルータの外にあるプリンタを追加する場合

EpsonNet Direct Print では、ルータを超えたプリンタが検索できませんので、ネットワーク I/F の IP アドレスを直接指定します。

[プリンタの追加] の起動

[マイコンピュータ]の[プリンタ]画面で、[プリンタの追加]をダブルクリックします。

2 プリンタの追加

① [ネットワークプリンタ] を選択します。

② [ネットワークパスまたはキューの名前] で、次のパスを入力します。後は、画面の指示に従ってインストールします。

書式）¥¥Epson_lpr¥ 追加するプリンタのネットワーク I/F の IP アドレス

例）　¥¥EPSON_LPR¥163.131.44.200

EpsonNet Direct Print の削除

削除画面の起動

[マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある、[アプリケーションの追加と削除] 画面を開きます。

削除

[セットアップと削除] 画面で [EpsonNet Direct Print] を選択して、[追加と削除] ボタンをクリックします。
「' EpsonNet Direct Print' とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
削除が終了したら、コンピュータを再起動してください。

EpsonNet Direct Print と EPSON プリンタウィンドウ !2 ※の両方をインストールしているコンピュータでは、EPSON プリンタウィンドウ !2 の削除は行わないでください。EpsonNet Direct Print が正常に動作しなくなる恐れがあります。
もし、上記の環境で EPSON プリンタウィンドウ !2 を削除して、EpsonNet Direct Print から正常に印刷できなくなってしまった場合には、EpsonNet Direct Print を再インストールしてください。

※ 本プリンタ以外の EPSON プリンタをご購入された際に、添付されている場合があります。
本プリンタには、EPSON プリンタウィンドウ !3 が添付されています。

NetBEUI 印刷

クライアントとプロトコルの組み込み

お使いのコンピュータに、NetBEUI での印刷に必要なプロトコルをインストールします。

Microsoft ネットワーククライアントの組み込み

① [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定] 画面で [追加] ボタンをクリックします。
[現在のネットワーク構成] に [Microsoft ネットワーククライアント] がある方は追加不要です。

② [クライアント] を選択し、[追加] ボタンをクリックして、[Microsoft ネットワーククライアント] を追加します。

NetBEUI プロトコルの組み込み

① [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] アイコンをダブルクリックして起動し、[ネットワークの設定] 画面で [追加] ボタンをクリックします。
[現在のネットワーク構成] に [NetBEUI] がある方は追加不要です。

② [プロトコル] を選択し、[NetBEUI] を追加します。

NetBEUI の設定

ネットワーク I/F の NetBEUI 設定の初期値は次のとおりです。初期値のままでも使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssist または EpsonNet WebAssist を使用します。

- NetBIOS 名　:EPxxxxxx
- ワークグループ名　:WORKGROUP
- デバイス名　:EPSON

EpsonNet WinAssist から

まず、設定に使うコンピュータに TCP/IP（「TCP/IP の組み込み」（20 ページ）参照）または IPX を組み込んで設定します。その後、次の設定をします。

プリンタの起動
ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

EpsonNet WinAssist の起動
① [スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。

② リスト画面で設定するプリンタを選択して、[設定開始] ボタンをクリックします。

ポイント

- 設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます（「ネットワークステータスシートについて」9 ページ参照）。
- ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション]（132 ページ、133 ページ）で設定すると、表示されます。

NetBEUI の設定

[NetBEUI] タブをクリックして、各項目を設定します。

設定項目	設定内容
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。

設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更]ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（134ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WebAssist から

ポイント

- お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください（「動作環境」14 ページ参照）。
- コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。
- お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。
- お使いの Web ブラウザの設定を、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスに対してプロキシを使用しない設定にしてください。

プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

EpsonNet WebAssist の起動

EpsonNet WinAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

- EpsonNet WinAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。
- ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist は起動しないでください。

書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /

例）　http://192.168.100.201/

NetBEUI の設定

メニューの [設定]-[ネットワーク] にある [NetBEUI] をクリックして、各項目を設定します。次ページを参照して設定してください。

設定項目	設定内容
NetBEUI	[Enable] を選択します。
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名、またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使えません。

設定の保存

① [送信] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNetWinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は「パスワード」（168 ページ）をご覧ください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていませんので、以下の画面は表示されません。

② 「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、EpsonNetWebAssist を終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③ その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、ネットワークに接続したプリンタの設定をします。

[プリンタの追加] 起動

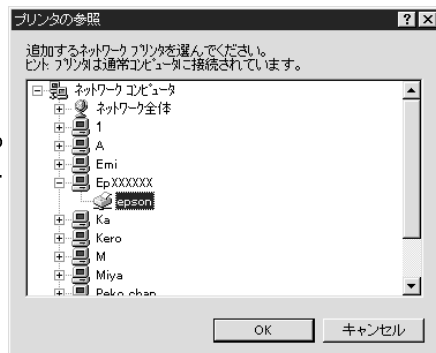
① [マイコンピュータ] の [プリンタ] ウインドウから［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

② 右の画面で [ネットワークプリンタ] を選択します。

プリンタの選択

① [参照] ボタンをクリックします。

② 表示されるリストから設定するプリンタを選択して、[OK] ボタンをクリックします。

③ 参照できない場合は㈰の画面に戻って、[ネットワークパスまたはキューの名前] 欄に次のように入力します。
¥¥(ネットワーク I/F の NetBIOS 名)
¥(ネットワーク I/F のデバイス名)

この後は画面の指示に従って設定してください。

第６章

WindowsNT 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを、WindowsNT で使用する際の設定方法を説明します。

TCP/IP 印刷 .... 50 ページ
NetBEUI 印刷 .... 55 ページ

対応するシステムは次のとおりです。

- WindowsNT 3.51、4.0
- LPR Port(TCP/IP)
- Microsoft Windows Network(NetBEUI)

プリンタ共有による印刷に対応します。

TCP/IP 印刷

TCP/IP の LPR Port 印刷ができます。

LPR Port での接続

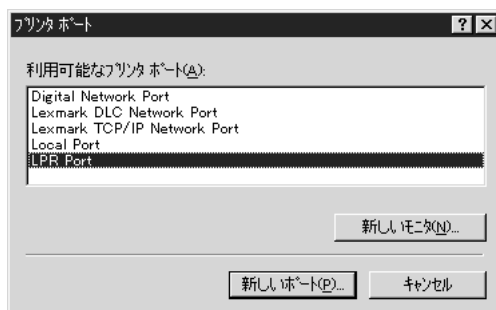
WindowsNT4.0

1 プリンタの起動
ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 ネットワークサービスの確認
[マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] をダブルクリックして、[サービス] 画面に [Microsoft TCP/IP 印刷] があることを確認します。
[Microsoft TCP/IP 印刷] がない場合は、[追加] ボタンをクリックして追加します。画面の指示に従ってください。

3 プリンタを LPR Port で接続
① [マイコンピュータ] の [プリンタ] ウィンドウで [プリンタの追加] をダブルクリックします。
右の画面で [このコンピュータ] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

② [ポートの追加] ボタンをクリックします。

③ [プリンタポート] 画面が表示されるので、[LPRPort] を選択し、
[新しいポート] ボタンをクリックします。

[Lexmark TCP/IP Network Port]は使用できません。

④ [LPR 互換プリンタの追加] 画面が表示されます。[lpd を提供しているサーバの名前またはアドレス] に、ネットワーク I/F の IP アドレスを入力し、[OK] ボタンをクリックします。あとはメッセージに従ってプリンタドライバをインストールしてください。

Windows NT3.51

プリンタの起動

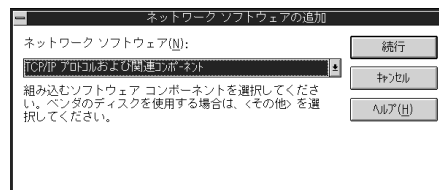
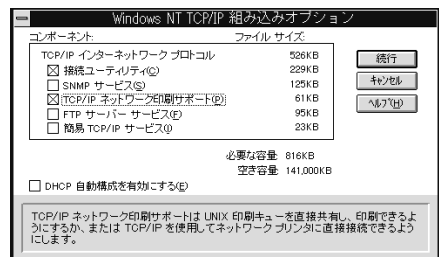
ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

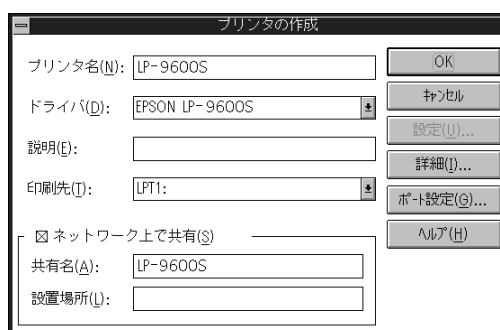
プリンタドライバのインストール

プリンタ本体マニュアルを参照して、プリンタドライバをインストールします。

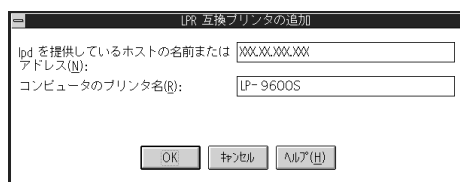
3 ネットワークソフトウェアの確認

① [メイン] グループの [コントロールパネル] にある [ネットワーク] をダブルクリックして、[Microsoft TCP/IP印刷] が組み込まれていることを確認します。

② [Microsoft TCP/IP印刷] がない場合は、[ソフトウェアの追加] ボタンをクリックして [TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント] を選択します。

③ [Windows NT TCP/IP組み込みオプション] 画面が表示されるので、[接続ユーティリティ] と [TCP/IP ネットワーク印刷サポート] をチェックします。
この後は画面の指示にしたがってください。

プリンタを LPR Port で接続

① プリンタを作成します。
[メイン] グループの [プリントマネージャ] の [プリンタ] メニューから、[プリンタの作成] を選択します。
[プリンタ名] を入力し、[ドライバ] を選択します。プリンタ名は NT 上のプリンタ名を入力します。
このプリンタを他のコンピュータと共有する場合は [ネットワークで共有] チェックボックスにチェックマークを入れ、共有名と設置場所を入力します。設置場所は入力しなくてもかまいません。

② プリンタを LPR Port で接続します。
①の画面の [印刷先] リストボックスから、[その他] を選択します。

③ [印刷先] 画面が表示されますので、[LPR Port] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

④ [LPR 互換プリンタの追加] 画面が表示されますので、ネットワーク I/F の IP アドレスとプリンタ名を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

⑤ [プリンタの作成] 画面で [印刷先] が [IP アドレス : プリンタ名] という表示になれば設定は完了です。

[共有名] に設定したプリンタ名は、クライアントがプリンタを利用するときに必要です。共有名をクライアントに知らせてください。

スプールディレクトリのアクセス権を変更する

WindowsNT3.51 Server で共有プリンタを作成した場合、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります（ファイルシステム NTFS を選択したとき)。

① ファイルマネージャを起動し、カーソルを ¥WINNT35¥SYSTEM32¥SPOOL¥PRINTERS に合わせます。

② メニューから [セキュリティアクセス権] を選択します。

③ グループ [Everyone] のアクセス権を [追加と読み取り (RWX)（RX）] に変更し、[OK] ボタンをクリックします。

NetBEUI 印刷

NetBEUI プロトコルの組み込み

WindowsNT4.0

ワークステーションサービスの組み込み
[マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[サービス] 画面で [追加] ボタンをクリックして [ワークステーション] を追加します。
[ワークステーション] がある場合は追加不要です。

NetBEUI プロトコルの組み込み
[マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [ネットワーク] アイコンをダブルクリックし、[プロトコル] 画面で [追加] ボタンをクリックして [NetBEUI プロトコル] を追加します。
[NetBEUI プロトコル] がある場合は追加不要です。

WindowsNT3.51

ワークステーションサービスの組み込み

① [メイン] グループの [コントロールパネル] にある [ネットワーク] を起動して、[ネットワークの設定] 画面の [組み込まれているネットワークソフトウェア] に [ワークステーション] があることを確認します。

② [ワークステーション] がない場合は、[ソフトウェアの追加] ボタンをクリックして追加します。

NetBEUI プロトコルの組み込み

① [メイン] グループの [コントロールパネル] にある [ネットワーク] を起動して、[ネットワークの設定] 画面の [組み込まれているネットワークソフトウェア] に [NetBEUI プロトコル] があることを確認します。

② [NetBEUI プロトコル] がない場合は、[ソフトウェアの追加] ボタンをクリックして追加します。

NetBEUI の設定

ネットワーク I/F の NetBEUI 設定の初期値は次のとおりです。初期値のままでも使用できますが、設定値を変更する場合は、EpsonNet WinAssist または EpsonNet WebAssist を使用します。

- NetBIOS 名　:EPxxxxxx
- ワークグループ名　:WORKGROUP
- デバイス名　:EPSON

EpsonNet WinAssist から

まず、設定に使うコンピュータに TCP/IP（「TCP/IP の組み込み」（20 ページ）参照）または IPX を組み込んで設定します。その後、次の設定をします。

プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

EpsonNet WinAssist の起動

① ［スタート］メニューのプログラム［EpsonNet WinAssist］をクリックして起動します。

② リスト画面で設定するプリンタを選択して、［設定開始］ボタンをクリックします。

- 設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます（「ネットワークステータスシートについて」9 ページ参照）。
- ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、［ツール］メニューの［探索オプション］（132 ページ、133 ページ）で設定すると、表示されます。

3 NetBEUI の設定

[NetBEUI] タブをクリックして、各項目を設定します。

設定項目	設定内容
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。

4 設定の保存

① [OK]ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更]ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（134ページ）を参照してください。工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WebAssist から

ポイント

- お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください（「動作環境」14 ページ参照）。
- コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。
- お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。
- お使いの Web ブラウザの設定を、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスに対してプロキシを使用しない設定にしてください。

プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

EpsonNet WebAssist の起動

EpsonNet WinAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

- EpsonNet WinAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。
- ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist は起動しないでください。

  書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /

  例）　http://192.168.100.201/

NetBEUI の設定

メニューの [設定]-[ネットワーク] にある [NetBEUI] をクリックして、各項目を設定します。次ページを参照してください。

設定項目	設定内容
NetBEUI	[Enable] を選択します。
NetBIOS 名	プリンタの NetBIOS 名（Microsoft でネットワーク上のコンピュータ名にあたります）を、半角英数 15 文字以内で入力します。 ネットワーク上にある他のコンピュータ名と重複しないようにしてください。 初期値：EP ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワーク環境で使用中のワークグループ名、またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
デバイス名	プリンタのデバイス名を、半角英数 12 文字以内で入力します。 LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使えません。

設定の保存

① [送信]ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。

パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は「パスワード」（168 ページ）をご覧ください。

工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていませんので、以下の画面は表示されません。

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、Web ブラウザを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

プリンタの設定（クライアント）

プリンタをクライアントで使用するために、ネットワークに接続したプリンタの設定をします。

WindowsNT4.0

[プリンタの追加] 起動

① [マイコンピュータ] の [プリンタ] ウィンドウから、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

② [ネットワークプリンタサーバー] を選択します。

2 プリンタの選択

[共有プリンタ] から、設定するプリンタをクリックします。

参照できない場合は、[プリンタ] 欄に次の書式でパスを入力します。

¥¥(ネットワーク I/F の NetBIOS 名)
¥(ネットワーク I/F のデバイス名)

この後は画面の指示に従って設定してください。

WindowsNT3.51

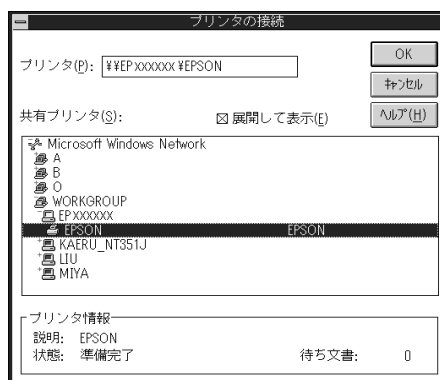
プリンタの接続] 起動

[メイン]-[プリントマネージャ] の [プリンタ] メニューから、[プリンタの接続] をダブルクリックします。

2 プリンタの選択

[共有プリンタ] から設定するプリンタを選択して [OK] ボタンをクリックし、接続します。

参照できない場合は、[プリンタ] 欄に次の書式でパスを入力します。

¥¥(ネットワーク I/F の NetBIOS 名)
¥(ネットワーク I/F のデバイス名)

この後は画面の指示に従って設定してください。

NET USE コマンド

WindowsNT をサーバとして NetBEUI を使って接続する場合は、WindowsNT の仕様上、NET USE コマンドを使うことをお薦めします。設定方法は次のとおりです。

サービスの確認
[コントロールパネル] の [ネットワーク] で次のサービスが組み込まれていることを確認します。組み込まれていない場合は、[追加] ボタンをクリックして追加してください。

・ WindowsNT4.0
  [サービス] 画面で [ワークステーション] または [サーバー] が組み込まれていることを確認します。
・ WindowsNT3.51
  [組み込まれているネットワークソフトウェア] で [ワークステーション] または [サーバー] が組み込まれていることを確認します。

コマンド実行
コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。

書式)NET_USE_ プリンタポート:_¥¥ ネットワーク I/F の NetBIOS 名 ¥ ネットワーク I/F のデバイス名（_ は半角スペース）

例)LPT1 に設定する場合
C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

プリンタポートの選択（クライアント）
設定したプリンタを使用するためには、プリンタポートを手順 2 で設定したポートにする必要があります。

・ Windows95/98
  使用するプリンタの [プロパティ] を開き、[詳細] 画面で手順 2 で設定したポートを選択します。
・ WindowsNT4.0
  使用するプリンタの [プロパティ] を開き、[ポート] 画面で手順 2 で設定したポートを選択します。
・ WindowsNT3.51
  [プリントマネージャー] で使用するプリンタを選択し、[プリンタ] メニューの [プリンタ情報] を起動します。[印刷先] リストボックスから、手順 2 で設定したポートを選択します。

第７章

AppleTalk 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタをMacintosh で使用する際の設定方法を説明します。Macintosh からは EtherTalk を利用して、Macintosh のネットワークでの印刷環境を設定できます。また、Windows からも TCP/IP、IPX を利用して Macintosh のネットワーク印刷環境を設定できます。

AppleTalk の設定..........................64 ページ

対応するシステムは次のとおりです。

- Macintosh OS
  漢字 Talk7.5.x
  MacOS 7.6.x/8.x
- EtherTalk Phase II
- EPSON プリンタドライバ

AppleTalk の設定

設定には 3 通りの方法があります。Macintosh から設定する場合は本ページの「EpsonNet MacAssist から」を、Windows から設定する場合は「EpsonNet WinAssist から」（67 ページ）をご覧ください。
ネットワーク I/F の IP アドレスを設定してある場合は、Windows から EpsonNet WebAssist を使って設定することもできます。

EpsonNet MacAssist から

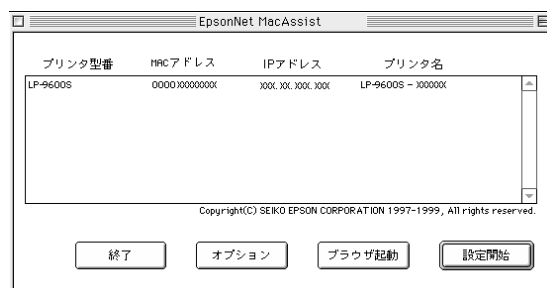
プリンタドライバのインストール

本プリンタのプリンタドライバをインストールします。

プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

EpsonNet MacAssist の起動

① [EpsonNet MacAssist] アイコンをダブルクリックして起動します。

② リスト画面で、設定するプリンタを選択して [設定開始] ボタンをクリックします。

- 設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスはネットワークステータスシートで確認できます（「ネットワークステータスシートについて」9 ページ参照）。
- お使いのコンピュータのゾーン外にあるプリンタは、[オプション] 画面の [ゾーン選択]（141 ページ）で設定すると、表示されます。

AppleTalk 設定
[IP アドレスの設定][AppleTalk の設定]画面が表示されますので、各項目を設定します。

ポイント

[IP アドレスの設定] については、「EpsonNetWinAssist/MacAssist から」(28 ページ)をご覧ください。

設定項目	設定内容
AppleTalk の設定	
プリンタ設定	
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値 : プリンタ名 - ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
AppleTalk 設定	
ゾーン名	ゾーン名を選択します。
ネットワーク 番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は [自動] を選択します。
手動設定時の ネットワーク番号	上の欄で [手動] を選択した場合に、0 ～ 65534 の番号を入力します。

設定の保存

① [送信] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正しく行われました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更]ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」(142 ページ) を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。

この後、設定したプリンタをリスト画面に表示させる場合は、EpsonNetMacAssist を再起動してください。

EpsonNet WinAssist から

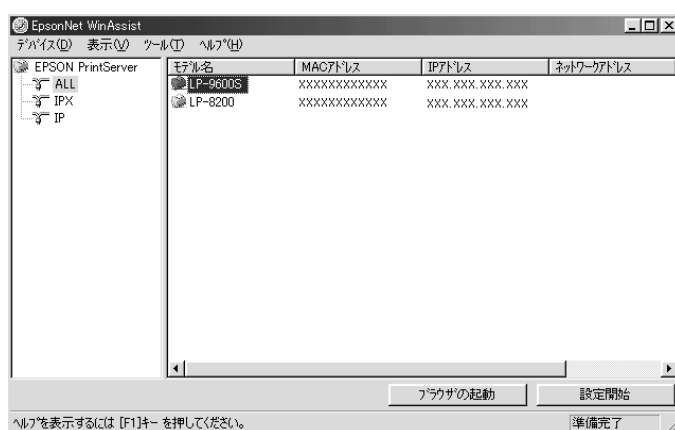
本プリンタを Windows で管理している場合は、Windows から EpsonNet WinAssist を使って設定します。

プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

EpsonNet WinAssist の起動

① Windows95/98/NT4.0 は、[スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。
WindowsNT3.51 は、[EpsonNet WinAssist（共通）] グループの [EpsonNet WinAssist] アイコンをダブルクリックして起動します。

② リスト画面で設定するプリンタを選択して、[**設定開始**] ボタンをクリックします。

ポイント

・ 設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます（「ネットワークステータスシートについて」9 ページ参照）。
・ ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。
・ ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション]（132 ページ、133 ページ）で設定すると、表示されます。

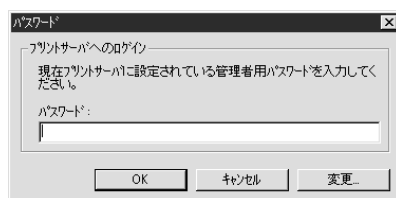
AppleTalk の設定

[AppleTalk] タブをクリックして、AppleTalk を設定します。

設定項目	設定内容
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値 : プリンタ名 - ネットワーク I/F のシリアル番号の下 6 桁
ゾーン名	[ネットワーク番号の取得方法] で [自動] を選択した場合、* を入力すると自動的に設定されます。
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
[エンティティタイプの設定]	ここでの設定は不要です。
ネットワーク番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は [自動] を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	上の欄で [手動] を選択した場合に、0 ～ 65534 の番号を入力します。

設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更]ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」(134ページ) を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WebAssist から

ネットワーク I/F に IP アドレスを設定してある場合は、Windows から EpsonNet WebAssist を使って設定できます。

ポイント

- お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください（「動作環境」14 ページ参照)。
- コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。
- EpsonNetMacAssist/WinAssist と EpsonNet WebAssist から、同時に同じネットワーク I/F に対して設定をしないでください。
- お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよびOS のマニュアルを参照してください。
- お使いの Web ブラウザの設定を、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスに対してプロキシを使用しない設定にしてください。

プリンタの起動

プリンタの電源をオンにします。

EpsonNet WebAssist の起動

EpsonNet WinAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

- EpsonNet WinAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。
- ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist は起動しないでください。

書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /
例）　http://192.168.100.201/

AppleTalk の設定

メニューの [設定]-[ネットワーク] にある [AppleTalk] をクリックして、各項目を設定します。

設定項目	設定内容
AppleTalk	[Enable] を選択します。
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 初期値：プリンタ名 - ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
エンティティタイプ	エンティティタイプを表示します。
ゾーン名	[ネットワーク番号設定] で [Auto] を選択した場合、 * を入力すると自動的に設定されます。
ネットワーク 番号設定	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は [Auto] を選択します。
Manual 設定時のネットワーク番号	上の欄で [Manual] を選択した場合に、0 から 65534 の値を入力します。

設定の保存

① ［送信］ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。

パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は「パスワード」（168 ページ）をご覧ください。

工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていませんので、以下の画面は表示されません。

②「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、Web ブラウザを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③ その後設定を有効にするため、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

以上で設定は終了です。

第８章

NetWare印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタをNetWareで使用する際の設定方法を説明します。

使用上の注意.. 74ページ
バインダリプリントサーバ印刷
（NetWare3.xJ/4.1xJ）......................... 77ページ
NDSプリントサーバ印刷
（NetWare4.1xJ/5J）............................ 82ページ
リモートプリンタ印刷
（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J）................... 87ページ
NDPSゲートウェイ印刷（NetWare5J)... 102ページ
EpsonNet WebAssistからの設定...........116ページ
ダイヤルアップネットワーク使用時の注意...........120ページ

対応するシステムは次のとおりです。

サーバ環境

- NetWare3.1J/3.11J/3.12J/3.2J
- NetWare4.1J/4.11J(NDS/バインダリエミュレーション)
- IntranetWare-J(NDS/バインダリエミュレーション)
- NetWare5J(NDS/キューベースプリントシステム/NDPS)

クライアント環境

- NetWareがサポートしているクライアント環境
- ネットワークに接続したプリンタのプリンタドライバが使えること

使用上の注意

モードについて

ネットワーク I/F にはプリントサーバモードとリモートプリンタモード、待機モードがあり、使用するモードは任意に設定できます。通常はプリントサーバモードをお薦めします。NetWare ファイルサーバのユーザ数に余裕がなければリモートプリンタモードでお使いください。

プリントサーバモード (NDS/Bindery Print Server)

特徴

- 8台までのファイルサーバを同時接続可能
- 直接印刷を制御するので印字速度が速い
- NetWare のユーザアカウントを使用する
- プリントキューは最大 32 ジョブまで登録可能

リモートプリンタモード (Remote Printer)

特徴

- NetWare のユーザアカウントを使用しない
- リモートプリンタを制御するプリントサーバが必要
- プリンタの接続は、NetWare3.xJ で最大 16 台、NetWare4.1xJ、IntranetWare-J、NetWare5J では最大 255 台まで可能

リモートプリンタモードでは、プリンタの電源を入れたときに一時的にユーザアカウントを使用します。ユーザアカウントに余裕がない場合は、クライアントがファイルサーバにログインする前にプリンタの電源をオンにしてください。

待機モード（Standby）

工場出荷時はこのモードです。本モードでは NetWare の機能は動作しませんが、SAP/RIP などの一部プロトコルがネットワーク上に流れる場合があります。

使用上の注意

テキストファイルの印刷での注意

NetWare の NPRINT コマンドや DOS のリダイレクションを利用してテキストファイルを印刷する場合、クライアントの環境によっては文字化けやキャラクタずれの起きる可能性があります。

PCONSOLE での制限

NetWare3.xJ のプリントサーバモードで使用する場合、PCONSOLE のプリントサーバ状況表示制御のサービスは使用できません。

IPX ルーティングプロトコル“NLSP”での注意点

NetWare4.1xJ 以降は IPX ルーティングプロトコル“NLSP”を設定できますが、本ネットワーク I/F は“NLSP”に対応していません。RIP/SAP により通信を制御しています。ルーティングプロトコルの選択肢には① NLSP と RIP/SAP ② RIP/SAP 専用がありますが、“NLSP と RIP/SAP”が指定されている状態で、任意に RIP、SAP のバインドをはずした場合、ネットワーク I/F はファイルサーバや NDS との通信ができなくなりますので、ご注意ください（参照：ユーティリティ INETCFG の、“プロトコル”および“バインド”タスク内）。

バインダリと NDS に関する注意点

・ バインダリコンテキスト・パスは、サーバコンソールから SET BINDERY CONTEXT コマンドで確認できます。

・ バインダリコンテキスト・パスが設定されていない場合や、NDS 非対応のクライアントから、別のコンテキストの印刷環境も使用したい場合には、そのコンテキストをバインダリコンテキストに指定する必要があります。AUTOEXEC.NCF ファイル内に、SET BINDERY CONTEXT コマンドで設定します。

・ 以下の Novell クライアントサービスをご使用の場合、EpsonNet WinAssist からのバインダリプリントサーバモードの設定はできません。バインダリモードでの設定を行う場合には Novell IntranetWare Client をお使いいただくか、EpsonNet WebAssist で設定を行ってください。
Novell Client for Windows95/98 Version 3.0
Novell Client for WindowsNT Version 4.50

詳しくは NetWare4.1xJ/5J のマニュアルをご覧ください。

NDS コンテキストの表示・印刷

NDS コンテキストについて、ネットワークステータスシートと EpsonNet WebAssist では、ASCII 文字のみを正しく表示できます。NDS コンテキストを 2 バイト文字で設定した場合は、正常に表示されません。
正しく表示させるには、EpsonNetWinAssist または EpsonNetWebAssist から ASCII 文字で入力、設定してください。

ネットワーク I/F 情報取得時間について

ネットワークに接続したプリンタの電源を投入してから、NetWare サーバに認識されるまで最大 2 分の時間がかかります。その間、ネットワークステータスシートには正しい情報が反映しませんので、ご注意ください。

フレームタイプについて

IPX をバインドするフレームタイプは、同一ネットワーク内にあるすべての NetWare サーバ、IPX ルータで統一する必要があります。
複数のフレームタイプを同一ネットワークでお使いの場合、すべての NetWare サーバ、IPX ルータにそれらをバインドしてください。

NetWare5J を使用する場合

NetWare5J サーバに、IPX プロトコルをインストール（バインド）しておいてください。

動作モードが異なる場合の注意点

ネットワーク I/F に設定されているモードと異なるモードでログインし、EpsonNet WinAssist で NetWare の設定を行おうとすると、メッセージが表示されます。現在の設定を変更したくない場合は、[キャンセル] をクリックして、ネットワーク I/F に設定されているモードでログインし直してください。

バインダリプリントサーバ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ）

NetWare3.xJ/4.1xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（バインダリエミュレーション）でネットワーク I/F をお使いになる場合の設定方法を説明します。

ネットワーク I/F の設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNetWinAssist から行います。

ポイント

設定を行うコンピュータに、Client32 または IntranetWare Client をインストールしておいてください。次のクライアントは使用しないでください。
Novell Client for Windows95/98 Version3.00
Novell Client for WindowsNT Version4.50

NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限をもつユーザ（バインダリ接続）でログインします。
NetWare4.1xJ/IntranetWare-J の場合は、バインダリログインのオプションを選択してログインしてください。

2 EpsonNet WinAssist の起動

① ［スタート］メニューのプログラム［EpsonNet WinAssist］をクリックして起動します。

② リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して［設定開始］ボタンをクリックします。

- 設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます（「ネットワークステータスシートについて」9 ページ参照）。
- ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。
- IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション]（133 ページ）で設定すると、表示されます。

NetWare 設定画面の表示

[NetWare] タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。

現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないと きは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

基本設定とプリントサーバ設定

画面の右半分は、[モード]で[プリントサーバ/バインダリ]を選択すると表示されます。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ / バインダリ] を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 自動を選択してください。自動以外を選択すると、設定エラーになります。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	プリントサーバがログインするファイルサーバを選択します。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、名前を半角英数 47 文字以内で入力します。
プリントサーバ パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバ パスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5 ～ 90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
[プリントキュー設定]	キューの設定をします。次のページを参照してください。 PCONSOLE や NWADMIN ですでにキューを割り当ててある場合も、ここで再度、キューの割り当てをしてください。

プリントキュー設定

ネットワーク I/F へ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>キュー名</td><td colspan="2">ネットワーク I/F へ割り当てるプリントキュー名を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">[参照]</td><td colspan="2">割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、ログインしているファイルサーバ以下をすべて表示します。</td></tr>
<tr><td>キューの選択</td><td>プリントキューを選択して [OK] ボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>キューの新規作成</td><td>キューを作成するファイルサーバをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成] を選択します。
[キュー名] は半角英数 47 文字以内で入力します。</td></tr>
<tr><td>キューの削除</td><td>プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除] を選択します。</td></tr>
<tr><td>キュー一覧</td><td colspan="2">プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>[追加]</td><td colspan="2">割り当てるキューを追加します。[参照] で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>[削除]</td><td colspan="2">キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
</table>

設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更] ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」（134 ページ）を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WinAssist で設定を保存すると、プリンタオブジェクトは [PR0] の名前で自動的に作成されます。
プリンタ名を変更する場合は、NetWare のユーティリティ PCONSOLE または NWADMIN から行ってください。

NDS プリントサーバ印刷（NetWare4.1xJ/5J）

NetWare4.1xJ/5J/IntranetWare-J のプリントサーバモード（NDS）環境でネットワーク I/F をお使いになる場合の設定方法を説明します。

ネットワーク I/F の設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNetWinAssist から行います。

ポイント

設定を行うコンピュータに、Client 32、IntranetWare Client、Novell Client のいずれかをインストールしておいてください。

NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN 権限のあるユーザでログインします。

EpsonNet WinAssist の起動

① [スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。

② リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して [設定開始]ボタンをクリックします。

ポイント

- 設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます（「ネットワークステータスシートについて」9 ページ参照）。
- ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定（192.168.192.168）の場合、モデル名が表示されないことがあります。
- IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション]（133 ページ）で設定すると、表示されます。

NetWare 設定画面の表示

[NetWare] タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。

現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

基本設定とプリントサーバ設定

画面の右半分は、[モード] で [プリントサーバ /NDS] を選択すると表示されます。画面右の設定については次ページの説明をご覧ください。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[プリントサーバ /NDS] を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 自動を選択してください。自動以外を選択すると、設定エラーになります。
NDS ・[参照] でプリントサーバのコンテキストを選択します。画面右でプリントサーバの設定をする前に、必ずこの欄を設定してください。 ・ EpsonNet WinAssist を使用するコンピュータに Novell クライアントサービスがインストールされていないと、ここでの設定はできません。 ・ [ツリー名] と [コンテキスト] に設定できる文字数や文字種の制限についての詳細は、NetWare のマニュアルを参照してください。	
ツリー名	[参照] ボタンをクリックして、NDS ツリーを選択します。
コンテキスト	[参照] ボタンをクリックして、NDS コンテキストを選択します。

設定項目	設定内容
プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	この欄の設定は不要です。
プリントサーバ名	NDS 欄で指定したコンテキストに所属するプリントサーバがリスト表示されますので、プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、半角英数 47 文字以内で名前を入力します。
プリントサーバ パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
プリントサーバ パスワードの再入力	パスワードを再入力します。
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5 ～ 90 秒の間で設定します。 詳しくは、NetWare のマニュアルをご覧ください。
[プリントキュー設定]	キューの設定をします。次のページを参照してください。 PCONSOLE や NWADMIN ですでにキューを割り当ててある場合も、ここで再度、キューの割り当てをしてください。

プリントキュー設定
ネットワーク I/F へ割り当てるキューの選択や作成ができます。設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。

ここでは、[コンテキスト] 欄で設定したコンテキストより上のコンテキストに対しても、キューを設定できます。その場合は、キューを設定したコンテキストに対して管理者の権限を持っている必要があります。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>キュー名</td><td colspan="2">ネットワーク I/F へ割り当てるキューを、[プリントキュー . 部門名 . 組織名] の書式で表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">[参照]</td><td colspan="2">割り当てるキューの選択や、キューの作成ができます。クリックすると、NDS 欄で設定したツリー以下を表示します。</td></tr>
<tr><td>キューの選択</td><td>プリントキューを選択して [OK] ボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>キューの新規作成</td><td>キューを作成するコンテキストをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの作成] を選択します。
[キュー名] は半角英数 47 文字以内で入力します。[キュー作成サーバ] はキューを作成するサーバを選択します。
キューは、ファイルサーバの SYS ボリューム下に作成されます。キューを SYS ボリューム以外のボリュームに作成したいときは、PCONSOLE または NWADMIN から作成してください。</td></tr>
<tr><td>キューの削除</td><td>プリントキューをクリックしてマウスの右ボタンをクリックし、[キューの削除] を選択します。</td></tr>
<tr><td>キュー一覧</td><td colspan="2">プリントサーバへ割り当てられているキューの一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>[追加]</td><td colspan="2">割り当てるキューを追加します。[参照] で割り当てるキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
<tr><td>[削除]</td><td colspan="2">キューの割り当てを解除します。キュー一覧でキューを選択し、このボタンをクリックします。</td></tr>
</table>

設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更]ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」(134ページ)を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

EpsonNet WinAssist での設定を保存すると、プリンタオブジェクトは次の書式で自動的に作成されます。
プリントサーバ名_P0
プリンタ名を変更する場合は、NetWare のユーティリティ PCONSOLE または NWADMIN から行ってください。

リモートプリンタ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J）

NetWare3.xJ/4.1xJ/5J/IntranetWare-J のリモートプリンタモードでネットワーク I/F をお使いになる場合の設定方法を説明します。
まず、PCONSOLE または NWADMIN を使ってプリンタ環境を設定します。お使いの NetWare によって、使用するユーティリティと手順が異なります。次のページをご覧ください。

- NetWare3.xJ
  「プリンタ環境の設定（PCONSOLE から）」（次ページ）
- NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）
  「プリンタ環境の設定（バインダリ）」（90 ページ）
- NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）
  「プリンタ環境の設定（NWADMIN から）」（95 ページ）

その後、EpsonNet WinAssist でネットワーク I/F の設定をします。

ポイント

設定を行うコンピュータに、Client32 または IntranetWare Client をインストールしておいてください。

プリンタ環境の設定（PCONSOLE から）

NetWare3.xJ をお使いの方は、次の設定を行ってください。

NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限を持つユーザでログインします。

プリントキューの登録

① PCONSOLE を起動し、[利用可能な項目] から [プリントキュー情報] を選択します。

② [Insert] キーを押して、[新プリントキュー名] 欄にプリントキュー名を入力します。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

ポイント

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

キューユーザの登録

[プリントキュー] リストから作成したプリントキューを選択すると [プリントキュー情報] メニューが表示されますので、[キューユーザ] を選択して、[EVERYONE] が登録されていることを確認します。EVERYONE がない場合は、[Insert] キーを押して、キューユーザリストから [EVERYONE] を選択します。

プリントサーバの登録

① [利用可能な項目] から [プリントサーバ情報] を選択します。

② [Insert] キーを押して、[新プリントサーバ名] 欄にプリントサーバ名を入力します。このプリントサーバ名は後で使用するのでメモしておいてください。

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

5 プリンタの構成

① [プリントサーバ] リストから作成したプリントサーバを選択すると、[プリントサーバ情報] 画面が表示されますので、[プリントサーバ構成] を選択します。

プリントサーバ情報
パスワードの変更
フルネーム
プリントサーバ構成
プリントサーバID
プリントサーバオペレータ
プリントサーバユーザ

② [プリントサーバ構成メニュー] 画面が表示されますので、[プリンタの構成] を選択します。

③ [構成完了プリンタ] の最上段 [インストールされていません（プリンタ番号＝0）] を選択します。

構成完了プリンタ	
インストールされていません	**0**
インストールされていません	1
インストールされていません	2

④ 次のように設定します。

プリンタ０の構成	
名前：Printer-0	任意のプリンタ名を入力
タイプ：リモートパラレル,LPT1	リモートパラレル ,LPT1 を選択
社別識別子：ESCP	任意に入力
IRQ：7	
バッファサイズ（Kバイト）：3	
開始用紙：0	必要に応じた用紙の変更可
キューサービスモード	
ボーレート：	
データビット：	
ストップビット：	
パリティ：	
X-On/X-Off使用有無	

⑤ [Esc] キーを押して、変更内容を保存します。

6 プリンタとキューの関連付け

① [プリントサーバ構成メニュー] から [プリンタでサービスされているキュー] を選択します。

プリンタサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

② [定義済みのプリンタ] リストから、手順 5 で作成したプリンタを選択します。

③ [Insert] キーを押して、[使用可能キュー] リストから、手順 2 で作成したキューを選択してください。

④ [優先順位] を 1 から 10 までの数値で指定します。1 が最優先です。

7 PCONSOLE の終了

[Esc] キーを押して、PCONSOLE を終了します。このあとは、「ネットワーク I/F の設定」（99 ページ）へ進んでください。

プリンタ環境の設定（バインダリ）

NetWare4.1xJ/IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）をお使いの方は、次の設定を行ってください。

ポイント

・ 必要に応じて、各ユーザにトラスティを割り当ててください。
・ プリントキュー、プリントサーバは必ず PCONSOLE で設定してください。NWADMIN ではバインダリキューを作成できません。

NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。この時、必ずバインダリ接続でログインしてください。

ポイント

設定に使うクライアントが NDS モードでログインしている場合には、PCONSOLE 起動時に [F4] キーを押して、バインダリモードに移行してから設定を行ってください。

プリントキューの登録

① PCONSOLE を起動し、[利用可能な項目] から [プリントキュー] を選択します。

② [Insert] キーを押して、[新しいプリントキュー名] を入力します。

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更

ポイント

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

キューユーザの登録

[プリントキュー] リストから作成したプリントキューを選択すると [プリントキュー情報] メニューが表示されますので、[キューユーザ] を選択して、[EVERYONE] が登録されていることを確認します。EVERYONE がない場合は、[Insert] キーを押して、キューユーザリストから [EVERYONE] を選択します。

プリントサーバの登録

① [利用可能な項目] から、[プリントサーバ] を選択します。

② [Insert] キーを押して、[新しいプリントサーバ名] を入力します。

5 PCONSOLE の終了

PCONSOLE を終了して、NetWare サーバからログアウトします。

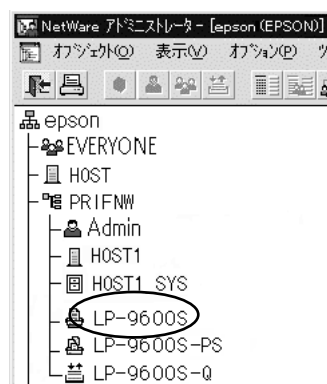
6 サーバへのログイン

NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。この時、NDS 接続でログインしてください。

7 プリンタの作成

NWADMIN を起動し、手順 4 で作成したプリントサーバオブジェクトのあるコンテナをクリックして、メニューの [オブジェクト]-[作成]-[プリンタ] を選択します。プリンタ名を入力して [作成] ボタンをクリックします。

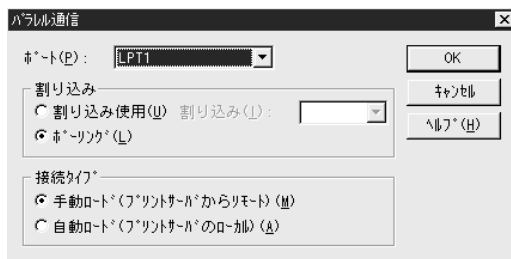
8 プリントキューの割り当て

① NetWareアドミニストレータ画面で、手順 7 で作成したプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② [割り当て] ボタンをクリックし [追加] ボタンをクリックします。

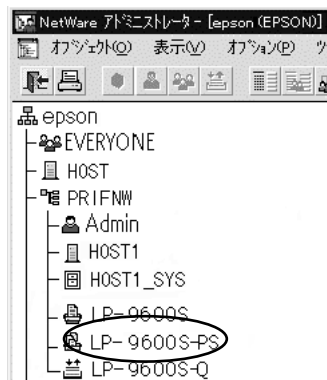
③ プリントキューの一覧が表示されますので、割り当てるキュー（手順 2 で作成したキュー）を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

9 プリンタタイプの設定

① [プリンタ] 画面に戻って [環境設定] ボタンをクリックし、[プリンタタイプ] で [パラレル] を選択して、右の [通信] ボタンをクリックします。

② ポート [LPT1]、割り込み [ポーリング]、接続タイプ [手動ロード] を選択します。

③ 設定が終了したら [OK] ボタンをクリックして [パラレル通信] 画面を閉じ、[プリンタ] 画面で [OK] ボタンをクリックします。

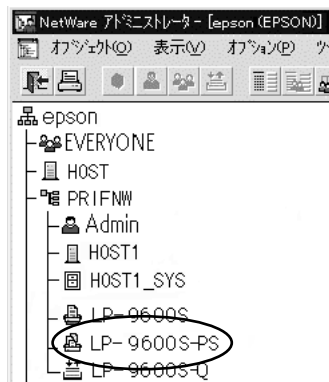
10 プリンタの割り当て

① NetWareアドミニストレータ画面で、手順4で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② [割り当て]ボタンをクリックし、[追加]ボタンをクリックします。

③ プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、手順7で作成したプリンタを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

④ ②の画面に戻って、一覧から割り当てたプリンタを選び[プリンタ番号]ボタンをクリックします。プリンタ番号を0～15の範囲で設定し、[OK]ボタンをクリックします。

11 割り当てたオブジェクトの確認

① NetWare　アドミニストレータ画面で、手順 4 で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② [プリントレイアウト] ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。このあとは、「ネットワーク I/F の設定」(99 ページ) へ進んでください。

プリンタ環境の設定（NWADMIN から）

NetWare4.1xJ/IntranetWare-J/NetWare5J（NDS）をお使いの方は、NWADMIN から設定できます。

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN と同等の権限のあるユーザでログインします。

2 プリンタの作成

NWADMIN を起動します。ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの [オブジェクト]-[作成]-[プリンタ] を選択します。プリンタ名を入力して [作成] ボタンをクリックします。

3 プリントサーバの作成

ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの [オブジェクト]-[作成]-[プリントサーバ] を選択します。プリントサーバ名を入力して [作成] ボタンをクリックします。

4 プリントキューの作成

① ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの [オブジェクト]-[作成]-[プリントキュー] を選択します。プリントキュー名を入力して [作成] ボタンをクリックします。

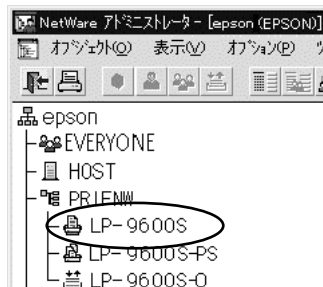
② プリントキューオブジェクトのアイコンをダブルクリックし、ユーザを登録します。

プリントキューを置くボリュームを指定（ディレクトリコンテキスト内のボリュームを選択）

ポイント

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

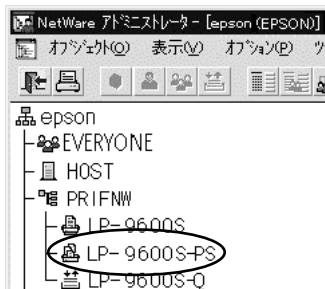
プリントキューの割り当て

① NetWare アドミニストレータ画面でプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② [割り当て] をクリックし、[追加] ボタンをクリックします。

③ プリントキューの一覧が表示されるので、手順4で作成したキューを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

④ [環境設定] をクリックして [プリンタタイプ] 欄で [その他 / 不明] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

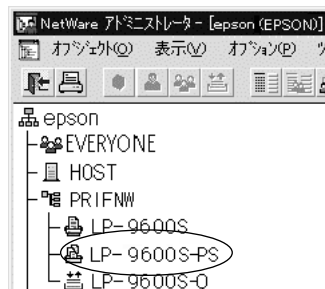
プリンタの割り当て

① NetWareアドミニストレータ画面でプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② [割り当て] をクリックし、[追加] ボタンをクリックします。

③ プリンタオブジェクトの一覧が表示されるので、割り当てるプリンタオブジェクトを選択し [OK] ボタンをクリックします。

④ ②の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、[プリンタ番号] ボタンをクリックします。プリンタ番号を 0 ~ 254 の範囲で設定し、[OK] ボタンをクリックします。

割り当てたオブジェクトの確認

① NetWare　アドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

② [プリントレイアウト] ボタンをクリックします。
プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。続いて、次ページへ進んでください。

詳しくは NetWare のマニュアルをご覧ください。

ネットワーク I/F の設定

ネットワークに接続したプリンタの設定は、EpsonNetWinAssist から行います。

1 NetWare サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR または ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。

2 プリントサーバのロード

プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。

> LOAD_PSERVER_PCONSOLE または NWADMIN で設定したプリントサーバ名
(_ は半角スペース)

3 EpsonNet WinAssist の起動

① [スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。

② リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して [設定開始] ボタンをクリックします。

ポイント

- 設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます(「ネットワークステータスシートについて」9 ページ参照)。
- ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定(192.168.192.168)の場合、モデル名が表示されないことがあります。
- IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション](133 ページ)で設定すると、表示されます。

NetWare 設定画面の表示

[NetWare] タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。

現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しない時は、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

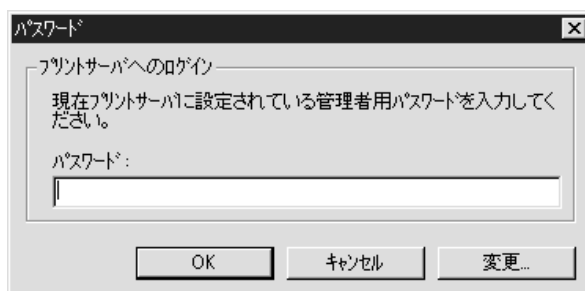
基本設定とリモートプリンタ設定

画面の右半分は、[モード] で [リモートプリンタ] を選択すると表示されます。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ] を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 自動を選択してください。自動以外を選択すると、設定エラーになります。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	PCONSOLE または NWADMIN で作成したプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	PCONSOLE または NWADMIN で設定した、リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

設定の保存

① [OK]ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/Fに情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更]ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」(134ページ)を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

② その後、設定が有効になるまで最大3分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

NDPSゲートウェイ印刷（NetWare5J）

NetWare5Jには、NDPSが標準装備されています。ここでは、Novell NDPSゲートウェイ経由で印刷する方法を説明します。
Novell NDPSゲートウェイは、IPX上のrprinter、IP上のLPR、または従来からあるIPX上のキューベースプリントシステムを使ってNDPSで印刷するためのソフトウェアです。

ポイント

- NDPSを使うと、ネットワーク上のプリンタや印刷サービスの管理が従来の方法よりも簡単に行えます。
- 本製品は、NDPSの[自動ドライバインストール]には対応していません。
- NDPS経由で印刷する場合、バナー印刷は行えません。

設定の流れ

次のような手順で設定します。NDPSについての詳細は、NetWare5Jに添付されているNDPSの説明書を参照してください。

1. 接続方法の決定と環境設定 103ページ
↓
2. NDPSマネージャの作成..104ページ
↓
3. NDPSプリンタエージェントの作成 105ページ
↓
4. EpsonNet WinAssistからのネットワークI/F設定..........112ページ
↓
5. プリンタ設定（クライアント）.......................................115ページ

接続方法の決定と環境設定

1 接続方法の決定

次の 3 種類の接続方法から、ご利用の環境にあったものを選びます。

・ リモート（IPX 上で rprinter）
ゲートウェイ経由で、RPRINTER（リモートプリンタ）モードのプリンタに印刷することができます。NetWare を初めてインストールするときや、現在の印刷環境が削除されても問題ない場合に使用できます。

ポイント

リモート（IPX上で rprinter）を使うと、従来のキューベースプリントシステムの設定が失われます。

・ リモート（IP 上で LPR）
ゲートウェイ経由で、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定したプリンタに印刷できます。

・ ジョブをキューに転送
ゲートウェイからキューに印刷ジョブを送って印刷します。従来のキューベースプリントシステムと共存したいときに使用できます。

必要なプロトコルのインストール（サーバ）

NetWare サーバに、次のプロトコルをインストールします。接続方法によって、インストールするプロトコルが異なります。
インストール方法は NetWare5J のマニュアルをご覧ください。

・リモート（IPX 上で rprinter）. . . . . . IPX
・リモート（IP 上で LPR） . . . . TCP/IP
・ジョブをキューに転送 . . . . IPX

3 クライアントソフトのインストール（クライアント）

クライアントに、NetWare5J 添付のクライアントソフトをインストールします。このとき [標準のインストール] を選択すると、NDPS も自動的にインストールされます。

4 プリンタドライバのインストール（クライアント）

クライアントに、使用するプリンタのプリンタドライバをインストールします。インストール方法はプリンタの取扱説明書をご覧ください。

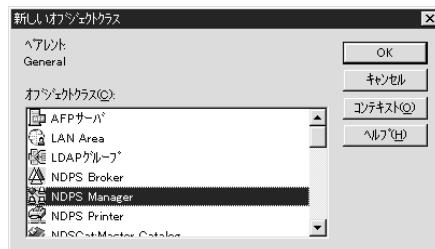
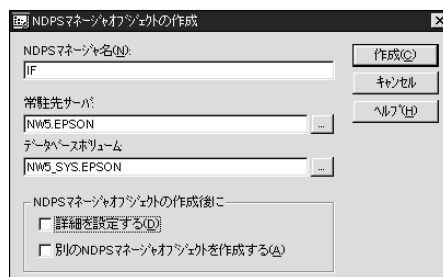
ポイント

・ NetWare サーバ経由でプリンタドライバをインストールしないでください。
・ Novell プリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。

NDPS マネージャの作成

NetWare5J のツール NWADMIN から、NDPS マネージャを作成します。以下の操作はクライアントから行ってください。

NWADMIN の起動
クライアントから、NetWare アドミニストレータ（NWADMN32.EXE）を起動します。

NDPS Manager の設定
① ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの [オブジェクト]-[作成]-[NDPSManager] を選択します。

② [NDPSマネージャ名]、[常駐先サーバ]、[データベースボリューム] を設定したら、[作成] ボタンをクリックして設定を保存します。

NDPS マネージャのロード
NetWare サーバで、NDPS マネージャをロードします。サーバコンソールで次のコマンドを入力し、作成した NDPS マネージャを選択してください。
　>LOAD_NDPSM（_ は半角スペース）

コマンドを常時使用する場合は、AUTOEXEC.NCF に [LOAD_NDPSM_ 識別名付き NDPS マネージャオブジェクト名]（_ は半角スペース）を記述してください。

NDPS プリンタエージェントの作成

続いて、NWADMIN から NDPS プリンタエージェントを作成します。

ポイント

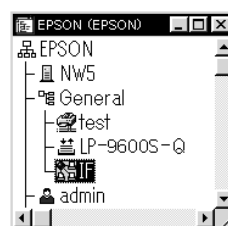
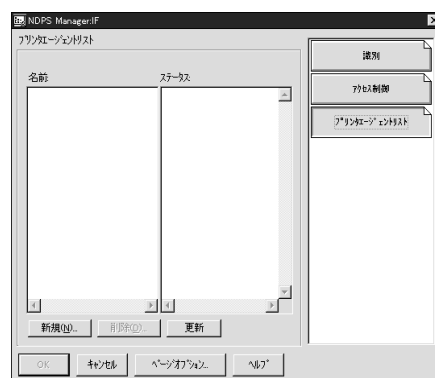
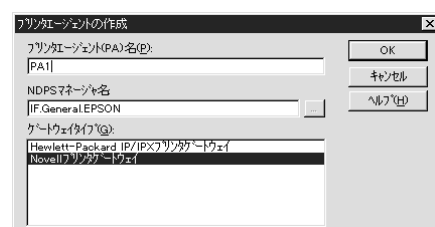
ここでの設定と同じことが、サーバコンソールからも行えます。詳しくは NetWare5J のマニュアルを参照してください。

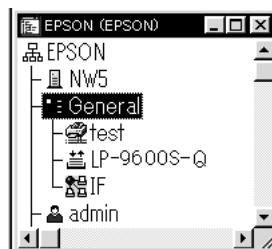
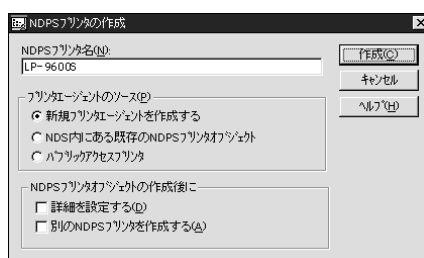
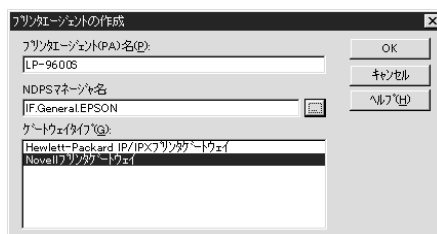
1 プリンタタイプの決定

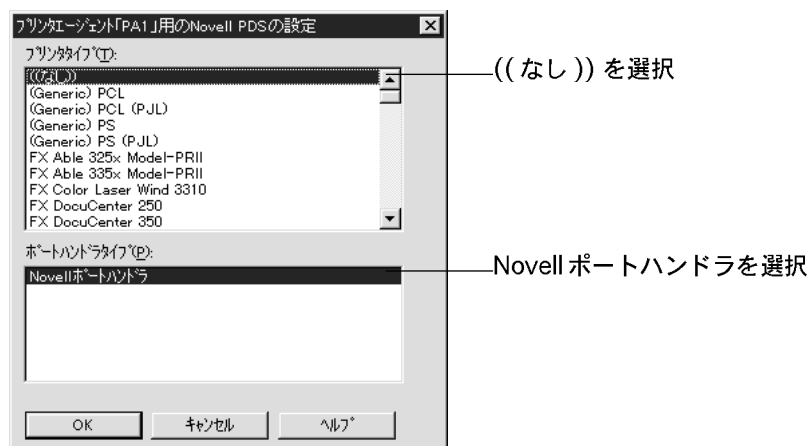
次の 2 種類のプリンタタイプから、使用するタイプを決定します。タイプの詳細は、NetWare5J のマニュアルをご覧ください。

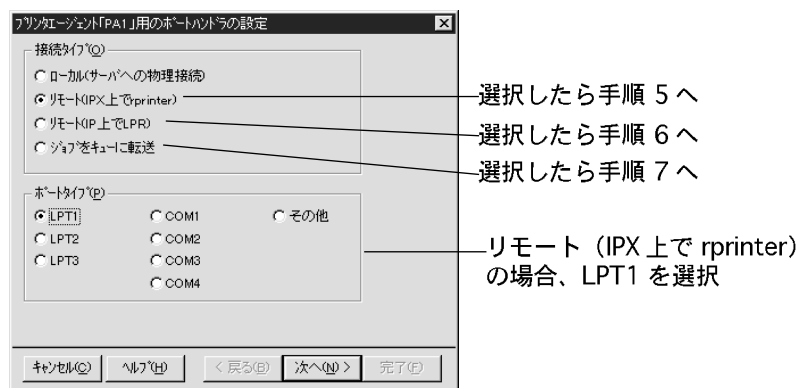
・ パブリックアクセスプリンタ（手順 2 へ）
  この設定にするとネットワーク上の誰もがプリンタを使用できます。ただし NDS オブジェクトとしては登録されないため、セキュリティやイベント通知などのサービスが一部利用できません。
・ コントロールアクセスプリンタ（手順 3 へ）
  NDS オブジェクトとして登録されるプリンタで、セキュリティやイベント通知などのサービスが利用できます。アクセス権のあるユーザだけが利用できます。

2 プリンタエージェントの作成（パブリックアクセスプリンタ）

① 作成した NDPS マネージャを選択し、メニューの [オブジェクト]-[詳細] 画面を起動します。

② [プリンタエージェントリスト] ボタンをクリックして、[新規] ボタンをクリックします。
[新規] ボタンが無効になっている場合は、サーバコンソールで NDPSM をロードしてください。

③ [プリンタエージェント（PA）名] を入力します。
[ゲートウェイタイプ] は [Novell プリンタゲートウェイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。続いて手順 4 へ進みます。

プリンタエージェントの作成（コントロールアクセスプリンタ）

① ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの [オブジェクト]-[作成]-[NDPS Printer] を選択します。

② [NDPS プリンタ名] を入力し、[プリンタエージェントのソース] 欄では [新規プリンタエージェントを作成する] を選択して [作成] ボタンをクリックします。それ以外の項目については、NetWare5J のマニュアルを参照してください。

③[NDPSマネージャ名]では作成したNDPSマネージャを選択します。[ゲートウェイタイプ] は [Novell プリンタゲートウェイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。続いて手順 4 へ進みます。

プリンタタイプと接続タイプの選択

① [プリンタタイプ] と [ポートハンドラタイプ] を選択して [OK] ボタンをクリックします。

② お使いになる接続タイプとポートタイプを選択し [次へ] ボタンをクリックします。ここで選択する [接続タイプ] によって、次の手順へ進んでください。

- [リモート（IPX 上で rprinter）]　: 手順 5 へ
- [リモート（IP 上で LPR）]　: 手順 6 へ
- [ジョブをキューに転送]　: 手順 7 へ

（リモート（IPX 上で rprinter））ポートハンドラの設定

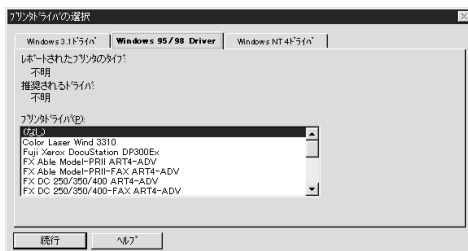
ポイント

ネットワーク I/F のネットワークアドレスと MAC アドレスは、ネットワークステータスシートに印刷されています。

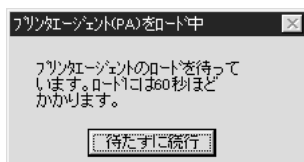
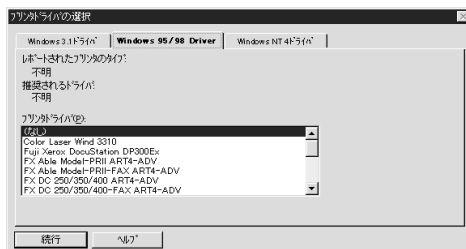
① 次の項目を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

② [割り込み] は [なし] を選択し、[完了] ボタンをクリックします。

③ 次の画面が表示されます。④の画面が表示されるまでお待ちください。

④ [プリンタドライバ] は（なし）を選択します。この後は、手順 8 へ進んでください。

6 （リモート（IP 上で LPR））ポートハンドラの設定

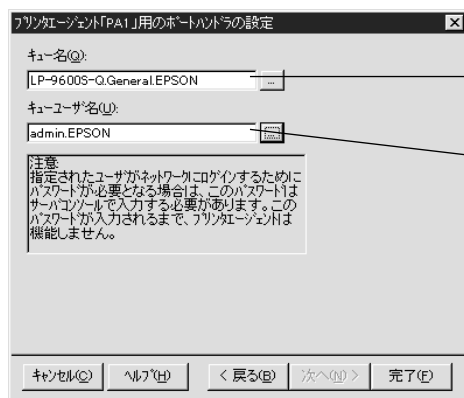
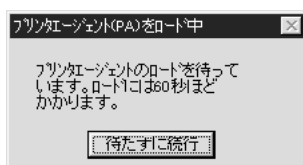
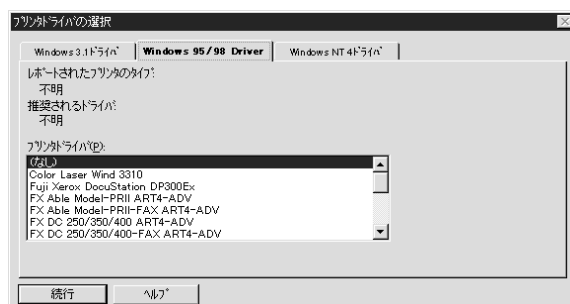
① 次の項目を入力して [完了] ボタンをクリックします。DNS サーバにネットワーク I/F のホスト名を登録してある場合は、[ホスト名] を入力します。[プリンタ名] は図のように初期値のままにしておきます。

② 次の画面が表示されます。③の画面が表示されるまでお待ちください。

③ [プリンタドライバ] は（なし）を選択します。この後は、手順 8 へ進んでください。

（ジョブをキューに転送）ポートハンドラの設定

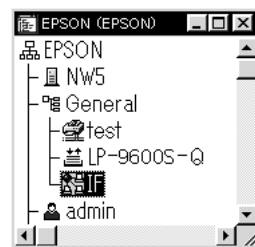
この設定は、すでに作成されているキューで、印刷のできる設定が完了していることを前提としています。印刷環境の設定については「バインダリプリントサーバ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ)」（77 ページ）、「NDS プリントサーバ印刷（NetWare 4.1xJ/5J)」（82 ページ）、「リモートプリンタ印刷（NetWare3.xJ/4.1xJ/5J)」（87 ページ）のいずれかを参照してください。

① [キュー名] と [キューユーザ名] を選択し、[完了] ボタンをクリックします。

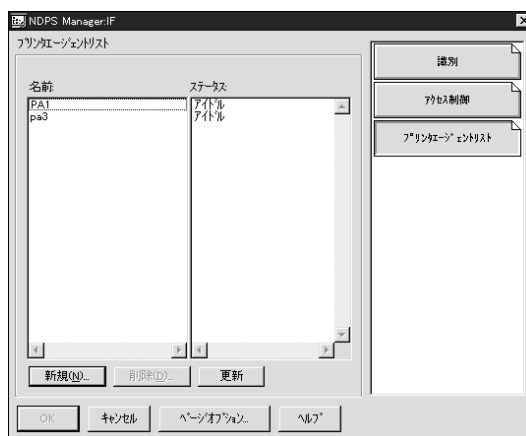
ポイント

[キュー名] にはあらかじめ作成しておいたプリントキュー名を指定します。モードはプリントサーバ、リモートプリンタのどちらでも構いません。

② 次の画面が表示されます。③の画面が表示されるまでお待ちください。

③ [プリンタドライバ] は（なし）を選択します。この後は、手順 8 へ進んでください。

設定の確認

設定した NDPSプリンタエージェントを確認します。

① NWADMINで、作成したNDPSマネージャオブジェクトを選択し、メニュー [オブジェクト]-[詳細] 画面を起動します。

② [プリンタエージェントリスト] ボタンをクリックします。ここで、作成した NDPS プリンタエージェントのステータスが [アイドル] になっていることを確認します。

ポイント

リモート (IPX 上で rprinter) をお使いの場合は、次ページからの設定を行ってから、この画面でステータスが [アイドル] になることを確認してください。

[リモート (IPX 上で rprinter)] の場合は、続いて次ページからの設定を行ってください。
[リモート（IP 上で LPR）]、[ジョブをキューに転送] の場合は、続いて「プリンタ設定（クライアント)」（115 ページ）へ進んでください。

ネットワーク I/F への設定([リモート(IPX 上で rprinter)] 選択時)

リモート(IPX 上で rprinter)の場合は、前ページに続いて EpsonNet WinAssist からネットワーク I/F を設定します。

ポイント

- 次の操作は、[リモート(IPX 上で rprinter)] をお使いの場合のみ設定してください。[リモート(IP上で LPR)]、[ジョブをキューに転送] をお使いの場合は設定不要です。
- 設定を行うコンピュータに、Client32、IntranetWareClient、NovellClient のいずれかをインストールしておいてください。

サーバへのログイン

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにして、設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN 権限のあるユーザでログインします。

EpsonNet WinAssist の起動

① [スタート] メニューのプログラム [EpsonNet WinAssist] をクリックして起動します。

② リスト画面の IPX グループに表示されるプリンタから、設定するプリンタを選択して [設定開始] ボタンをクリックします。

ポイント

- 設定するネットワーク I/F は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます(「ネットワークステータスシートについて」9 ページ参照)。
- ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時の設定(192.168.192.168)の場合、モデル名が表示されないことがあります。
- IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。
- ローカルネットワークの外にあるプリンタは、[ツール] メニューの [探索オプション](133 ページ)で設定すると、表示されます。

NetWare 設定画面の表示

[NetWare] タブをクリックして、ネットワーク I/F の NetWare 情報を設定します。

ポイント

現在ログインしている NetWare の環境とネットワーク I/F に設定してある NetWare 環境が一致しないときは、メッセージが表示されます。メッセージをよくお読みになり、次の操作に移ってください。

基本設定とリモートプリンタ設定

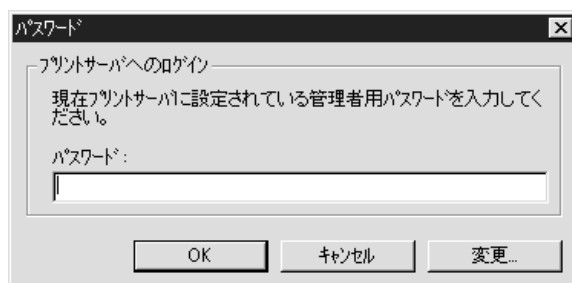
画面の右半分は、[モード] で [リモートプリンタ] を選択すると表示されます。

設定項目	設定内容
基本設定	
モード	動作モードを選択します。[リモートプリンタ] を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 自動を選択してください。自動以外を選択すると、設定エラーになります。
NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
リモートプリンタ	
プライマリプリントサーバ名	108 ページの [SAP 名] と同じ名前を、半角英数 47 文字以内で入力します。
プリンタポート番号	プリンタ番号を、0 ～ 254 の数字で設定します。108 ページの [プリンタ番号] と同じ数字を入力します。

設定の保存

① [OK] ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定内容を保存します。
「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

ポイント

パスワードを初めて設定したり、変更したりするときは、[変更]ボタンをクリックしてください。詳しくは「パスワードについて」(134 ページ)を参照してください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

② その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、[表示] メニューの [最新の情報に更新] をクリックして、設定値を確認してください。

この後は、111 ページの手順 8 を行ってから、次ページへ進んでください。

プリンタ設定（クライアント）

クライアントはプリンタのマニュアルを参照してプリンタドライバをインストールした後、印刷先にプリンタエージェントを指定します。

ポイント

Novell プリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。

① プリンタのマニュアルを参照して、EPSON プリンタドライバをインストールします。

② [プリンタの追加] で印刷先を設定します。次のオブジェクトを出力先に設定してください。

・ パブリックアクセスプリンタの場合
[Ndps パブリックアクセスプリンター] というネットワークグループの下に作成した NDPS プリンタエージェント

・ コントロールアクセスプリンタの場合
NDS ツリー内に作成した NDPS プリンタエージェント

ポイント

ステータスの表示、通知機能については、NetWare のマニュアルを参照してください。

EpsonNet WebAssist からの設定

EpsonNet WinAssist で行うネットワーク I/F の設定は、お手持ちのブラウザから EpsonNet WebAssist を使って行うこともできます。

- EpsonNet WebAssist には、プリントサーバモードでの EpsonNet WinAssist のような、プリントサーバ / キュー / プリンタを新規に作成する機能はありません。EpsonNet WebAssist でオブジェクトを設定するときは、EpsonNet WinAssist や PCONSOLE、NWADMIN で作成済みのオブジェクト名を入力してください。
- お使いのコンピュータに Web ブラウザをインストールしてください（「動作環境」14 ページ参照）。
- EpsonNetWinAssist/MacAssist と EpsonNet WebAssist から、同時に同じネットワーク I/F に対して設定をしないでください。
- コンピュータとネットワーク I/F に TCP/IP が正しく設定されていることを確認してください。
- お使いのブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。
- お使いの Web ブラウザの設定を、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスに対してプロキシを使用しない設定にしてください。

プリンタの起動

ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

EpsonNet WebAssist の起動

EpsonNet WinAssist から起動する方法と、ブラウザから起動する方法があります。

- EpsonNet WinAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して [ブラウザの起動] ボタンをクリックします。
- ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。このとき、EpsonNet WinAssist は起動しないでください。

  書式）　http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /

  例）　http://192.168.100.201/

3 NetWare 基本設定

[NDS コンテキスト] 欄では、半角英数文字（ASCII 文字）のみ使用できます。2 バイト文字は使えません。

メニューの [設定]-[ネットワーク] にある [NetWare] をクリックして、各項目を設定します。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td>NetWare</td><td colspan="2">[Enable] を選択します。
[Disable] は NetWare を使用しない場合や、ダイヤルアップルータで NetWare を [Enable] にしておくと不都合がある場合に選択します。</td></tr>
<tr><td>フレームタイプ</td><td colspan="2">Auto が表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">動作モード</td><td colspan="2">お使いのモードにあわせて選択します。</td></tr>
<tr><th>お使いのモード</th><th>選択する項目</th></tr>
<tr><td>4.1xJ/5J NDS
プリントサーバ</td><td>NDS Print Server</td></tr>
<tr><td>3.xJ/4.1xJ バインダリ
プリントサーバ</td><td>Bindery Print Server</td></tr>
<tr><td>リモートプリンタ</td><td>Remote Printer</td></tr>
<tr><td>NetWare を使用しない</td><td>Standby</td></tr>
<tr><td>NDS ツリー名</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ、ツリー名を半角英数 31 文字以内で入力します。リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
<tr><td>NDS コンテキスト</td><td colspan="2">NDS モードをお使いの場合のみ入力します。
NDS コンテキストを半角英数 255 文字以内で入力します。先頭に「.」は付けないでください。
リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。</td></tr>
</table>

プリントサーバの設定

[動作モード] で [NDS Print Server] または [Bindery Print Server] を選択した場合は、プリントサーバを設定します。

プリントサーバ

プライマリファイルサーバ名	HOST
プリントサーバ名	LP-9600S-XXXXXX
ポーリング間隔(5-90)	5 sec
NetWareパスワード	

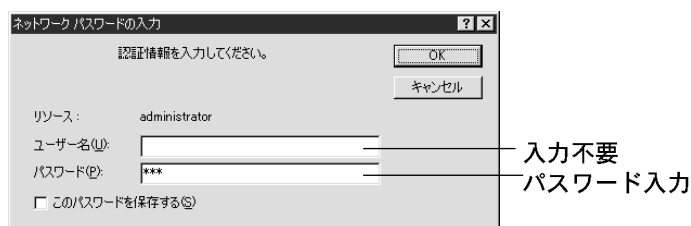
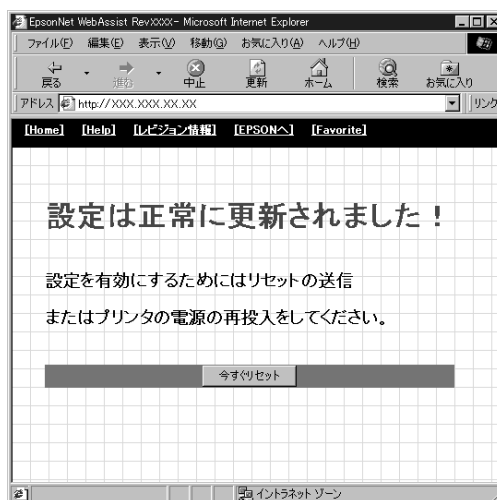
設定項目	設定内容
プライマリファイルサーバ名	[Bindery Print Server] の場合のみ入力します。 プリントサーバがログインするファイルサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。 初期値：プリンタ名 - ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を、5 ～ 90 秒以内で設定します。
NetWare パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で設定します。

リモートプリンタの設定

[動作モード]で[RemotePrinter]を選択した場合は、リモートプリンタを設定します。

設定項目	設定内容
プライマリプリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリンタポート番号	リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

設定の保存

① ［送信］ボタンをクリックしてパスワードを入力し、設定を更新します。
パスワードは、EpsonNetWinAssist/MacAssist/WebAssist で共通です。パスワードの設定方法は「パスワード」（168 ページ）をご覧ください。
工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていませんので、以下の画面は表示されません。

② 「設定は正常に更新されました！」というメッセージが表示されたら、更新は終了です。このメッセージが表示されるまで、Web ブラウザを終了したり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。

③ 設定を有効にするために、画面のメッセージに従ってリセットをしてください。

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップネットワークを使用する場合の注意点を説明します。

ポイント

本文にある「プライマリサーバ」とは、プライマリタイムサーバ（ネットワーク上でワークステーションなどに時間を提供するサーバ）を指します。

各モードでの使用について

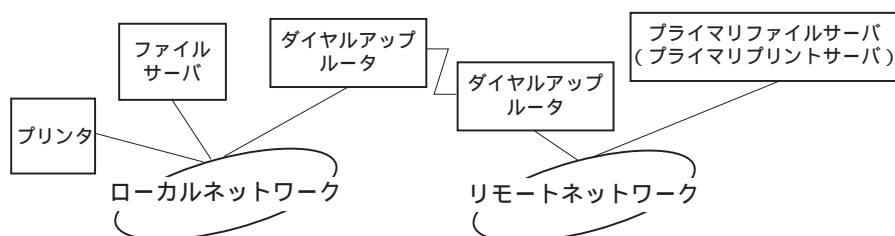
プリントサーバモード

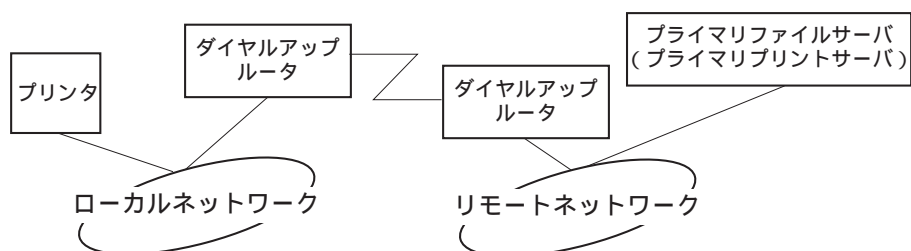
必ず専用線接続で使います。
プリントサーバモードではファイルサーバに対してポーリングを行うため、ルータによる代理応答ができません。このため、ダイヤルアップ接続での使用はできません。

リモートプリンタモード

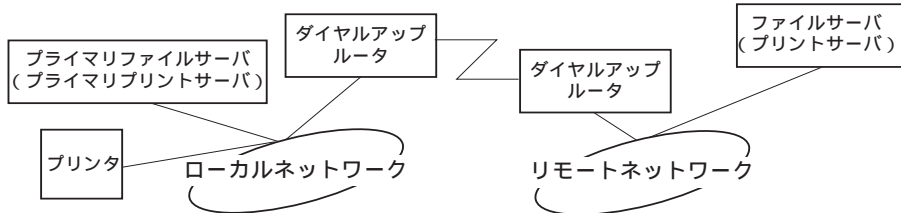
代理応答機能があるルータを使えば、ダイヤルアップ先にプライマリサーバを設置できます。しかし、プライマリサーバがダウンした場合などに不必要なダイヤルアップをしてしまう可能性があるため、ダイヤルアップ専用線接続をお薦めします。
ダイヤルアップ接続をする場合は、次ページからの注意をお読みください。

ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合

ローカルネットワークにファイルサーバがある場合

1. 電源投入時
   ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。
   このダイヤルアップは電源投入時の1回のみで、問題はありません。
2. ネットワークI/Fが正しく設定されていない場合
   ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが約5分間隔で発生します。
   ネットワークI/Fが正しく設定されていないことが原因です。本章にある設定を正しく行うと、この現象は発生しません。
3. 正常動作中（待機）
   NetWareのプロトコル規約により、SPX Watchdogパケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。
4. 正常動作中（印刷）
   印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。
5. 動作中にプライマリサーバがダウンした場合
   定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。これは自動再接続機能が原因です。一度、プリンタの電源をOFFにしてください。
6. ローカルネットワークのファイルサーバがダウンした場合
   ローカルネットワークにファイルサーバがなくなると、ローカルネットワークでNetWareと本ネットワークI/FのNetWareプロトコルが使えなくなります。この状態ではダイヤルアップは発生しません。ローカルネットワークのファイルサーバが復帰すると、本ネットワークI/Fも自動復帰します。

ローカルネットワークにファイルサーバがない場合

ルータの設定によっては、ローカルネットワークにファイルサーバがなくても NetWare プロトコルが使えます。
この場合の注意は、前ページ「ローカルネットワークにファイルサーバがある場合」の 1 から 5 と同様です。前ページをご覧ください。

ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合

本プリンタを設置したネットワークにプライマリサーバを設置しても、構成によっては不必要なダイヤルアップが発生します。
次の注意点は、プリントサーバモード、リモートプリンタモードで共通です。

1. 電源投入時
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
2. 本ネットワーク I/F が正しく設定されていない場合
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。ただし、誤ってリモートネットワークのファイルサーバ / プリントサーバをプライマリサーバとして設定してしまった場合は、意図しないダイヤルアップが発生するので注意が必要です。この章にある設定を正しく行えば、この問題は発生しません。
3. 正常動作中（待機）
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
4. 正常動作中（印刷）
   プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。
5. 動作中にプライマリサーバがダウンした場合
   定期的にプライマリサーバに接続を試みますが、ダイヤルアップは発生しません。ただし、ルータが SAP パケット (Find Nearest Server) を通過させる設定となっていると不必要なダイヤルアップが発生します。一度、本プリンタの電源を OFF にするか、ルータで SAP パケット（Find Nearest Server）を通過させないようにしてください。

第９章

OS/2 印刷

この章では、ネットワークに接続したプリンタを OS/2 Warp3、4(OS/2Warp Connect、OS/2Warp Server を含む) で使用する際の設定方法を説明します。

TCP/IP 印刷 ....126 ページ
NetBEUI 印刷................................128 ページ

対応するシステムは次のとおりです。

- OS/2 Warp 3、4
- Warp 付属の lprportd (TCP/IP)
- プリンタ共有 (NetBEUI)

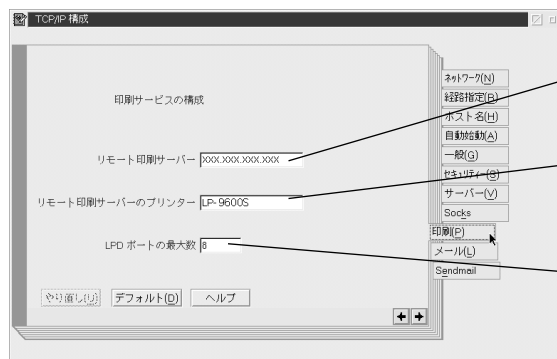
TCP/IP 印刷

ここでは、OS/2Warp に標準でサポートされる lprportd を使用して、TCP/IP 印刷をする方法を説明します。

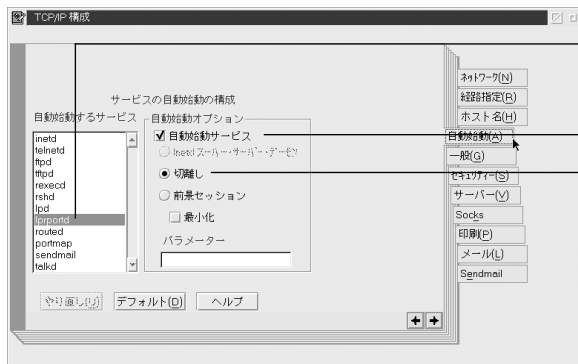
[TCP/IP の構成] 起動

[OS/2 システム] フォルダを起動し、[システム設定] フォルダから [TCP/IP の構成] アイコンを起動します。

[印刷] 画面での設定

[印刷] タブをクリックして、次のように設定します。

ここでプリンタの設定をしても印刷が行えない場合は、[ホスト名] タブをクリックして [ホスト名] 画面での設定をしてください。

[自動始動] 画面での設定

[自動始動] タブをクリックして、次のように設定します。

TCP/IP 構成終了

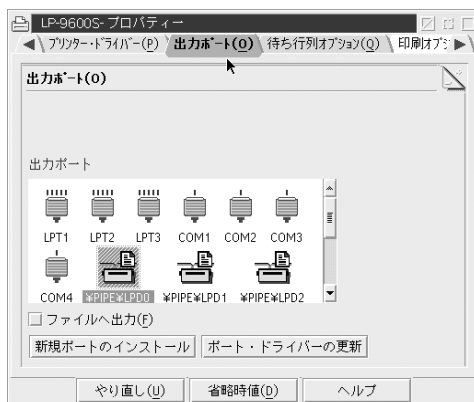
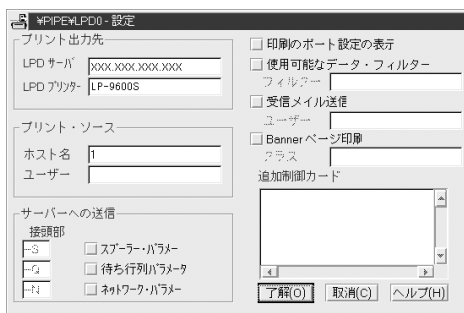
[TCP/IP 構成] を保存して終了し、コンピュータを再起動します。

プリンタの作成

[OS/2 システム] フォルダの [テンプレート] から、[プリンタ] をデスクトップにドラッグして、プリンタを作成します。

ポートの設定

① プリンタアイコンをダブルクリックして、メニューの [プロパティー] 画面にある、[出力ポート] タブをクリックします。

② [出力ポート] 欄で [¥¥PIPE¥LPD0] ～ [¥¥PIPE¥LPDn](n は LPD ポートの最大数) のどれかを選択し、ダブルクリックします。

③ [¥PIPE¥LPD －設定] 画面が表示されます。
[LPD サーバ] 欄にネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。[LPD プリンター] 欄に手順 2 で登録したプリンタ名を入力します。

④ プリンタ設定を終了し、プリンタアイコンを閉じます。これで設定は終了です。

NetBEUI 印刷

プリンタの設定を行います。

OS/2 NETBIOS の確認

設定するコンピュータに、[IBM OS/2 NETBIOS] が組み込まれていることを確認します。詳しくは OS/2 のマニュアルを参照してください。

プリンタ作成

① プリンタを作成します。

② 目的のプリンタをダブルクリックして、[プロパティー] 画面にある [出力ポート] タブをクリックします。

③ 出力ポートを選択します。

net use コマンド実行

DOS プロンプトから次のコマンドを実行して、プリンタに接続します。

書式）net_use_ 出力ポート :_¥¥ ネットワーク I/F の NetBIOS 名 ¥ ネットワーク I/F のデバイス名（_ は半角スペース）

例）　LPT1 に設定したプリンタと接続する場合
>net_use_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

ネットワーク I/F の NetBIOS 名とネットワーク I/F のデバイス名は、ネットワークステータスシートで確認できます。NetBIOS 名とデバイス名を変更する場合は、Windows95/98/NT から EpsonNetWinAssist/WebAssist を使って設定してください。

第 10 章

設定ユーティリティの各機能

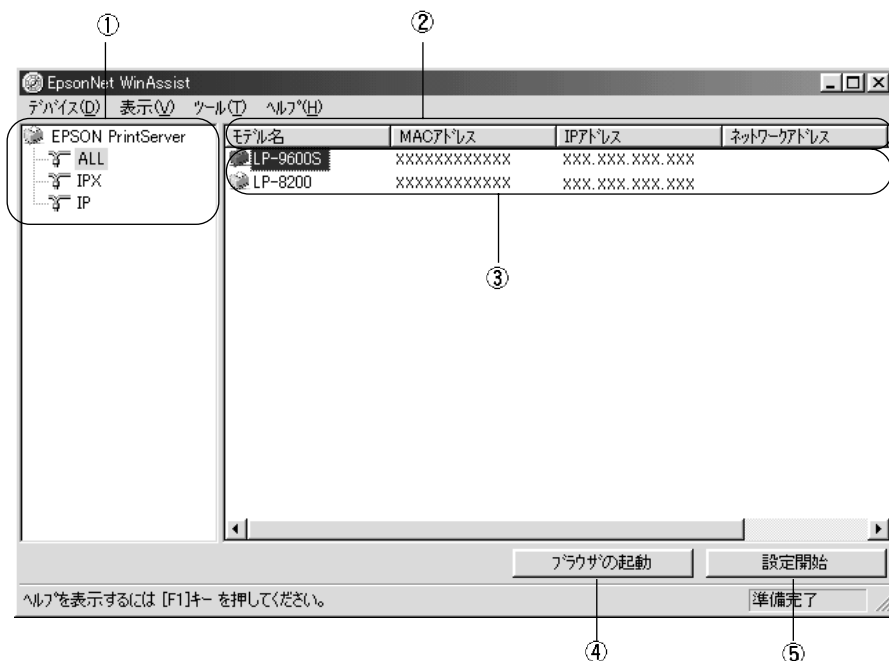
この章では、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssistのオプション機能を含む各機能の概要を説明します。

EpsonNet WinAssist.......................... 130 ページ

EpsonNet MacAssist .... 140 ページ

EpsonNet WebAssist .... 144 ページ

リスト画面とメニュー

リスト画面

項目	説明
①ツリービュー	クリックすると、ツリーごとにネットワーク I/F 情報を表示します。 IPX 欄には、NetWare の通信プロトコルである IPX を使用し、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに管理者の権限でログインしていないと、表示されません。
②項目名	各項目をクリックすると、クリックした項目を元に並べ替えができます。また、項目名ボタンの境界をドラッグすると、各項目の表示領域サイズを調整できます。
③リストビュー	ネットワーク I/F の情報を表示します。
④ [ブラウザの起動]	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動します。
⑤ [設定開始]	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、ネットワーク I/F の設定画面が表示されます。

メニューバー

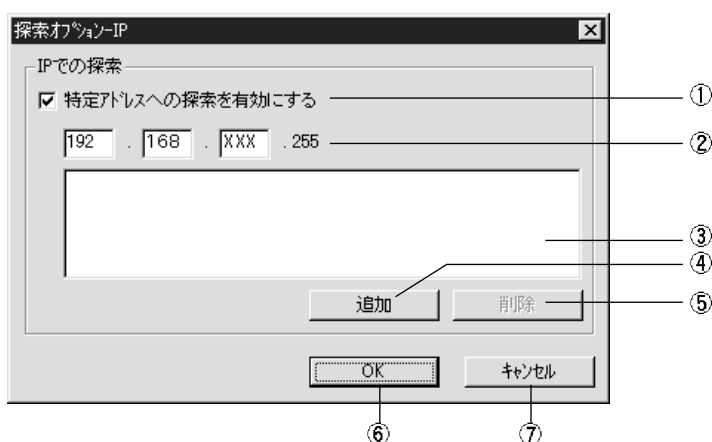
ツールメニューの詳細は、下記以降で説明しています。

項目	説明
デバイス	
設定	選択したネットワーク I/F の設定を開始します。
ブラウザの起動	EpsonNet WebAssist を起動します。
アプリケーションの終了	EpsonNet WinAssist を終了します。
表示	
最新の情報に更新	プリンタの再検索を行い、リスト画面の一覧表示を最新の情報に更新します。
ツール	
タイムアウト設定	ネットワーク I/F とデータを送受信する際のタイムアウト時間を、2 ～ 120 秒の間で設定します。 設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。
探索オプション	IP: IP の探索オプションを設定します。
	IPX: IPX の探索オプションを設定します。
ヘルプ	
トピックの検索	ヘルプを表示します。
レビジョン情報	レビジョン情報と著作権情報を表示します。

ツール - タイムアウト設定

[タイムアウト設定] では、ネットワーク I/F とデータを送受信する際に、通信エラーとするまでのタイムアウト時間を設定します。
2 ～ 120 秒の間で設定します。ここで設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。初期値は 6 秒です。

ツール - 探索オプション -IP

ネットワーク I/F を TCP/IP で管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときには、ここで特定のアドレスを設定すると、設定したセグメントにあるネットワーク I/F が検索されます。
ここで設定し、保存した値は、[表示] メニューの [最新の情報に更新] を実行するか、EpsonNet WinAssist を再起動したときに有効になります。

項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	ルータを越えたところにあるネットワーク I/F を探索する場合にチェックします。
② IP アドレス	探索する IP アドレスを入力します。(0 ～ 255) ネットワーククラスにより、次のように入力してください。 クラス A:[入力].[255].[255].[255] クラス B:[入力].[入力].[255].[255] クラス C:[入力].[入力].[入力].[255]
③ IP アドレス一覧	登録済みの IP アドレスを表示します。
④ [追加]	②で IP アドレスを入力したらクリックして追加します。最大 20 個登録できます。 ローカルアドレスの追加は行わないでください。
⑤ [削除]	使わないアドレスを㈫で選択してクリックし、削除します。
⑥ [OK]	設定を保存します。
⑦ [キャンセル]	設定を取り消します。

クラスについて
IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられます。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされています。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決められます。ネットワーク管理者にお聞きください。

ツール - 探索オプション -IPX

ネットワーク I/F を IPX（NetWare）で管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときには、ここでネットワーク I/F のネットワークアドレスを設定します。
ここで設定し、保存した値は、[表示] メニューの [最新の情報に更新] を実行するか、EpsonNet WinAssist を再起動したときに有効になります。

ポイント

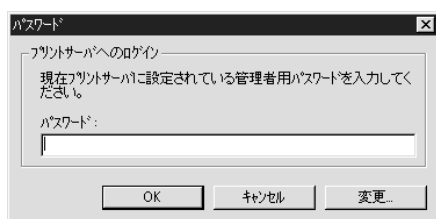
- IPX の探索は、NetWare サーバに管理者の権限でログインしている場合に、行うことができます。
- ネットワークアドレスは、ネットワークステータスシートの [NetWare] 欄にある [IPX Network Node] をご覧ください。
- ダイヤルアップネットワークをお使いの場合、探索しないアドレスを探索アドレスに登録したままにしておくと、余分な課金が発生するおそれがありますので、ご注意ください。

項目	説明
①特定アドレスへの探索を有効にする	特定のアドレスを検索する場合にチェックします。
②ネットワークアドレス一覧	現在のネットワークアドレスを表示します。
③ [追加]	ネットワークアドレス一覧でアドレスを選択してクリックすると追加されます（最大 256 個登録可能）。
④ [削除]	探索アドレスから使わなくなったアドレスを選択してクリックすると削除されます。
⑤ 探索アドレス	探索するネットワークアドレスを表示します。
⑥ [OK]	設定を保存します。
⑦ [キャンセル]	設定を取り消します。

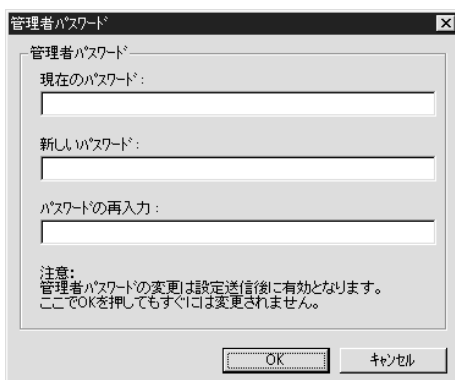
設定画面

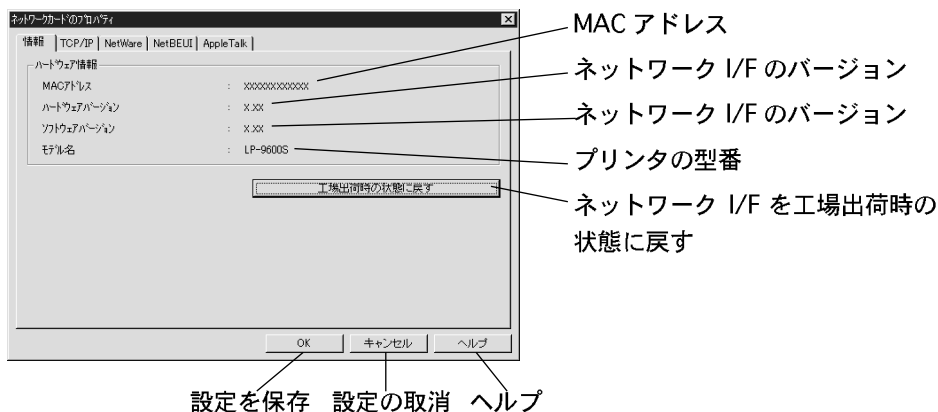
パスワードについて

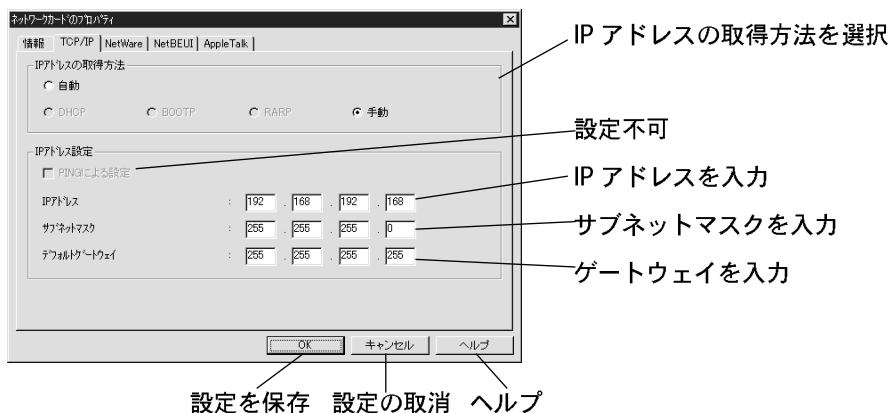
EpsonNet WinAssist では、ネットワーク I/F の設定を保護するためのパスワードを設定できます。各設定画面で [OK] をクリックしたり、情報画面で [工場出荷時の状態に戻す] をクリックすると、次の画面が表示されます。

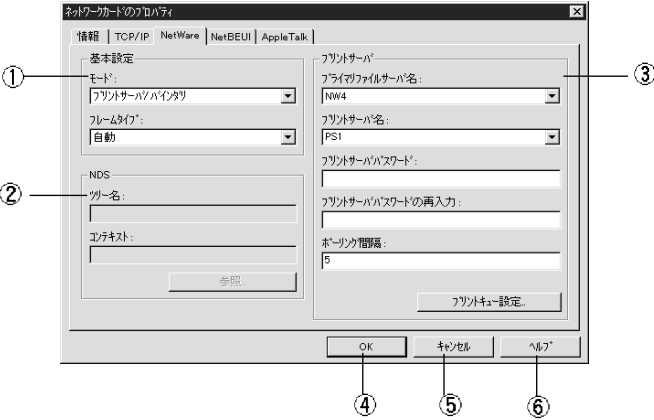
① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、[変更] ボタンをクリックします。
初めてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

② [変更] ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、[OK] をクリックします。大文字小文字は区別されます。

ポイント

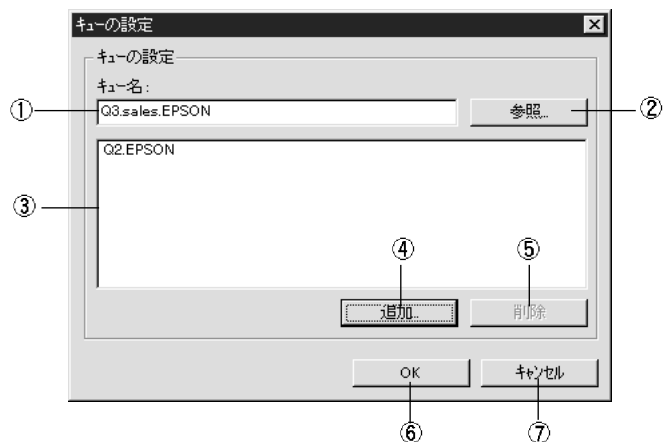
- パスワードは、EpsonNetWinAssist/MacAssist/WebAssist で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- 新しいパスワードは、①の [パスワード] 画面で [OK] ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者パスワード] 画面で設定した直後は、[パスワード] 画面で [現在のパスワード] を入力してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「ネットワーク I/F の初期化」（185 ページ）を参照してください。

情報

この画面には、ネットワーク I/F の設定状態が表示されます。

TCP/IP

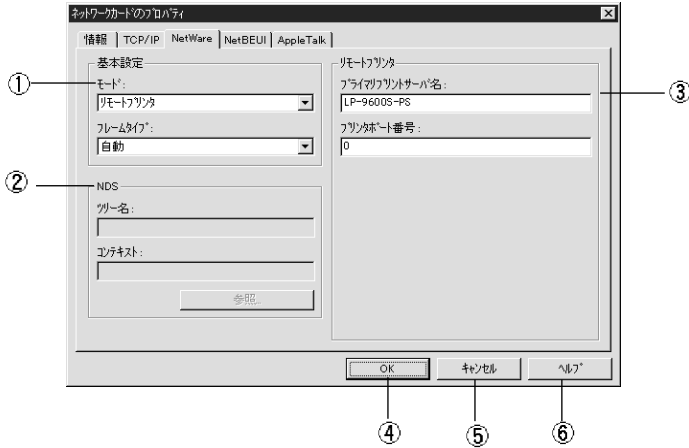
ネットワーク I/F の TCP/IP 情報を設定します。詳しくは「第 4 章 TCP/IP の設定」（19 ページ）をご覧ください。

NetWare- プリントサーバ

NetWare をプリントサーバで使う場合、この画面で設定します。詳しくは「第 8 章 NetWare 印刷」(73 ページ) をご覧ください。
画面は、バインダリプリントサーバモードの場合です。

項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。必ず [自動] を選択してください。
② NDS	
ツリー名	NDS ツリー名を設定します。
コンテキスト	NDS コンテキストを設定します。
[参照]	NDS コンテキストを選択できます。
③プリントサーバ	
プライマリ ファイルサーバ名	プリントサーバがログインするサーバを選択します。 NDS モードの場合は設定不要です。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択または入力します。
プリントサーバ パスワード	プリントサーバへログインするためのパスワードを入力します。
プリントサーバ パスワードの再入力	プリントサーバパスワードを再入力します。
ポーリング間隔	ポーリング間隔を設定します。
[プリントキュー設定]	キューの設定をします。
④ [OK]	設定を保存します。
⑤ [キャンセル]	設定を取り消します。
⑥ [ヘルプ]	ヘルプを表示します。

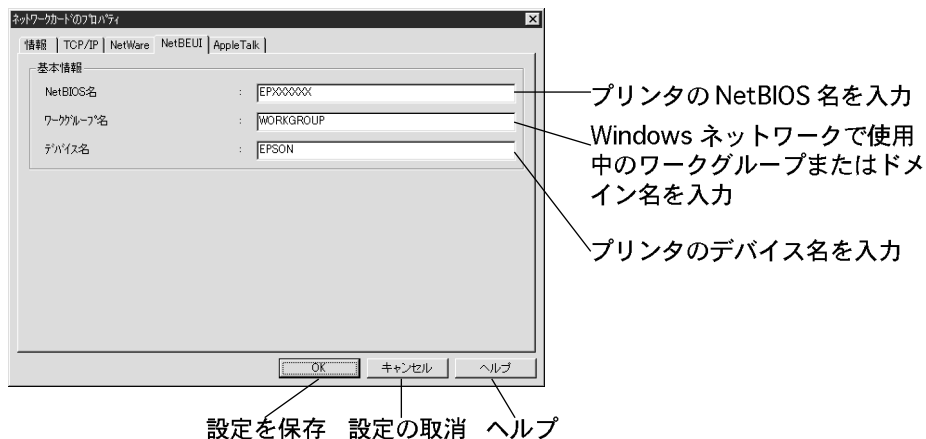
NetWare- プリントサーバ - キューの設定

プリントサーバ設定で［プリントキュー設定］ボタンをクリックした場合、この画面で設定します。詳しくは「第 8 章　NetWare 印刷」（73 ページ）をご覧ください。

項目	説明
①キュー名	割り当てるキューを表示します。
②［参照］	キューの選択、作成、削除をします。
③キュー一覧	キューの一覧を表示します。
④［追加］	割り当てるキューを追加します。
⑤［削除］	キューの割り当てを解除します。
⑥［OK］	設定を保存します。
⑦［キャンセル］	設定を取り消します。

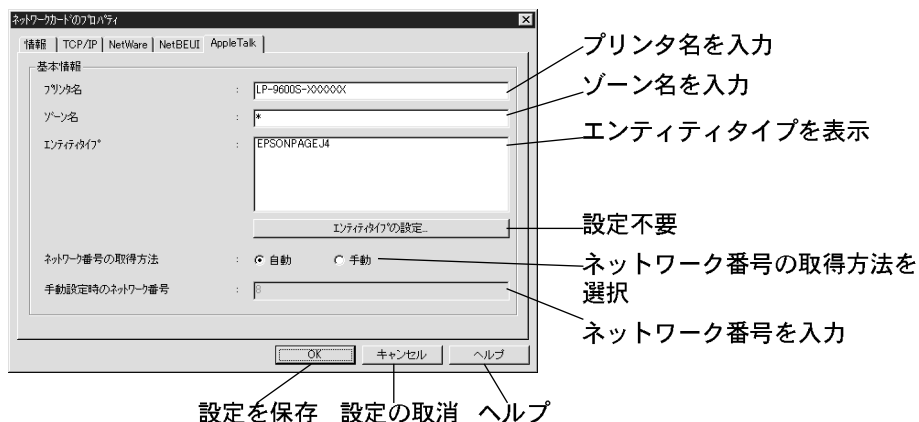
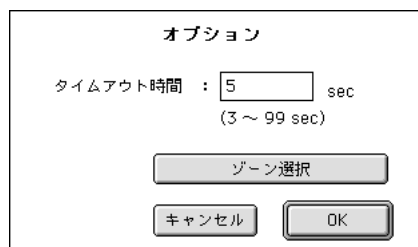
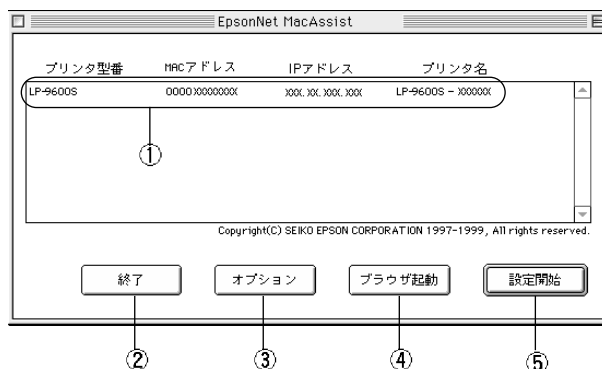
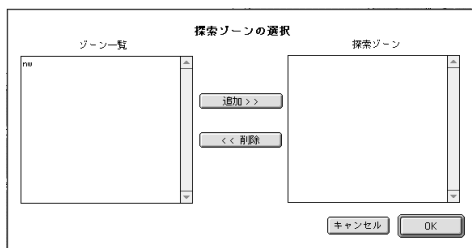
NetWare- リモートプリンタ

NetWare をリモートプリンタで使う場合、この画面で設定します。詳しくは「第 8 章 NetWare 印刷」(73 ページ) をご覧ください。

項目	説明
①基本設定	
モード	動作モードを選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。必ず [自動] を選択してください。
② NDS	
ツリー名	設定は不要です。
コンテキスト	設定は不要です。
③リモートプリンタ	
プライマリ プリントサーバ名	プライマリプリントサーバ名を入力します。
プリンタポート番号	プリンタ番号を入力します。
④ [OK]	設定を保存します。
⑤ [キャンセル]	設定を取り消します。
⑥ [ヘルプ]	ヘルプを表示します。

NetBEUI

NetBEUI を設定します。詳しくは「第 5 章　Windows95/98 印刷」（37 ページ）「第 6 章　WindowsNT 印刷」（49 ページ）をご覧ください。

AppleTalk

AppleTalk の設定をします。詳しくは「第 7 章　AppleTalk 印刷」（63 ページ）をご覧ください。

EpsonNet MacAssist

リスト画面とオプション

リスト画面

項目	説明
①リストビュー	ネットワーク I/F の情報を表示します。
② [終了]	EpsonNet MacAssist を終了します。
③ [オプション]	2 つの機能があります。詳しくは次ページをご覧ください。
④ [ブラウザ起動]	このボタンは無効です。
⑤ [設定開始]	リストでプリンタを選択してこのボタンをクリックすると、ネットワーク I/F の設定画面が表示されます。

オプション - タイムアウト時間

リスト画面で [オプション] ボタンをクリックすると表示されます。
EpsonNet MacAssist で 1 ゾーンあたりの通信に使用するタイムアウトのベース時間を、3 ～ 99 秒の間で設定します。初期値は 5 です。
ここでの設定は、EpsonNetMacAssist を再起動したときに有効になります。

オプション - ゾーン選択

上のオプション画面で [ゾーン選択] ボタンをクリックすると表示されます。
お使いのコンピュータのゾーン外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときは、ここでゾーンを追加すると、そのゾーンについても検索されます。ここでの設定は、EpsonNet MacAssist を再起動したときに有効になります。

ゾーン名は最大 2000 まで表示されます。

検索したいゾーンを追加するときは、[ゾーン一覧] でゾーンを選択して
[追加]ボタンをクリックします。検索が不要になったゾーンは、[探索ゾーン] で選択して [削除] ボタンをクリックします。[OK] をクリックして、設定を保存します。

設定画面

パスワードについて

EpsonNet MacAssist では、ネットワーク I/F の設定を保護するためのパスワードを設定できます。設定画面で [送信] をクリックしたり、[工場出荷時状態に戻す] をクリックすると、次の画面が表示されます。

① はじめてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、[変更] ボタンをクリックします。
はじめてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

② [変更] ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、[OK] をクリックします。大文字小文字は区別されます。

・ パスワードは、EpsonNetWinAssist/MacAssist/WebAssist で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
・ 新しいパスワードは、①の [パスワード] 画面で [OK] ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。[管理者用パスワード] 画面で設定した直後は、[パスワード] 画面で [現在のパスワード] を入力してください。
・ パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す必要があります。工場出荷時の設定に戻す方法は、「ネットワーク I/F の初期化」(185 ページ) を参照してください。

設定画面

IP アドレスの設定と AppleTalk の設定を行います。詳しくは「第 4 章 TCP/IP の設定」、「第 7 章 AppleTalk 印刷」をご覧ください。

項目	説明
① IP アドレスの設定	
IP アドレスの取得方法	IP アドレスの取得方法を選択します。
IP アドレス	IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。
② AppleTalk の設定	
プリンタ名	プリンタ名を入力します。
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプを表示します。
ゾーン名	AppleTalk のゾーンを選択します。
ネットワーク番号の取得方法	AppleTalk のネットワーク番号の設定方法を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	ネットワーク番号を入力します。
③ [工場出荷時状態に戻す]	ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻します。
④ [キャンセル]	設定を取り消します。
⑤ [送信]	設定を更新します。

オープニング画面

インデックス、インターフェイスカード情報

インターフェイスカード情報は、メニューの [情報]-[ネットワーク] の [基本情報] からも確認できます。
インターフェイスカード情報では、ネットワーク I/F の情報と、プリンタの状態を表示します。

- MAC アドレスは、ネットワークステータスシートでも確認できます。
- プリンタステータスは自動的には更新されません。現在のステータスを知りたいときは、[ステータス更新] ボタンをクリックして最新の情報に更新してください。

オープニング画面へ
レビジョン情報へ
[管理者情報] で設定されたリンク先へ
HELP へ
ホームページ「I Love EPSON」へ

EpsonNet WebAssist Rev.XXXX- Microsoft Internet Explorer
[Home] [Help] [レビジョン情報] [EPSONへ] [Favorite]

インターフェイスカード情報

項目	値	説明
管理者名		ネットワーク I/F の管理者名
インターフェイスカード型番	Built-in	ネットワーク I/F の型番
MACアドレス	00:00:XX:XX:XX:XX	ネットワーク I/FのMACアドレス
ハードウェアバージョン	1	ネットワーク I/F のバージョン
ソフトウェアバージョン	XXX	ネットワーク I/F のバージョン
モデル名	LP-9600S	プリンタモデル名

印刷可能または印刷中 — プリンタの状態を表示

緑.... 印刷可能または印刷中

黄.... ・紙残量少
・トナー残量少
・警告

赤.... ・紙詰まり
・紙なし
・トナーなし
・カバーオープン
・オフライン
・エラー

ステータス更新 — プリンタの最新状態を表示

メニュー

情報
- プリンタ
  - デバイス情報
  - 消耗品
  - 給紙
  - 印刷
  - プリンタモード
  - インターフェイス
- ネットワーク
  - 基本情報
  - NetWare
  - TCP/IP
  - AppleTalk
  - NetBEUI
  - SNMP

設定
- プリンタ
  - 給紙
  - 印刷
  - プリンタモード
  - インターフェイス
- ネットワーク
  - NetWare
  - TCP/IP
  - AppleTalk
  - NetBEUI
  - SNMP
- オプション
  - 管理者情報
  - リセット
  - パスワード

情報 - プリンタ	
デバイス情報	プリンタの情報を表示します。
消耗品	消耗品の状態を表示します。
給紙	給紙装置の状態を表示します。
印刷	共通環境、印刷書式、デバイス環境、排紙情報を表示します。
プリンタモード	プリンタが動作するモードを表示します。
インターフェイス	インターフェイスの情報を表示します。

情報 - ネットワーク	
基本情報	ネットワーク I/F の情報とプリンタの状態を表示します。
NetWare	NetWare の情報を表示します。
TCP/IP	TCP/IP の情報を表示します。
AppleTalk	AppleTalk の情報を表示します。
NetBEUI	NetBEUI の情報を表示します。
SNMP	SNMP の情報を表示します。

設定 - プリンタ	
給紙	給紙装置を設定します。
印刷	共通環境、印刷書式、デバイス環境、排紙情報を設定します。
プリンタモード	プリンタが動作するモードを設定します。
インターフェイス	インターフェイス環境を設定します。

設定 - ネットワーク	
NetWare	NetWare を設定します。
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
NetBEUI	NetBEUI を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。

設定 - オプション	
管理者情報	管理者名と、このページからリンクする任意の URL を設定します。
リセット	ネットワーク I/F のリセットおよび工場出荷時設定をします。
パスワード	ネットワークの設定を保護するために、パスワードを設定します。

情報 - プリンタ

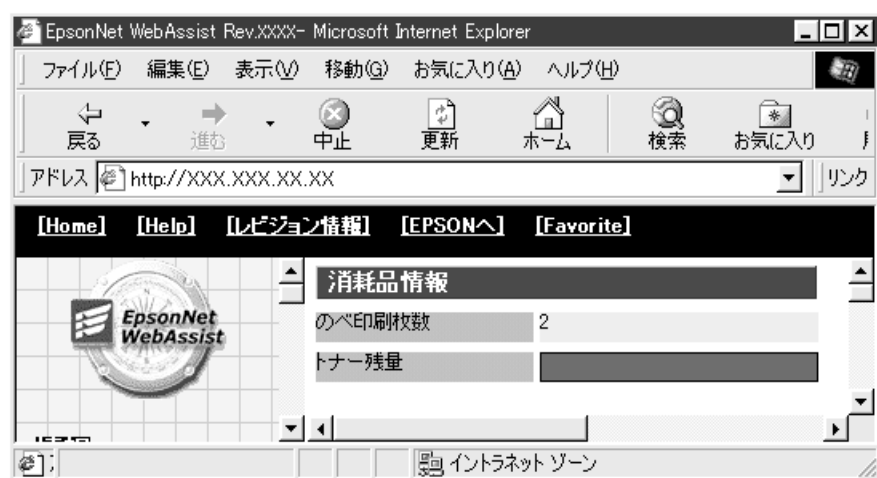
プリンタ情報の画面について説明します。画面を起動する際、セキュリティ警告が表示されます。

デバイス情報

デバイスの情報を表示します。プリンタの状態、エラー情報、デバイスの情報を表示します。

項目	内容
画面上部	
信号	プリンタの状態を表示します。 緑　印刷可能または印刷中 黄　・紙残量少　・トナー残量少　・警告 赤　・紙詰まり　・紙なし　・カバーオープン ・オフライン　・エラー
プリンタイメージ	プリンタイメージを表示します。
エラー情報	エラー情報を表示します。
デバイス情報	
モデル名	プリンタのモデル名を表示します。
IP ホスト名	プリンタのホスト名を表示します。
IP アドレス	プリンタの IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	プリンタの MAC アドレスを表示します。
メモリ容量	プリンタのメモリ容量を表示します。
HDD 容量	プリンタにオプションのハードディスクが装着されている場合、その容量を表示します。

消耗品

プリンタに搭載された、トナーなどの消耗品の状態を表示します。

項目	内容
のべ印刷枚数	プリンタを購入してから現在にいたるまでに印刷した累計枚数を表示します。
トナー残量	ET カートリッジ内のトナーの残量を表示します。

給紙、印刷、プリンタモード、インターフェイス

これらの項目の詳細については、以下のページを参照してください。

「設定 - プリンタ」148 ページ

情報 - ネットワーク

「基本情報」以外は、「設定 - ネットワーク」163 ページと同様です。
基本情報については、「オープニング画面」144 ページを参照してください。

設定 - プリンタ

プリンタの設定画面について説明します。

給紙

各給紙装置の用紙サイズと用紙タイプを設定します。

設定項目	設定内容
トレイ用紙サイズ	用紙トレイにセットした用紙サイズを指定します。
カセット 1/2/3/4/ 5 用紙サイズ	カセット 1/2/3/4/5 の用紙サイズが表示されます。
トレイ用紙タイプ	給紙装置ごとに、異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、用紙トレイにセットする用紙の種類に合わせて指定します。
カセット 1/2 用紙タイプ	給紙装置ごとに、異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、用紙カセット 1、用紙カセット 2 にセットする用紙の種類に合わせて指定します。
カセット 3/4/5 用 紙タイプ	給紙装置ごとに、異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、オプションの大容量給紙ユニットの用紙カセット 3 ～ 5 にセットする用紙の種類に合わせて指定します。
[設定]	設定を保存します。
[リセット]	設定前の値に戻します。

印刷

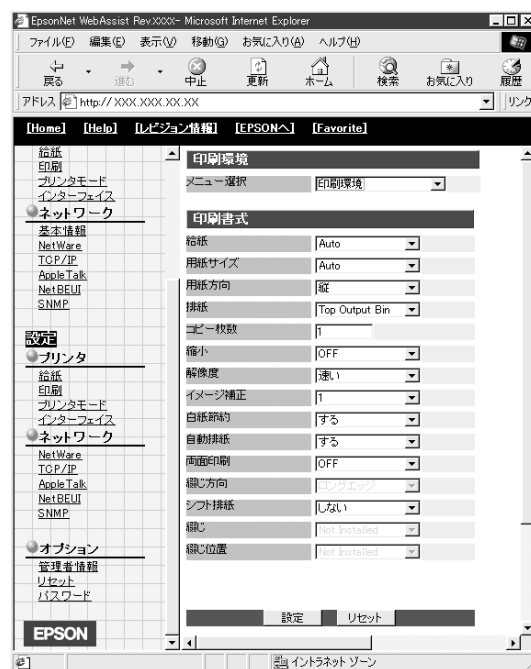
プリンタの共通環境、印刷書式、デバイス環境を設定します。オプションの排紙装置を取り付けた場合は、排紙情報も設定できます。

・共通環境

設定項目	設定内容
メニュー選択	共通環境を選択します。
共通環境	
I/F 切り替え	本項目は表示のみで、設定変更はできません。
I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。
節電	頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間が経過すると節電状態になります。 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始までしばらく時間がかかります。
表示言語	ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。

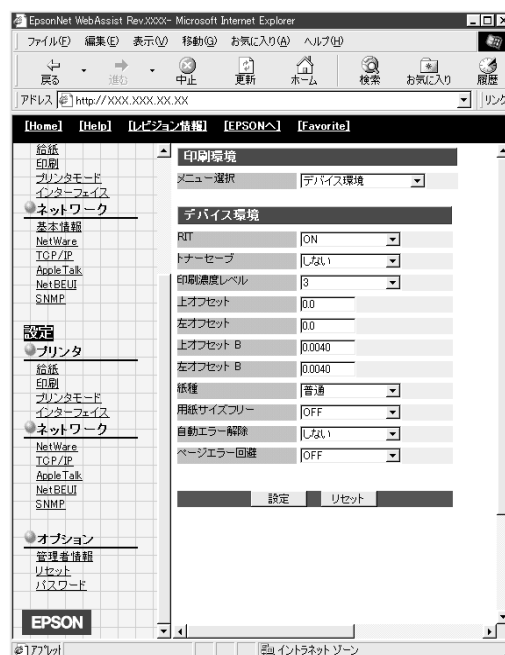
設定項目	設定内容
パネルロック	プリンタの操作パネルのロックを設定します。[する] を選択すると、操作パネルからの設定変更が無効になります。
フェイスアップトレイ	オプションのフェイスアップトレイを装着した場合、[あり] に設定します。
マルチビン	オプションの 10 ビンマルチビンユニットを装着している場合、どのように使うかを指定します。
スタッカ	10 ビンマルチビンユニットやステープルスタッカを大容量モードで使用するとき、ビンがいっぱいになったときにフェイスダウントレイへ排紙するかどうかを選択します。マルチビンの設定が大容量の場合か、ステープルスタッカの装着時に選択できます。
[設定]	設定を保存します。
[リセット]	設定前の値に戻します。

フェイスアップトレイ、マルチビン、スタッカの設定を変更した場合は、設定を有効にするために、オプションメニューの [リセット] で、プリンタをリセットしてください。

・印刷書式

［給紙］と［排紙］では、表示される名前が次のように、パネル表示とは異なります。

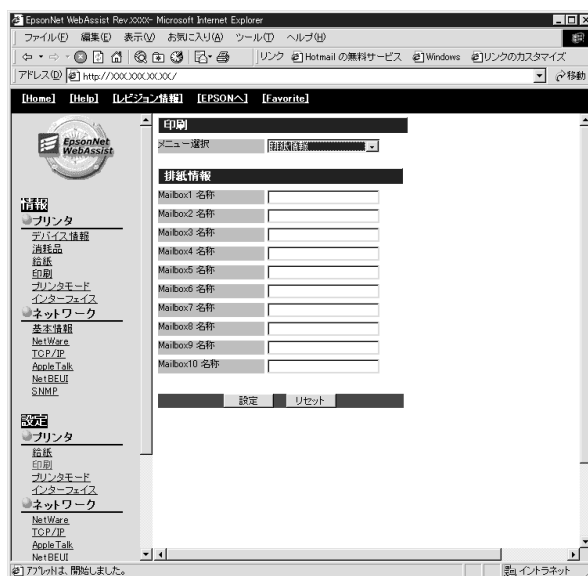
トレイ→MP TRAY
FD →Top Output Bin
カセット1～5→LC1～5

設定項目	設定内容
メニュー選択	印刷環境を選択します。
印刷書式	
給紙	給紙方法を選択します。
用紙サイズ	アプリケーションソフトで作成した書類（これから印刷する書類）の用紙のサイズを設定します。
用紙方向	用紙方向を選択します。[縦] のとき、用紙の長辺を縦方向として印刷します。[横] のとき、用紙の長辺を横方向として印刷します。
排紙	排紙装置を指定します。オプションの排紙装置を装着していない場合、排紙装置は Top Output Bin のみになります。
コピー枚数	同じデータを複数枚印刷する場合に、印刷する枚数を設定します。印刷するデータが何ページもある場合、ここで設定した枚数を印刷した後、次のページのデータを印刷します。
縮小	印刷データを約 80% に縮小して印刷します。
解像度	印刷の解像度を選択します。
イメージ補正	イメージデータ補正方式を選択します。
白紙節約	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH 等）が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
自動排紙	印刷データによっては、最後に排紙コマンドを送らないものがあります。そのような場合、この自動排紙を行う設定にしておくことにより、I/F タイムアウトで設定した時間、プリンタが次のデータを受信しなかった場合に、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
両面印刷	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合、両面印刷をするかしないかを設定します。
綴じ方向	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合、両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。 両面印刷が ON に設定されている時に、選択できます。 とじしろは、[デバイス環境] の各オフセットで設定します。
シフト排紙	フェイスダウントレイまたはステープルスタッカのシフト機能を使用するかしないかを選択します。 シフト機能を使用すると、1 つの印刷ジョブごとに、用紙を左右にずらして排紙します。
綴じ	オプションのステープルスタッカを装着している場合に表示されます。ステープルで綴じるか綴じないかを設定します。 綴じる場合は、何箇所で綴じるかを選択します。
綴じ位置	オプションのステープルスタッカを装着している場合に、ステープルで綴じる位置を指示します。綴じがシングルまたはダブルに設定されている時に、選択できます。実際に綴じる位置は、[用紙サイズ]、[用紙方向]、[綴じ] の設定によって異なります。
[設定]	設定を保存します。
[リセット]	設定前の値に戻します。

・デバイス環境

設定項目	設定内容
メニュー選択	デバイス環境を選択します。
デバイス環境	
RIT	線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能のON/OFF を選択します。
トナーセーブ	トナーの消費量を削減します。トナーセーブを行うと、文字の輪郭内の黒ベタ領域をハーフトーンにし、輪郭部分（右、下）にエッジを付加します。
印刷濃度レベル	印刷濃度を調整します。
上オフセット	用紙の上端に対して、印刷の開始位置を、-30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
左オフセット	用紙の左端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。

設定項目	設定内容
上オフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に、用紙裏面の上端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
左オフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に、用紙裏面の左端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
紙種	紙の種類を選択します。
用紙サイズフリー	「ヨウシコウカン xxxxx yyyy」のエラーを表示するかしないかを設定します。エラーについては、ユーザーズガイド「困ったときは」を参照してください。
自動エラー解除	エラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
ページエラー回避	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷するとき、印刷動作に対し画像データ作成が追いつかないため、ページエラーと表示される可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷の所要時間が長くなりますので、通常の使用では OFF に設定し、ページエラーが発生するときだけ ON に設定します。
[設定]	設定を保存します。
[リセット]	設定前の値に戻します。

・排紙情報

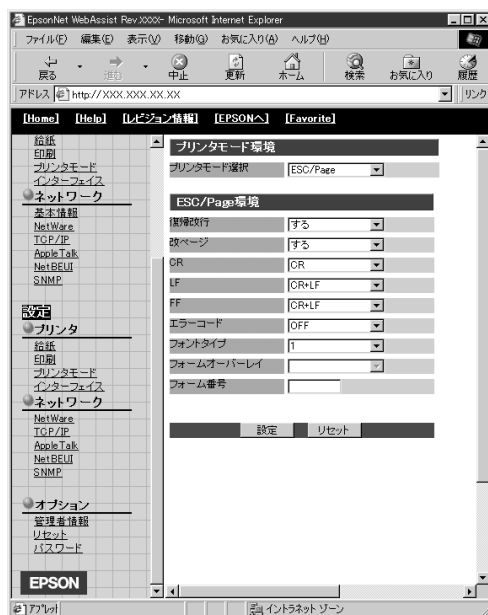
この画面は、10 ビンマルチビンユニットを装着し、メールボックスモードで使用している場合にのみ表示されます。

設定項目	設定内要
メニュー選択	排紙情報を選択します。
排紙情報	
Mailbox1 ～ 10 名称	各排紙装置の名称を半角 24 文字以内または全角 12 文字以内で設定します。
[設定]	設定を保存します。
[リセット]	設定前の値に戻します。

プリンタモード

各プリンタモードの、印刷動作環境を設定します。それぞれにあったプリンタモードを選択し、設定してください。設定できるプリンタモードは、機種により異なります。

ポイント

EP-GL は、オプションの EP-GL モジュールが装着されている場合にのみ表示されます。

・ESC/Page

設定項目	設定内容
ESC/Page	
復帰改行	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に復帰改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
改ページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷を続けるかを選択します。
CR	CR（復帰）の動作を選択します。
LF	LF（改行）の動作を選択します。
FF	FF（改ページ）の動作を選択します。
エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
フォームオーバーレイ	フォームオーバーレイを実行する / しないを選択します。オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。
フォーム番号	実行するフォームオーバーレイの番号を選択します。フォームデータが書き込まれたフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着されている場合に表示されます（オプション装着時）。
[設定]	設定を保存します。
[リセット]	設定前の値に戻します。

・ESC/PS

EpsonNet WebAssist Rev.XXXX- Microsoft Internet Explorer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 移動(G) お気に入り(A) ヘルプ(H)
戻る
進む
中止
更新
ホーム
検索
お気に入り
履歴
アドレス
http://XXX.XXX.XX.XX
リンク
[Home] [Help] [レビジョン情報] [EPSONへ] [Favorite]
給紙
印刷
プリンタモード
インターフェイス
ネットワーク
基本情報
NetWare
TCP/IP
AppleTalk
NetBEUI
SNMP
設定
プリンタ
給紙
印刷
プリンタモード
インターフェイス
ネットワーク
NetWare
TCP/IP
AppleTalk
NetBEUI
SNMP
オプション
管理者情報
リセット
パスワード
EPSON
プリンタモード環境
プリンタモード選択
ESC/PS
ESC/PS環境
連続紙
OFF
文字コード
カタカナ
給紙位置
8.5mm
各国文字
日本
ゼロ
0
用紙位置
左
右マージン
用紙幅
漢字書体
明朝
設定
リセット
開いてい
イントラネット ゾーン

設定項目	設定内容
ESC/PS	
連続紙	・ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 ・連続紙用の印刷データを、単票用紙（カット紙）に縮小して印刷するかどうかを選択します。
文字コード	・ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 ・英数カナ文字コードを切り替えます。
給紙位置	・ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 ・用紙の印刷開始位置を選択します。
各国文字	・ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 ・英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
ゼロ	・ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 ・英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
用紙位置	・ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 ・横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定で PC-PR201H、シートフィーダを使用したときには、「チュウオウ」を選択してください。 なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
右マージン	・ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 ・右マージンを選択します。
漢字書体	・ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 ・漢字に使用する書体を選択します。
[設定]	設定を保存します。
[リセット]	設定前の値に戻します。

・EP-GL

設定項目	設定内容
EP-GL	
コマンドモード	動作モードの切り替えをします。
漢字書体	文字出力で漢字文字セットが選択された場合に、代替文字セットとして出力する漢字フォントを設定します。 オプションフォントROMモジュールの装着有無により、選択項目が異なります。
原点位置	デフォルト座標系の座標原点位置を選択します。
回転角	デフォルト座標系の用紙に対する回転角を選択します。
ミラー	ミラーイメージを作成するかどうかを指定します。ONでミラーイメージを作成します。
自動スケーリング	A0/A1/A2/A3/A4/B1/B2/B3/B4では自動スケーリングでの元データの用紙サイズを、IPではIPスケーリングを選択します。 OFFの場合、任意スケーリングの設定がOFF以外であれば任意スケーリングに、OFFであればスケーリング処理は行いません。
任意スケーリング	A0/A1/A2/A3/A4/B1/B2/B3/B4では任意スケーリングでの元データの用紙サイズを選択します。 この設定は、自動スケーリングの設定がOFFの場合のみ有効です。

設定項目	設定内容
任意倍率	自動スケーリングの設定が OFF、任意スケーリングの設定が OFF 以外のとき、任意スケーリングで選択された用紙サイズの画像は、この設定の拡大あるいは縮小率でスケーリングされます。
横補正	主走査方向のスケーリングの補正を行います。原点位置を固定としてこのスケーリング係数分の補正を行います。
縦補正	副走査方向のスケーリングの補正を行います。原点位置を固定としてこのスケーリング係数分の補正を行います。
ペンモード	ペン修飾機能を選択します。
ペン 1 幅～ペン 8 幅	SP コマンドで選択される 8 本のペンの太さ（幅）を設定します。設定値は、ペンモードの設定が固定 2、補正のときに参照されます。
ペン 1 濃度～ペン 8 濃度	SP コマンドで選択される 8 本のペンのグレー濃度を設定します。100% が黒で、以下値が小さいほど明度が高くなります。0% の設定は、ペン無しを意味します。 設定値は、ペンモードの設定が固定 2、補正のときに参照されます。
線終端	線終端部の形状を指定します。
線接合	線接合部の形状を指定します。
マイター長	線接合の設定をマイター、あるいはマイターレベルとした場合、この値に線幅を乗じた長さをマイターリミットとして扱います。
オーバーレイ	ON の場合、パネルの排紙スイッチ以外では排紙しない設定です。 ただし、I/F 切り替え時、タイムアウト時には、この設定値にかかわらず、有効印字データがあれば排紙します。
SP 排紙	SP コマンド、またはデバイス制御コマンド ESC.R、ESC.K（デバイス制御命令が有効な場合のみ）により、排紙を行うかどうかを設定します。
カルーゼル番号	OT コマンド（現在のカルーゼル・タイプとストール占有状態の出力）のカルーゼル・タイプとして返答する値を指定します。
分割印刷	分割印刷の元データの用紙サイズを指定します。
分割時クリップ	分割印刷時、印字可能領域外へクリップアウトする領域を指定します。
[設定]	設定を保存します。
[リセット]	設定前の値に戻します。

インターフェイス

プリンタのインターフェイスを設定します。パラレルインターフェイス設定、ネットワークインターフェイス設定、オプションインターフェイス設定ができます。
IP アドレスなどの設定は、ネットワーク設定の画面から行ってください。

設定項目	設定内容
パラレルインターフェイス設定	
ACK 幅	パラレルインターフェイスの ACK 信号のパルス幅を選択します。
双方向指定	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE1284 準拠）のモード設定を行います。
受信バッファサイズ	受信バッファを設定します。
ネットワークインターフェイス設定	
受信バッファサイズ	受信バッファを設定します。
オプションインターフェイス設定	
受信バッファサイズ	受信バッファを設定します。
[設定]	設定を保存します。
[リセット]	設定前の値に戻します。

設定 - ネットワーク

詳しくは、第 4 章〜第 8 章をご覧ください。

NetWare

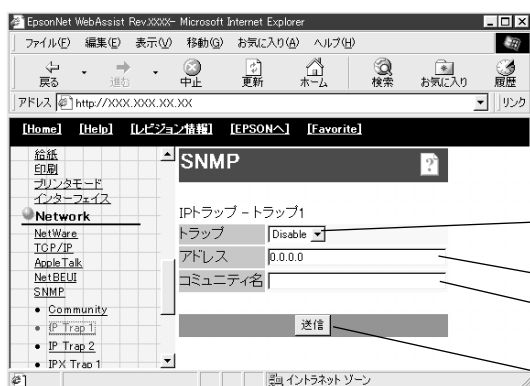
TCP/IP

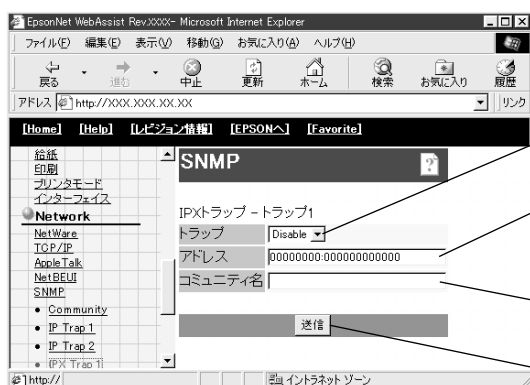
AppleTalk

NetBEUI

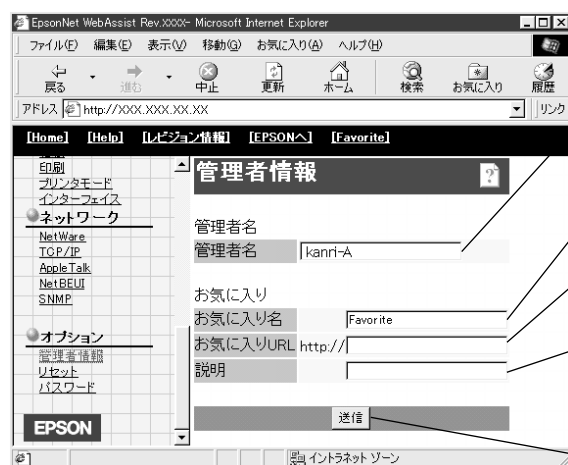
SNMP

SNMP コミュニティやトラップ情報の設定ができます。

SNMP- コミュニティ

SNMP- IP トラップ

SNMP- IPX トラップ

設定 - オプション

管理者情報

ネットワーク I/F の管理者名を設定できます。また、よく使う任意の URL を設定すると、インデックスの [Favorite（名前は変更可能）] からリンクすることができます。パスワードを設定してある場合は、パスワードの入力が必要です。

ネットワーク I/F の管理者名を、半角英数 128 文字以内または全角 64 文字以内で入力

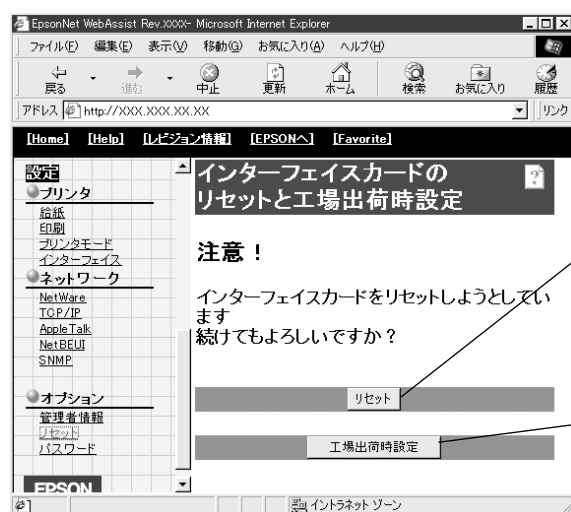
リンク名を半角英数20文字以内または全角 10 文字以内で入力

リンクしたいURLを半角英数64文字以内で入力。ftp: へのリンクは不可。

リンク先の説明を半角英数64文字または全角 32 文字以内で入力。入力した内容は本画面でのみ表示。

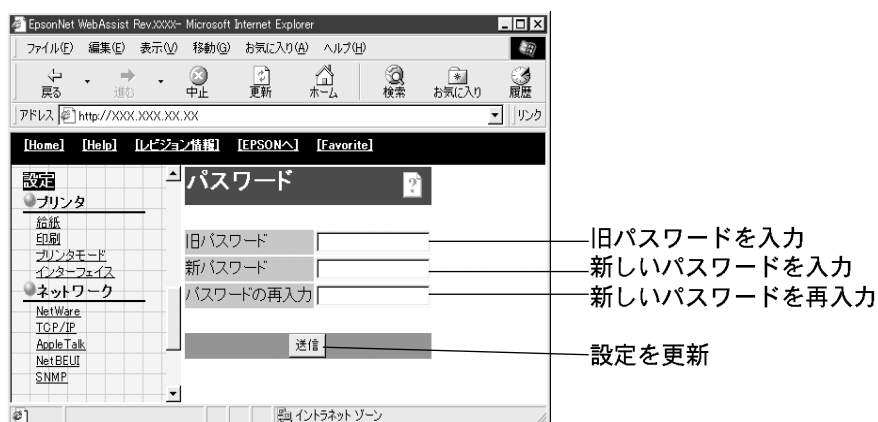
設定を更新

リセット

ネットワーク I/F のリセットおよび工場出荷時設定をします。
終了のメッセージが表示されたら、更新は完了です。

ネットワークI/Fの設定を有効にする。各設定の終了画面 [今すぐリセット] をクリックするか、プリンタの電源を再投入した場合は、ここでのリセットは不要。

ネットワークI/Fを含むすべての設定を工場出荷時の設定に戻す。

パスワード

パスワードはネットワーク I/F の設定内容を保護するためのものです。ここで設定したパスワードは、設定画面を開くときや、設定を保存するときに使います。
半角英数 20 文字以内で入力します（大文字・小文字が区別されます）。入力したパスワードは“＊”で表示されます。
はじめてパスワードを設定する場合、パスワードは何も登録されていません。

ポイント

- パスワードは、EpsonNetWinAssist/MacAssist/WebAssist で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、工場出荷時設定を行う以外に復帰させる方法はありません。工場出荷時設定は、[エラー解除] スイッチを押しながらプリンタの電源をオンにすると行えます。これにより、ネットワーク I/F 以外の設定もすべて工場出荷時設定に戻ります。ご注意ください。

第 11 章

EpsonNet WebManager について

この章では、ネットワークデバイスを Web ブラウザで管理するユーティリティ、EpsonNet WebManager について説明します。

はじめに .... 170 ページ
インストール .... 177 ページ
EpsonNet WebManager の起動........... 178 ページ
EpsonNet WebManager の削除........... 181 ページ

はじめに

EpsonNet WebManager について

EpsonNet WebManager は次のような特長を持つユーティリティです。

- EpsonNet WebManager は、ネットワークデバイス管理用のユーティリティソフトです。
  ネットワーク上に接続されているプリンタと、プリンタに装着されているネットワーク I/F を探索し、現在どのような状態にあるかを確認したり、設定を変更したりできます。
  また、複数のデバイスをまとめて管理するために、グループごとに分類することもできます。
- EpsonNet WebManager は、ネットワークの管理を行う方が使用してください。
  ネットワーク管理者は、Web ブラウザで EpsonNet WebManager をインストールしたコンピュータにアクセスすることで、ネットワーク上のデバイス管理が可能になります。
- EpsonNet WebManager は Web ブラウザ上で動作します。このため Windows、Macintosh といったマルチプラットフォームに対応しています。
  ただし、EpsonNet WebManager 自体のインストールは、Windows95/98/NT4.0/NT3.51 でのみ行えます。
- EpsonNet WebManager は、172 ページに示す EPSON 製プリンタの他にも、プリンタ MIB 対応の他社製プリンタを管理できます。
  ただし、他社製プリンタの場合、一部の情報の表示や設定ができない場合があります。

動作環境

EpsonNet WebManager は次の環境で動作します。

- EpsonNet WebManager を使う前に、使用するコンピュータとプリンタがネットワークに接続され、必要な設定が済んでいることを確認してください。ネットワーク環境設定の詳細は、第 1 章〜第 10 章を参照してください。
- EpsonNet WebManager は Web ブラウザ上で動作します。Web ブラウザを使用するには、お使いのコンピュータに TCP/IP を組み込む必要があります。TCP/IP の組み込みについては、「TCP/IP の組み込み」（20 ページ）を参照してください。また、どのコンピュータに、EpsonNetWebManager を使うための環境設定をするかは、「EpsonNet WebManager の使用形態」（176 ページ）を参照してください。

サーバ

EpsonNet WebManager は、ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールします。
EpsonNet WebManager をインストールできるコンピュータは次のとおりです。

コンピュータ

下記の OS が動作可能な IBM PC-AT 互換機
CPU:　Pentium 200MHz 以上
メモリ:64MB 以上
HDD:　空き容量 20MB 以上

OS

- Microsoft WindowsNT4.0/3.51（Intel 版 Server/Workstation）
- Microsoft Windows95/98

本章では、EpsonNet WebManager をインストールするコンピュータをサーバと呼びます。

クライアント

EpsonNet WebManager は、Web ブラウザ上で動作します。
このため、クライアントとして機能するコンピュータが Macintosh であっても、Web ブラウザがインストールされていれば、Web ブラウザ上からサーバにアクセスして使用することができます。EpsonNet WebManager を使用するために必要な Web ブラウザの種類とバージョンについては、Readme.txt ファイルを参照してください。
Readme.txt ファイルは、CD-ROM 中の Enwebm フォルダにあります。

画面の設定は、解像度 1024 × 768、256 色以上でお使いになることをお薦めします。

EpsonNet WebManager で管理できるデバイス

EpsonNet WebManager では、LP-9600S や、以下のデバイスを管理することができます。

ポイント

- 本書での「デバイス」は、プリンタと、プリンタに装着したネットワーク I/F カードを指します。
- デバイスの組み合わせにより、EpsonNetWebManager の一部の機能が使用できない場合があります。詳しくは「使用可能な機能とデバイスの組み合わせ」（174ページ）を参照してください。

プリンタ

EpsonNet WebManager で管理できるプリンタは、次ページに記載のネットワーク I/F でネットワークに接続されている、次のプリンタです。（’99 年 8 月現在）

EPSON 製プリンタ

・ページプリンタ

LP-1700/1700S/1800　LP-8200/8300/8300S/8400/8600
LP-9200/9200S/9200SX　LP-9300/9600/9600S（ネットワークI/F 標準装備）
LP-8000C
LP-8200C/8400FN/8600FN（ネットワーク I/F 標準装備）

・インクジェットプリンタ

EM-900C　EM-900CN（ネットワーク I/F 標準装備）
MJ-910C/930C　MJ-3000C/3000CU/5100C/6000C/8000C
PM-5000C/9000C

・ドットマトリックスプリンタ

VP-1850/2200　VP-4100/4200　VP-5100/5200/6200

上記以外の EPSON 製プリンタについては、次の条件を満たしていれば、EpsonNet WebManager で管理できます。

- 次ページ「ネットワーク I/F」に記載のネットワーク I/F カードが使用可能なプリンタ、またはネットワーク I/F を標準で装備しているプリンタ

ポイント

次の EPSON 製プリンタは、EpsonNetWebManager では管理できません。

- 次ページ「ネットワーク I/F」に記載のネットワーク I/F カードが使用できないプリンタ
- PS プリンタ（PostScript 対応のプリンタ）
- ポストスクリプトサーバ（PS シリーズ）に接続されたプリンタ
- コピーサーバ（CS シリーズ）に接続されたプリンタ

他社製プリンタ

他社製プリンタの場合、プリンタ MIB に対応しているプリンタであれば、原則として EpsonNet WebManager で探索し、一覧に表示させることが可能です。しかし、プリンタやネットワーク I/F の状態や設定の確認、変更はできない場合があります。

ポイント

MIB（ManagementInformationBase）とは、ネットワークに接続されているコンピュータや各種の装置の状態を管理する事を目的として、管理のための情報の構造を定めたものです。

他社製のプリンタであってもプリンタ MIB に対応していれば、EpsonNet WebManager はプリンタ MIB に登録されている情報によって、そのプリンタの管理を行います。

ネットワーク I/F

EpsonNet WebManager で管理可能なネットワーク I/F は次のとおりです。
（’99 年 8 月現在）

- PRIF8S
- PRIF12
- PRIFNW1/2/2AC
- PRIFNW1S/2S/2SAC
- LP-9600S/8200C/8400FN/8600FN/9300/9600、EM-900CN　に標準装備のネットワーク I/F

ポイント

PRIF8S、PRIF12 で使えるのは、状況監視機能のみです。EpsonNetWebManager から、プリンタやネットワーク I/F の設定を変更することはできません。

使用可能な機能とデバイスの組み合わせ

使用可能な機能

EpsonNet WebManager のデバイス管理機能は、大きく分けると次のようになります。
お使いの環境でこれらの機能が使えるかについては、次ページをご覧ください。

- デバイスの探索と一覧表示
  ネットワーク上に接続されているデバイス（プリンタとネットワーク I/F）を探索し、EpsonNet WebManager で一覧を表示します。また各デバイスの現在の状態を表示します。
- デバイス詳細
  EpsonNet WebManager で、ネットワーク上のデバイス設定を変更します。
- ネットワーク設定
  EpsonNet WebManager で、デバイスのネットワーク I/F 設定を変更します。
- グループ管理
  ネットワークに接続されている複数のデバイスをグループごとにまとめて、デバイス管理を行いやすくします。

デバイスの組み合わせ

プリンタとネットワーク I/F の組み合わせによって、次のように一部の機能が使用できない場合があります。

デバイスの組み合わせ		EpsonNet WebManager の機能				
プリンタ	ネットワーク I/F	デバイスの探索と一覧表示	デバイス詳細		ネットワーク設定	グループ管理
			表示	設定		
EPSON 製プリンタ	PRIF8S/12	○	○	×	×	○
EPSON 製プリンタ	PRIFNW1/2/2AC	○	○	×	○	○
EPSON 製プリンタ（プリンタ MIB 未対応）	PRIFNW1S/2S/2SAC	○	○	×	○	○
EPSON 製プリンタ（プリンタ MIB対応）	PRIFNW1S/2S/2SAC	○	○	○	○	○
EPSON 製プリンタ	プリンタに標準装備のネットワーク I/F	○	○	○	○	○
他社製プリンタ（プリンタMIB 対応）	プリンタで使用可能なネットワーク I/F	△	△	△	×	△

△・・・表示、管理のできない場合があります。

ポイント

・EPSON 製プリンタで、プリンタ MIB に対応している機種は次のとおりです。（'99 年 8 月現在）
LP-9600S/8200C/9300/9600　LP-8300F/8400F/8600F
LP-8400FN/8600FN　VP-6200

・EPSON 製プリンタで、ネットワーク I/F を標準装備している機種は次のとおりです。（'99 年 8 月現在）
LP-9600S/8200C/9300/9600　LP-8400FN/8600FN　EM-900CN

・上の表で、「デバイス詳細」が使用可能となっているデバイスでも、プリンタによっては設定できない画面や項目があります。

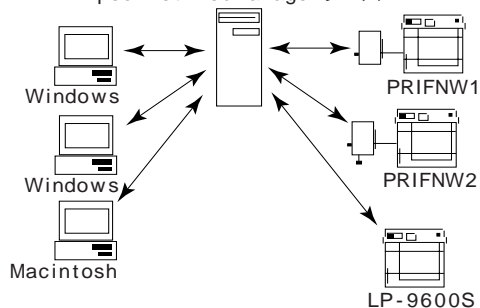
・他社製プリンタ（プリンタ MIB 対応）でも、ネットワーク I/F が HTTPD 機能を持っていれば、「ネットワーク設定」が可能なものもあります。

EpsonNet WebManager の使用形態

EpsonNet WebManager は、ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールし、Web ブラウザ上で使用します。
EpsonNet WebManager の使用形態には次の 2 種類があります。

① EpsonNet WebManager と Web ブラウザを同一コンピュータ上で使用

ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータに、EpsonNet WebManager と Web ブラウザをインストールします。EpsonNet WebManager 専用のサーバを用意する必要はありません。
1 台のコンピュータでネットワーク上のデバイスを管理できます。
サーバとなるコンピュータには、Windows95/98/NT4.0/NT3.51 をお使いください。

② EpsonNet WebManager と Web ブラウザを別のコンピュータ上で使用

EpsonNet WebManager はネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールし、Web ブラウザはクライアントとして動作するコンピュータにインストールします。
クライアントコンピュータから Web ブラウザを起動し、サーバ上の EpsonNet WebManager にアクセスして、EpsonNet WebManager を使用します。
この場合、Windows の他、Macintosh から EpsonNet WebManager を使用して、ネットワーク上のデバイスの管理を行うことができます。
サーバとなるコンピュータには、Windows95/98/NT4.0/NT3.51 をお使いください。

インストール

EpsonNet WebManager は次の手順でインストールします。Windows の画面を例に説明します。

ポイント

EpsonNetWebManager をクライアントでも使用する場合（前ページの②の場合）は、クライアントにサーバの IP アドレスまたはホスト名を知らせてください。この場合、クライアントに EpsonNetWebManager をインストールする必要はありません。

1 環境設定

インストールするコンピュータに、TCP/IP がインストールされ、IP アドレスまたはホスト名が設定されていることを確認します。ホスト名は、Windows ディレクトリで hosts ファイルか Lmhosts ファイル、または DNS サーバに登録します。

2 インストールの開始

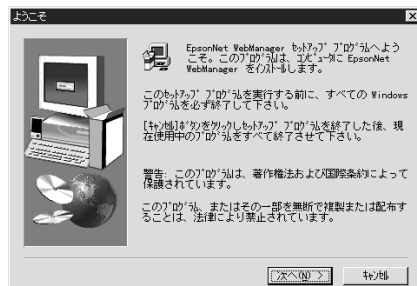
①プリンタドライバ・ユーティリティ CD-ROM をコンピュータにセットします。

ポイント

- WindowsNT3.51 をご利用の場合は、[プログラムマネージャ] を開き [アイコン] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックして以下のコマンドを半角で入力し、[OK] ボタンをクリックします。
  例)D:¥EPSETUP（D ドライブに CD-ROM をセットした場合）
- Windows95/98/NT4.0 をご利用の場合で [EPSON インストールプログラム] が自動的に起動しないときは、マイコンピュータ内の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

② [ネットワークユーティリティのインストール] を選択した後、次の画面が表示されたら、[EpsonNet WebManagerのインストール] をクリックして [次へ] ボタンをクリックします。

3 インストール

[ようこそ] の画面が表示されますので [次へ] ボタンをクリックします。この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

EpsonNet WebManager の起動

起動方法

サーバからの起動

ネットワーク上でサーバとして機能するコンピュータにインストールした場合、サーバからの起動方法は次のとおりです。

Windows95/98/NT4.0

Windows[スタート]メニューの[プログラム]-[EpsonNetWebManager]-[EpsonNet WebManager]をクリックして起動します。

WindowsNT3.51

次項「クライアントからの起動」に記載されている方法で起動します。

上記の方法とは別に、Web ブラウザから起動することもできます。Web ブラウザからの起動方法については、次項「クライアントからの起動」を参照してください。

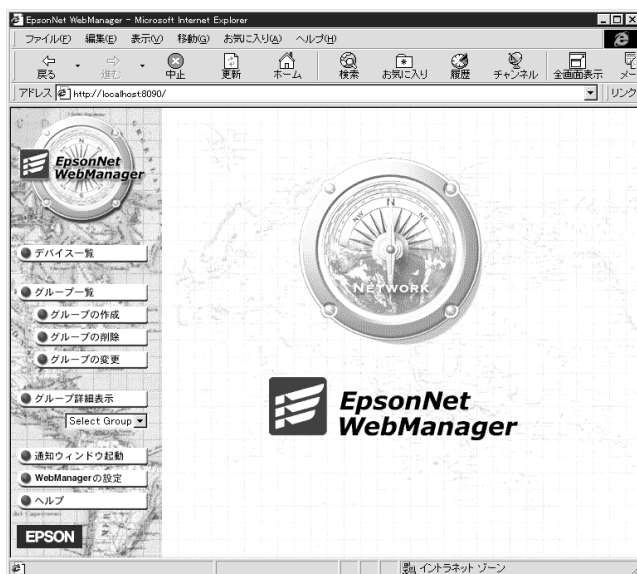
クライアントからの起動

ネットワーク上でクライアントとして機能するコンピュータから EpsonNet WebManager を起動するには、はじめにクライアント上で Web ブラウザを起動し、Web ブラウザからサーバにインストールしたEpsonNetWebManager を起動します。

1 Web ブラウザの起動
クライアント上で、Web ブラウザを起動します。

2 EpsonNet WebManager の起動
Web ブラウザ上で、次の URL を入力します。
書式) http:// サーバの IP アドレスまたはホスト名 :8090
例)　http://192.168.100.201:8090
（サーバの IP アドレスが 192.168.100.201 の場合）

起動時の画面について

EpsonNet WebManager が起動すると、はじめに次の画面が表示されます。

上記の画面で、画面左側に表示されているボタンをクリックすると、各ボタンの項目に対応した画面が表示されます。
上記の画面が表示されたら、はじめに画面左側の［ デバイス一覧 ］ボタンをクリックしてください。次の画面が表示されます。

上記の画面で、画面中央の［ デバイス情報更新 ］ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているデバイスを探索し、デバイスの一覧と各デバイスの状況が画面の下半分に表示されます。

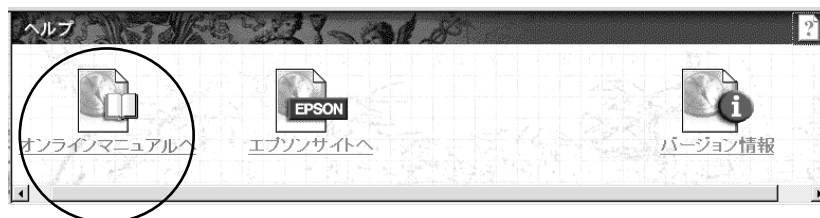
オンラインマニュアルの見方

EpsonNet WebManager の操作方法は、EpsonNet WebManager の [ヘルプ] 画面にある [オンラインマニュアル] をご覧ください。オンラインマニュアルは次の手順で起動します。

1 ヘルプ画面の表示

EpsonNet WebManager を起動して、画面左側のメニューにある [ヘルプ] をクリックします。

2 オンラインマニュアルの表示

次の画面が表示されるので、[オンラインマニュアルへ] をクリックすると、オンラインマニュアルが表示されます。また、EpsonNet WebManager の各設定画面の右上にある [?] ボタンをクリックすると、操作にあったヘルプが表示されます。

EpsonNet WebManager の削除

EpsonNet WebManager の削除は次の手順で行います。

Windows95/98/NT4.0

削除画面の起動

[マイコンピュータ] の [コントロールパネル] にある [アプリケーションの追加と削除] を開きます。

削除

[セットアップと削除] 画面で EpsonNet WebManager を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。

「’EpsonNetWebManager’とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

WindowsNT3.51

削除画面の起動

[EpsonNetWebManager] グループにある [アンインストール] をダブルクリックして起動します。

削除

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。
「アンインストールが完了しました。」と表示されたら終了です。

第 12 章

付録

EpsonNet WinAssist の削除方法などを説明します。

EpsonNet WinAssist の削除 ......184 ページ
ネットワーク I/F の初期化 ....185 ページ
困ったときは ....186 ページ
用語集 ....191 ページ
索引 ....196 ページ

EpsonNet WinAssist の削除

EpsonNet WinAssist の削除は次の手順で行います。

Windows95/98/NT4.0

① [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] を開きます。

② [アプリケーションの追加と削除] を開きます。

③ [セットアップと削除] 画面で [EpsonNet WinAssist] を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。

④「'EpsonNet WinAssist' とそのすべてのコンポーネントを削除しますか？」というメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

WindowsNT3.51

① [EpsonNet WinAssist（共通）] グループにある [アンインストール] をダブルクリックして起動します。

②「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？」というメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

③「アンインストールが完了しました。」と表示されたら終了です。

ネットワーク I/F の初期化

次のような場合は、プリンタの操作パネルからネットワーク I/F の設定を初期化する必要があります。

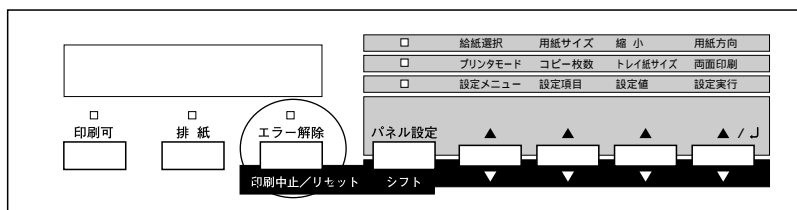
- ネットワーク I/F に誤った操作をしたり、ネットワーク I/F が誤動作をして、ネットワーク I/F が設定ユーティリティに表示されなくなったとき
- 設定ユーティリティのパスワードを忘れてしまったとき

この操作を行うと、ネットワーク I/F の設定だけでなく、操作パネルで設定したすべての値がクリアされます。ご注意ください。

1 プリンタの電源 OFF

設定を初期化したいプリンタの電源をオフにします。

初期化

操作パネルの [エラー解除] スイッチを押しながら、プリンタの電源をオンにします。
[エラー解除] スイッチは、印刷可ランプが点灯するまで押してください。

困ったときは

ここでは、トラブルが発生した時の処置について、各OSごとに説明します。

全OS共通

ネットワークI/Fの設定ができない / ネットワーク印刷ができない

処置)
まず、ネットワークステータスシートが印刷できるかどうかご確認ください。(「ネットワークへの接続」(8ページ)参照)
ネットワークステータスシートの印刷ができない場合(操作パネルで、ネットワークI/F設定項目が表示されない場合)は、プリンタ本体の[I/F キリカエ]が、[ジドウ]もしくは[ネットワーク]になっているか確認してください。ネットワークステータスシートの印刷が可能な場合は、ネットワークステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないかをご確認ください。

設定するIPアドレスが分からない

処置)
IPアドレスは、外部との接続(インターネットへの接続、電子メールなど)を行う際には、JPNIC(http://www.nic.ad.jp/jp/index.html)に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者へご相談ください。
IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行なわないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です(RFC1918で規定されています)。
プライベートアドレス:
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

EpsonNet WinAssistが起動できない

処置)
EpsonNet WinAssistのインストール後に、OS上でプロトコルやサービスの追加、削除を行うと、EpsonNet WinAssistが起動しなくなります。EpsonNet WinAssistをアンインストールし、再度インストールをしてください。

EpsonNet WinAssistの起動時に「TCP/IPプロトコルが利用できません」と表示される

このメッセージは、次のような場合に表示されます。
- コンピュータにTCP/IPが組み込まれていない場合
- コンピュータのIPアドレスが正しく設定されていない場合
- DHCPサーバからアドレスを取得する設定下で、DHCPサーバがない場合

処置)
[OK]ボタンをクリックするとEpsonNet WinAssistが起動しますが、TCP/IPの設定はできません。お使いのコンピュータの状態を確認して、TCP/IPの組み込みとIPアドレスの設定をしてください。設定方法は「第4章 TCP/IPの設定」(19ページ)をご覧ください。

EpsonNet WebAssist が起動できない

処置)
EpsonNet WebAssist を実行するには、まず、プリンタの操作パネルか EpsonNet WinAssist/MacAssist、または ping コマンドを使用して、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定する必要があります（「IP アドレスの設定 / 変更」（25 ページ）参照）。現在の設定は、ネットワークステータスシートの [IP Address] 欄で確認できます。

ARP/PING コマンドでネットワーク I/F の IP アドレスを設定できない

処置 1)
操作パネルの [IP アドレスセッテイ] で、[PING] を選択してください。「ARP/PING コマンドから」（31 ページ）を参照してください。

処置 2)
ping コマンドを実行後、「Reply from （IP address): ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PING コマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

EpsonNet WinAssist の [モデル名] に何も表示されず、[IP アドレス] に [NONE] と表示される

処置 1)
ネットワーク I/F の IP アドレスが初期値（192.168.192.168）の場合、[モデル名] と [IP アドレス] が表示されない場合がありますが、ネットワーク I/F の設定は行えます。ネットワーク I/F の設定を行うと、正しく表示されるようになります。

処置 2)
EpsonNet WinAssist[表示] メニューの [最新の状態に更新] を実行してください。

処置 3)
EpsonNet WinAssist[ツール] メニューの [タイムアウト設定] で、タイムアウト時間を大きい値に設定してください。この場合、EpsonNet WinAssist の動作が遅くなります。ご注意ください。

NetWare 環境

NetWare サーバ経由の印刷で、クライアントでは印刷が終了するが、プリンタから出力されない

処置)
サーバでキュー / プリントサーバのユーザに、印刷を行なおうとしているユーザが登録されているか確認してください。また、NetWare サーバにネットワーク I/F がログインしているかどうか確認してください。

EpsonNet WinAssist が正しく起動しない

処置)
Microsoft の Service for NetWare Directory Service がインストールされているマシンでは、EpsonNet WinAssist での NDS 設定はできません。
NDS サービスをご利用の場合は Novell クライアントサービスをインストールしてください。

EpsonNet WinAssist のリスト画面で、IPX グループにプリンタが表示されない

処置)
次のことを確認してください。
- プリンタの電源がオンになっているか
- ネットワーク I/F が、EpsonNet WinAssist を使用しているコンピュータと同一セグメントにあるか(同一セグメントにない場合は、ツールメニューの探索オプションで設定してください)
- EpsonNet WinAssist を起動するコンピュータから、管理者権限でログインしているか

EpsonNet WinAssist の起動に時間がかかる

コンピュータに Novell クライアントサービスなどをインストールしている場合や、Microsoft 社製 NetWare クライアントをインストールしている場合、ダイヤルアップネットワークに IPX を使用するため、EpsonNet WinAssist の動作が遅くなる場合があります。これらが必要でない場合は、使用しない設定にしてください。

処置)
① [マイコンピュータ]-[コントロールパネル]-[ネットワーク] で、IPX/SPX 互換プロトコルを使用しないネットワークアダプタを選択して、[プロパティ] を起動します。
② [バインド] タブを選択して、使用しない IPX/SPX 互換プロトコルや、Novell NetWare クライアント用プロトコルのチェックを外します。

Macintosh 環境

セレクタにプリンタが表示されない

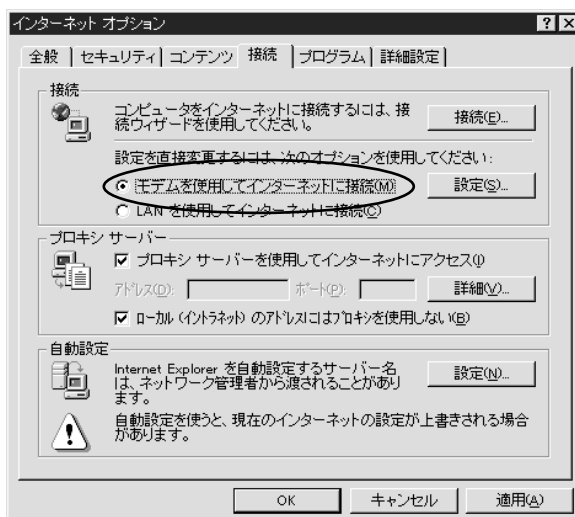
処置)
次のことを確認してください。

- Open Transport 搭載機種の場合：
  コントロールパネルの [AppleTalk] で [Ethernet] が選択されているか
- Open Transport 非搭載機種の場合：
  コントロールパネルの [ネットワーク] で [EtherTalk] が選択されているか

セレクタで AppleTalk が [使用] になっているか、ハブ、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせてご確認ください。

Windows95/98 環境

Windows95/98 から EpsonNet Direct Print を使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置)
インターネットの設定で [起動時にダイヤルアップでインターネットに接続](インターネットエクスプローラ 4.0x の場合は [モデムを使用してインターネットに接続]）が設定されていると、このメッセージの出ることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、この設定を変更しないと Windows 起動後の最初の印刷時には、毎回メッセージが表示されます。
この設定を変更後、インターネットに接続する場合は、再度 [インターネットオプション] で [LAN を使用してインターネットに接続] を選択するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

WindowsNT 環境

NTFS を使用している WindowsNT Server 3.51 経由で、クライアントから TCP/IP 印刷ができない

処置)
WindowsNT Server の ¥¥WINNT35¥SYSTEM32¥SPOOL¥PRINTERS のディレクトリで、アクセス権の設定変更が必要です。詳しくは「LPRPort での接続」(50 ページ)をご覧ください。

WindowsNT Server3.51/4.0 経由で、管理者以外のクライアントから印刷できない

処置)
サーバ上でプリンタのアクセス権リストから、[CreaterOwner] が削除されている場合、もしくは [Creater Owner] の権利が [印刷] か [アクセス権なし] に設定されている場合にこの現象となります。正しく印刷するには、[Creater Owner] の権利を [文書 / ドキュメントの管理] に設定する必要があります。初期設定は [文書 / ドキュメントの管理] です。

用語集

A

AppleTalk

すべての Macintosh に標準で付属する、LAN システムの規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Macintosh の標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP

Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持しているIPアドレスとMACアドレスの対応法を変更する場合にも使う。

D

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS

Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

E

EtherTalk

Macintosh 用の LAN を実現するためのシステムの一つ。Ethernet のケーブルを使って運用する AppleTalk ネットワークのこと。Ethernet インターフェイスを接続し、コントロールパネルで EtherTalk を選択すればよい。

H

HUB

ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

I

IPX

Internetwork Packet Exchange。Novell 社の NetWare のプロトコル。

IP アドレス

IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号 (アドレス) のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター (JPNIC) が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR

Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB

Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP(Simple NetworkManagement Protocol) マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト (管理対象) を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB をもつ。

N

NDPS

Novell Distributed Print Services。米 Novell 社の NetWare が提供する分散プリント機能。NDPS によりプリンタ管理に要するコストの削減や、ネットワークを利用するユーザや管理者の生産性を引き上げることができる。

NDS

Novell Directory Services。米 Novell 社の NetWare4.0 以降に搭載されているディレクトリ・サービス機能。ユーザやサーバ、プリンタなどの共有資源を一元管理できる。各資源はツリー状のネットワーク構造で論理的に配置することができる。

一度 NetWare にログインすれば、それ以降はそれぞれの NetWare サーバにログインすることなく、ネットワーク全体のサーバやプリンタなどが使えるようになる。

NetBEUI

通信プロトコルの 1 つ。ネットワーク・アドレスの設定が不要だが、ルータを越えての使用はできない。

NetBIOS

パソコン・ネットワーク用の通信プロトコルと API の規約。

NetWare

米 Novell が開発したパソコン LAN 用ネットワーク OS。IPX/SPX と呼ぶ独自プロトコルを使用する。

NWADMIN

NetWare 4.x のファイルシステム管理ツール。ネットワーク管理者はツリー内のすべてのオブジェクトを管理できる。オブジェクトの作成、オブジェクトのプロパティの変更、コンテキスト上から別の場所へのコンテキストの移動が行える。また、ファイルシステム、ディレクトリサービスのトラスティ、ツリーにあるすべてのオブジェクトの有効な権利を確認できる。

P

PCONSOLE

NetWare3.x のプリントサービス設定、管理ツール。

PING

TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して ping コマンドを実行し、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

S

SNMP

Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、ハブ、ルーターなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などと言われる。

T

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

エ

エンティティタイプ

オブジェクトのタイプ。これより、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

ケ

ゲートウェイ

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内 LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。

コ

コンテキスト

NetWare の NDS で、ディレクトリツリー内の各オブジェクトの配置を示すもの。会社名、組織名、部門名などの要素から構成される。

サ

サブネットマスク

TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット (255.255.255.0) が標準で使用される。

ソ

ゾーン名

AppleTalk で設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

ツ

ツイストペアケーブル

10BASE-T 規格のケーブル。2 本のケーブルを対にしたものが寄り合わさっている。Ethernet の 10Base-T や電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。

ネ

ネットワーククラス

IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、C の 3 つのクラスに分けられる。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

ハ

バインダリ

NetWare3.x で、ユーザ、グループ、ワークグループなどの構成要素を定義しているデータベース。NetWare4.x 以降は、バインダリの代わりに NDS を使用。

フ

フレームタイプ

ネットワーク上の通信（Workstation ← packet → Client）で、パケットに定義されているもの。サーバがサポートするフレームタイプにあわせて、設定する。

ホ

ポート番号

TCP や UDP が備える機能で、複数アプリケーションを同一コンピュータまたはサーバ上で扱うための仕組み。サーバやパソコンは、インターネットから受信したパケットを、ポート番号によって引き渡すアプリケーションを特定する。

ポーリング

NetWare の、プリンタ環境設定オプションの 1 つ。ポートドライバ（NPRINTER）が定期的にデータポートを確認（ポーリング）し、データポートがプリンタにデータを転送する準備ができているかを調べる。

索引

数字

100BASE-T 2
100BASE-TX 2

A

AppleTalk
... 64, 65, 68, 70, 139, 164
ARP/PING 31

E

EP-GL 160
EPSON_LPR 40
EpsonNet Direct Print 19, 38

EpsonNet MacAssist 28,64
EpsonNet WebAssist
14, 19, 33, 46, 59, 69, 116
EpsonNet WinAssist
28, 44, 57, 67, 77, 82, 99, 112
ESC/Page 156
ESC/PS 158

I

IntranetWare-J 77, 82, 87
IPX トラップ 166
IP アドレス 25, 26, 29, 34
IP アドレスの取得方法
..........................26, 29, 34
IP トラップ 166

L

LPR Port 19, 50
lprportd 19, 126

M

Manual 設定時のネットワーク番号
.... 70

N

NDPS ゲートウェイ 102
NDPS プリンタエージェント 105
NDPS マネージャ 104
NDS 83
NDS コンテキスト 76, 117
NDS ツリー名 117
NET USE 62
NetBEUI
....45, 46, 58, 59, 139, 165
NetBIOS 名 45, 47, 58, 60
NetWare 78, 83, 100,
113, 117, 163
NetWare3.xJ 77, 87
NetWare4.1xJ 77, 82, 87
NetWare5J 82, 87, 102
NetWare パスワード 118
NWADMIN 91, 95

P

PCONSOLE 88, 90
PING による設定 29

S

SNMP 165

T

TCP/IP 29, 135, 164

い

印刷 149
印刷書式 151
インストール 13, 38, 177
インターフェイス 162

え

エンティティタイプ .. 65, 68, 70
エンティティタイプの設定 68

お

オープニング画面 144
オプション 141

か

管理者情報 167

き

キューの設定 137
基本設定 79, 83, 100, 113
給紙 148
共通環境 149

こ

コミュニティ 166
コンテキスト 83
コントロールアクセスプリンタ 106, 115

さ

削除 42, 181, 184
サブネットマスク 29, 34

し

手動設定時のネットワーク番号 65, 68
消耗品 147
情報 135
ジョブをキューに転送 103, 110

す

スプールディレクトリ 54

そ

ゾーン選択 141
ゾーン名 65, 68, 70

た

タイムアウト時間 141
タイムアウト設定 131
ダイヤルアップネットワーク 120
探索オプション -IP 132
探索オプション -IPX 133

つ

ツリー名 83

て

デバイス環境 153
デバイス情報 146
デバイス名 45, 47, 58, 60
デフォルトゲートウェイ.. 29, 34

と

動作モード 117

ね

ネットワーク 番号の取得方法 65, 68
ネットワーク 番号設定 70
ネットワークステータスシート 10

は

排紙情報 155
バインダリ 90
パスワード 134, 142, 168
パブリックアクセスプリンタ 105, 115

ふ

プライマリファイルサーバ名 79, 84, 118
プライマリプリントサーバ名 100, 113
プリンタポート番号 100, 113, 118
プリンタモード 156
プリンタ名 65, 68, 70
プリントキュー設定 79, 80, 84, 85
プリントサーバ 79, 84, 118, 136
プリントサーバパスワード 79, 84
プリントサーバパスワードの再入力 79
プリントサーバモード 74
プリントサーバ名 ... 79, 84, 118
フレームタイプ .76, 79, 83, 100, 113, 117
プロトコル.............................. 3

ほ

ポーリング間隔 79, 84, 118

め

メニューバー 131

も

モード 79, 83, 100, 113

り

リスト画面.................. 130, 140
リセット............................. 167
リモートプリンタ 100, 113, 118, 138
リモートプリンタモード........ 74
リモート（IPX 上で rprinter） 103, 108
リモート（IP 上で LPR）....... 109
リモート（IP 上で LPR）....... 103

わ

ワークグループ名 45, 47, 58, 60